第十二類　公園

●大阪府公園地使用規則

大正三年十二月二十八日
大阪府令第八十三號

改正　大正七年三月府令第一四號、九年三月第二三號、一三年三月第二〇號、昭和四年二月第八號、六年五月條例第七號

第一條　公園地ヲ使用セントスル者ハ左ノ事項ヲ具備シ保證人連署ノ上許可ヲ受クヘシ

一　使用ノ目的及期限

二　使用地ノ區域坪數及平面圖

三　工作物ノ起工及竣工期限

四　工作物ノ設計及平面圖竝ニ側面圖

第二條　保證人ハ管内ニ住所ヲ有スル能力者ニシテ府下ニ於テ直接國稅年額拾圓以上ヲ納メ知事ノ適當ト認メタル者タルコトヲ要ス

保證人前項ノ資格ヲ失ヒ又ハ死亡シタル場合ニハ更ニ其ノ資格アル保證人ヲ定メ認可ヲ受クヘシ

保證人ヲ變更スル場合亦同シ

第三條　保證人ハ使用ニ因リテ生スル義務ニ對シ連帶ノ責任ヲ負フモノトス

第四條　土地使用ノ許可ヲ受ケタル後三十日以内ニ起工セス六ケ月以内ニ竣工セサルトキハ該許可ノ效力ヲ失フモノトス但シ特ニ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條　工作物ヲ增減變更セントスルトキハ第一條第三號及第四號ノ事項ヲ具備シ許可ヲ受クヘシ

第六條　工作物竣工シタルトキハ五日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條　營業ノ目的ヲ以テ工作物建設ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ工作物竣工後十四日以内ニ開業シ其ノ旨届出ツヘシ休業セントスルトキハ其ノ日數ヲ豫定シ其ノ旨届出ツヘシ但シ休業一ケ年以上ニ渉リ又ハ廢業シタルトキハ土地使用許可ノ效力ヲ失フモノトス

廢業セントスルトキハ五日以前ニ届出ツヘシ

第八條　工作物ヲ撤去又ハ滅失シタル時ハ五日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ

第九條　使用者若ハ保證人轉居又ハ改氏名ヲ爲シタルトキハ十日以内ニ届出ツヘシ

第十條　使用地ノ返地ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨願出テ許可ヲ受クヘシ

第十一條　工作物ヲ貸借セントスルトキハ貸借人連署ヲ以テ所要ノ目的及期限ヲ具備シ許可ヲ受クヘシ

第十二條　工作物ニ附キ抵當權ヲ設定シタルトキハ其ノ契約證書ノ寫ヲ添ヘ遲滯ナク届出ツヘシ

第十三條　工作物ノ所有權ヲ喪失シタルトキハ土地使用許可ノ效力ヲ失フモノトス

第十四條　工作物ヲ取得シタル爲其ノ土地ヲ使用セントスルモノハ事由ヲ具シ工作物取得ニ係ル證據書類ヲ添付シ保證人連署ノ上十日以內ニ許可ヲ受クヘシ但シ相續ニ因ル場合ハ戶籍謄本ヲ添ヘ保證人連署ノ上遲滯ナク屆出ツヘシ

第十五條　使用者竝ニ借用人ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　公園地ノ風致ヲ保持スルコト

二　使用地及家屋ノ淸潔ヲ保持スルコト

三　使用地區域內ノ樹木ヲ保育スルコト

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ何時ニテモ許可ヲ取消シ若ハ使用ヲ停止シ又ハ工作物ノ撤去移轉改築又ハ修繕ヲ命スルコトアルヘシ

一　本則ニ違背シタルトキ

二　使用料ヲ納付セサルトキ

三　公園ノ設備上其ノ他必要ト認メタルトキ

前項ノ場合ニ於テ使用者又ハ工作物所有者指定ノ期限內ニ指定ノ事項ヲ履行セサルトキハ第三者ヲシテ之ヲ實行セシメ其ノ費用ヲ使用者又ハ工作物所有者ヨリ徵收スルコトアルヘシ

第十七條　前條ノ場合使用者賃借人若ハ工作物所有者ニ於テ損害ヲ被ルコトアルモ府ハ之ニ對シ何等賠償ノ責ニ任セス

第十八條　工作物ノ撤去ヲ命シ又ハ土地使用許可ノ效力ヲ失ヒタル場合ト雖モ工作物全部ノ撤去ヲ終ル迄ハ倘從前ノ當該等級ニヨル第二種使用料ヲ徵收スルモノトス

第十九條　公園ノ家屋內ニ左記患者ヲ居住又ハ宿泊セシムルコトヲ得ス

癲癇、癩病、癘瘡、肺結核、虎列拉、赤痢、痘瘡、腸窒扶私、猩紅熱、發疹窒扶私、ペスト、實布垤利亞（格魯布ヲ含ム）竝ニ以上ノ疑似症

必要ト認ムルトキハ土地使用者ニ對シ居住者又ハ宿泊者ノ診斷書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第二十條　使用料ヲ定ムルコト左ノ如シ

其ノ一、一ケ年以上ノ期間ニ於ケル使用料

第一種　公衆ノ利便ヲ目的トスルモノ

住吉公園

一坪ニ付　一ケ年　金壹圓四拾錢

濱寺公園

一坪ニ付　一ケ年　金壹圓

箕面公園

一坪ニ付　一ケ年　金壹圓

住江公園

一坪ニ付　一ケ年　金貳圓

第一種ニ屬スルモノト雖營業開始前又ハ休業中ナルトキハ

第二種ノ當該等級ニ依ル使用料額ヲ徵收ス

第二種　第一種以外ノモノ

一等　一坪ニ付　一ケ年　金二圓七十錢

二等　一坪ニ付　一ケ年　金二圓三十錢

其ノ二、一ケ年未滿ニ於ケル使用料

一坪ニ付一日金十錢以內ニ於テ其ノ都度之ヲ定ム

其ノ三、電柱支柱支線其ノ他指導標ノ類

一、電柱支柱支線　一基ニ付　一ケ年　金二圓

一、指導標ノ類　一基ニ付　一ケ年　金一圓

第二十一條　使用料ハ左ノ期限ニ之ヲ徵收ス

第一期（自　四月　至　九月）　四月一日ヨリ四月三十日限

第二期（自　十月　至翌年三月）　十月一日ヨリ十月三十一日限

徵收期限後ノ新規使用ニ對スル使用料及一ケ年未滿ノ使用ニ對スル使用料ハ其ノ都度之ヲ徵收ス

第二十二條　使用料ノ納期日休日ニ當ルトキハ順次繰下ルモノトス

第二十三條　使用地種類變更ニ由リ使用料ニ增減ヲ生シタルトキハ增加ハ當月分ヨリ之ヲ徵收シ減少ハ翌月分ヨリ之ヲ減却ス

第二十三條ノ二　使用料納付後ニ於テ使用地ヲ減少シタルトキハ翌月分ヨリ月割ヲ以テ還付ス

第二十四條　使用料徵收ノ計算上錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

附　則

第二十五條　本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條　明治四十年二月大阪府令第十四號大阪府公園地使用規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十七條　第二十一條ノ納期ハ大正三年度第二期分ニ限リ大正四年一月十五日ヨリ同月三十一日限トス

附　則（大正十三年府令第二十號）

濱寺公園第一期整理工事ノ施行ニ伴ヒ家屋ヲ移轉スヘキ者ノ使用料ハ當分ノ間從前ノ料金ニ依ル

●大阪府公園特殊施設使用條例

昭和十一年六月十二日
大阪府條例第七號

第一條　公園特殊施設ヲ使用セントスル者ハ其ノ目的及方法ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クベシ但シ食堂、賣店、倉庫、行商

ボツグス、池及喫茶室ニシテ使用期間一年以上ニ亙ルモノニ在リテハ保證人ノ連署ヲ要ス

第二條 特殊施設ノ使用許可ヲ受ケタル者ハ別表ニ依リ使用料ヲ納付スベシ但シ知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトアルベシ

使用料ハ前條但書ノ場合ヲ除クノ外之ヲ前納スベシ

第三條 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セズ但シ知事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトアルベシ

第四條 使用者ハ知事ノ許可ナクシテ特殊施設ニ特別ノ設備ヲ爲シ又ハ變更ヲ加フルコトヲ得ズ

知事ハ使用者ニ對シ必要ナル設備ヲ命ズルコトアルベシ

使用者前二項ノ規定ニ依リ設備ヲ爲シタルトキハ使用後直ニ之ヲ撤去シ原狀ニ復スベシ

使用者前項ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セザルトキハ知事ニ於テ之ヲ執行シ其ノ費用ヲ使用者ヨリ徵收ス

第五條 使用中施設又ハ之ニ附隨スル物件ヲ毀損シ若ハ滅失シタルトキハ何人ノ所爲タルヲ問ハズ使用者ニ於テ知事ノ定ムル所ニ從ヒ損害ヲ賠償スベシ

第六條 使用人ハ使用物件ヲ轉貸スルコトヲ得ズ

第七條 本條例ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

第八條 本條例ニ定メナキ事項ニ關シテハ大阪府公園地使用規則ヲ準用ス

附則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年十一月大阪府條例第十四號及昭和九年四月大阪府條例第七號ハ之ヲ廢止ス

本條例施行前大阪府公園施設使用條例及大阪府公園有料休憩所使用條例ニ依リ許可ヲ受ケタルモノハ本條例ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

別表甲

住江公園

施設 ＼ 使用時間又ハ期間	野球場 フヰールド	野球場 スタンド	自午前七時至午前九時	自午前九時至午後零時	自午後零時至午後三時	自午後三時至午後六時	自午後六時至午後九時	自午前七時至午後六時	一箇月	一箇年	備考
	一圓	一圓	二圓	二圓	二圓	二圓	四圓	六圓			
	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	四圓	六圓			使用者獨占ノ場合ニ限ル

庭球場 競技用（一コートニ付）	庭球場 練習用（一コートニ付）	運動競技場 トラツク・フヰールド	運動競技場 スタンド	運動競技場 ロツカー（一箇ニ付）	プール 競技用	プール 練習用（一人ニ付）	貸室（一室ニ付） 野球場スタンド附屬	貸室（一室ニ付） 運動競技場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 野球場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 運動競技場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 野球場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 運動競技場スタンド附屬
		一圓	一圓		三圓	十錢	三十錢	五十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		四圓	四圓		六圓		一圓	一圓五十錢				
		六圓	六圓		二十圓		一圓五十錢	二圓五十錢				
				一日ニ付十錢								
				一週間ノ場合ハ五十錢								
									八圓			
									十七圓		更衣室ヲ含ム	
									八圓			

庭球場 競技用（一コートニ付）	庭球場 練習用（一コートニ付）	運動競技場 トラツク・フヰールド	運動競技場 スタンド	運動競技場 ロツカー（一箇ニ付）	プール 競技用	プール 練習用（一人ニ付）	貸室（一室ニ付） 野球場スタンド附屬	貸室（一室ニ付） 運動競技場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 野球場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 運動競技場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 野球場スタンド附屬	賣店（一箇所ニ付） 運動競技場スタンド附屬
		一圓	一圓		三圓	十錢	三十錢	五十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		二圓	二圓		六圓	十錢	五十錢	八十錢				
		四圓	四圓		六圓		一圓	一圓五十錢				
		六圓	六圓		二十圓		一圓五十錢	二圓五十錢				
				一日ニ付十錢								
				一週間ノ場合ハ五十錢								
									八圓			
									十七圓		更衣室ヲ含ム	
									八圓			

	1	2	3	4	5	6	7	8	備考
食堂 野球場附屬									使用料ハ其ノ都度知事之ヲ定ム
喫茶室 溫室附屬							二十圓		
倉庫 野球場附屬（一坪ニ付）							二十錢		
倉庫 運動競技場附屬（一箇所ニ付）							三圓		
池 西池								二百圓	
池 東池								四百圓	
住吉公園									
庭球場（一コートニ付）						一時間ニ付二十錢			
トラック・フヰールド	七十錢	一圓五十錢	一圓五十錢	一圓五十錢	三圓	五圓			
行商ボックス（一箇ニ付）							三圓		
濱寺公園									
庭球場 競技用（一コートニ付）						一時間ニ付四十錢			
庭球場 練習用（一コートニ付）						一時間ニ付二十錢			
クラブハウス						五圓			
海ノ家 入浴（一人ニ付）						二十錢			十二歳未満半額貸室使用者ハ無料
海ノ家 食堂									使用料ハ其ノ都度知事之ヲ定ム

〔大阪士〕

別表乙

施設＼使用時間	自午前八時至午後一時	自午後一時至午後六時	自午後六時至午後十時	自午前八時至午後十時	備考
箕面公園					
山ノ家 甲 貸室（一室ニ付）	七十錢	七十錢	七十錢	二圓	
山ノ家 乙 貸室（全室ニ付）	一圓二十錢	一圓二十錢	一圓二十錢	三圓五十錢	
梅屋敷 貸室（一室ニ付）	五十錢	五十錢	五十錢	一圓五十錢	
濱寺公園					
海ノ家 貸室（一室ニ付）	一圓	一圓	一圓	二圓五十錢	七月、八月ノ二箇月ハ倍額トス

第十三類　土木工事

●大阪府山田公園ゴルフ場施設使用條例

昭和十年七月八日
大阪府條例第四號

第一條　ゴルフ場施設ヲ使用セントスル者ハ知事ノ定ムル使用料ヲ納付スベシ

第二條　ゴルフ場施設ヲ毀損又ハ滅失シタル者ハ其ノ損害ヲ賠償スベシ

第三條　本條例ノ施行ニ對シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

附　則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大阪府山田公園ゴルフ場施設使用料

昭和十二年三月十五日
大阪府告示第二百九十五號

昭和十年七月大阪府條例第四號大阪府山田公園ゴルフ場施設使用條例第一條ノ規定ニ依リ大阪府山田公園ゴルフ場施設使用料左ノ通改正シ昭和十二年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス

種類＼區分	單位稱呼	金額	備考
グリンフキー	一廻（九ホール）	五十錢	
	二廻以上	一圓	

〔大阪土木〕

キヤデー使用料	甲	一廻（九ホール）	二十五錢
	乙	一廻（九ホール）	二十錢
クラブ貸付料	競技用	一セット（五本組）	五十錢
	練習用	一本	十錢
練習用ボール貸付料		一籠（三打入）	三十錢
ロツカー使用料		一日	十錢
		一箇月	一圓
		六箇月	四圓
教授料		三十分	五十錢
		一廻（九ホール）	一圓
器具預リ料		十日	五十錢
		一箇月	一圓
クラブハウス食堂			

二人共用ノ場合ハ五割增トス

一組二人以上ノ場合ハ三割增トス

使用料ハ其ノ都度之ヲ定ム

第十三類　土木工事

第一章　府工事

基本則

○府費支辨工事執行規定……昭和三年一〇月府令六四號……一
○大阪府土木事業請負規程……明治二八年三月府告示六九號……一
○大阪府土木事業町村住民請負出願手續……明治三〇年五月府告示二三五號……七
○道路工事執行令……大正九年一一月內務省令三六號……九
○大阪府會計規則……（昭和二年三月府令二五號第十四類參照）
○直營工事施行規程……昭和一一年九月土木部長通牒……一〇
○直營工事施行規程設定ニ關スル件……昭和一一年九月總務課長依命通牒……三一

設計

○都市計畫事業執行ニ關シ御協議方ノ件……昭和五年九月都市計畫課長照會……三二
○設計金額ノ止位ニ關スル件……昭和八年六月土木部長通牒……三二
○變更設計作製ノ件……大正一二年三月土木課長通牒……三二

庶務

○事業ノ施行督勵ノ件……昭和八年五月土木課長通牒……三三
○都市計畫事業街路樹栽ノ件……昭和九年二月土木部長通知等……三三
○工事施行上申書ニ圖面添付ノ件……昭和六年八月土木部長通牒……三四
○土木事業施行取扱ニ關スル件……昭和三年五月土木、技術兩課長通牒……三四
○道路法敷無償使用承諾書竝道路境界杭ニ關スル件……昭和九年七月土木部長通牒……三五
○工事請負契約締結後設計變更ノ場合ハ設計書添付ノ件……大正八年三月土木課長通知……三五
○請負金額異動ノ場合請書ヲ徵スルノ件……大正七年六月土木課長通牒……三五
○工事用器具機械購入手續ニ關スル件……昭和九年四月總務課長依命通牒……三六
○工事用材料購入手續取扱方ノ件……昭和七年一一月工營課長通牒……三六
○道路修繕工事施行ニ際シ材料ト勞力トヲ一廉トスルノ件……大正九年七月土木課長通牒……三七
○人夫賃整理其ノ他ノ件……昭和七年四月工營課長通牒……三七

〔大阪土〕

○工事工程月報作成ニ關スル件……昭和五年一二月工營課長通牒……三八
○工事工程月報ニ關スル件……昭和九年八月工營課長通牒……三八

工事取扱

○危險標示ニ關スル件……昭和九年二月工營課長通牒……三九
○工事用材料ノ置場ニ付注意方ノ件……大正一一年三月土木課長通牒……三九
○工事用土砂砂利採取ニ關スル件……昭和九年四月河港課長照會……三九
○古材處分ノ件……大正一〇年一一月土木課長通牒……三九
○事故發生ノ場合即報ノ件……昭和五年五月工營課長通牒……四〇

第二章　補助工事

國庫補助

○國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル件……明治三〇年四月法律三七號……四一
○國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル件施行規程……明治三一年八月勅令一八四號……四一

〔大阪土〕

○公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル件……明治四四年二月法律二號……四二
○國庫補助土木事業ノ補助基本額ニ關スル件……昭和九年二月發土五號……四二
○國庫補助要求及仕拂方等ニ關スル件……大正三年四月發會三二號……四三
○國庫補助金ノ取扱方ニ關スル件……大正一五年一二月發甲四二號……四五
○土木事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件……昭和一〇年四月十會乙九一九號……四五

〔大阪土〕

○府縣災害土木費國庫補助ニ關スル件……明治四四年三月法律一五號……四六
○災害土木費國庫補助規程……明治四四年七月勅令一九九號……四六
○災害土木費國庫補助規程施行細則……明治四四年八月內務省令一二號……四七
○災害土木費國庫補助規程ニ依ル國庫補助ニ關スル件……昭和六年三月內務省令五號……五〇
○災害土木費國庫補助規程ノ取扱方ニ關スル件……明治四四年一〇月土二四五〇號……五〇
○國庫補助災害土木工事ノ監督及取扱方ノ件……大正一三年九月發甲二五號……五一
○災害土木費國庫補助算定ニ關スル件……昭和二年六月發甲二二號……五一
○災害土木費國庫補助ニ依ル橋梁工事ノ實施ニ關ス

〔大阪土〕

ル件……昭和一〇年一〇月發土六五號……六一
○災害工事費ノ負擔所屬ヲ變更セルモノノ國庫補助精算ニ關スル件……大正九年三月發土二〇號……六一
○國庫ノ補助ヲ受クベキ災害土木工事檢査申請方ノ件……大正一三年五月發甲一三號……六二
○災害土木費國庫補助申請見込額上申ノ件……明治三二年四月祕發一七號……六三
○國庫補助ニ係ル災害土木工事ノ施行ニ關スル件……昭和六年一月發土六〇號……六五
○國庫補助受入額調ノ件……大正一四年九月發甲二六號……六五
○國庫補助災害土木工事檢査方針……（內務省內規）……六五
○國庫補助災害土木工事査定官心得……（內務省內規）……六九
○國庫補助災害土木工事費剩餘金處分工事ニ關スル件……昭和一〇年四月土木部長通牒……七三
○中小河川改良工事ニ關スル件……昭和七年七月發土五〇號……七四

○國庫補助ニ係ル中小河川改良工事工程報告ノ件……昭和一〇年五月發甲一二號……八三
府費補助
○土木費補助規則……大正一二年一二月府令七六號……八四
○市町村補助工事書類様式……
○土木費補助規則ニ依ル道路及其區間……九二
○災害復舊工事費補助取扱ニ關スル件……（別表ノ項參照）
○土木費補助規則ノ特例ニ關スル件……昭和五年八月土木部長通牒……九六
○補助工事契約豫定價格ノ件……昭和七年九月府令六三號……九六
……昭和一〇年一二月土木部長依命通牒……九六

〔大阪土〕

第十三類　土木工事

第一章　府工事

●府費支辨工事執行規定

昭和三年十月二十二日
大阪府令第六十四號

府費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行ニ關スル規定本府參事會ノ議決ヲ經テ左ノ通定ム

工事執行規定

第一條　府費ヲ以テ支辨スヘキ工事ノ執行竝工事ニ要スル物件ノ購入借入又ハ勞力供給ニ關シテハ法令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本規程ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ於テ工事ト稱スルハ土木營繕等ノ作業ニシテ府縣制第六十八條第五號ノ規定スル工事ヲ謂フ

第二條　工事ノ執行方法ハ直營及請負ノ二種トス

第三條　左ニ揭ク場合ニ於テハ直營ト爲スコトヲ得

一　請負ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ
二　急施ヲ要シ請負ニ付スルノ暇ナキトキ
三　請負契約ヲ締結スルコト能ハサルトキ
四　特ニ直營ト爲スノ必要アリト認ムルトキ

第四條　直營工事ノ一部ヲ請負ニ付シ又ハ請負ニ付スル工事ノ一部ヲ直營ト爲スコトヲ得

第五條　前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

請負ニ付セントスルトキハ一般競爭入札又ハ指名競爭入札ニ付スヘシ

第六條　左ニ揭ク場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　競爭入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ
二　急施ヲ要シ競爭入札ニ付スルノ暇ナキトキ
三　競爭入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ
四　豫定價格五千圓未滿ナルトキ
五　隨意契約ニ依ルヲ必要ト認ムルトキ

第七條　工事ニ要スル物件ノ購入、借入、又ハ勞力ノ供給ニ關シテハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第八條　本規程施行ニ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

●大阪府土木事業請負規程

明治二十八年三月二十五日
大阪府告示第六十九號

改正　明治二八年一二月告示第四五八號、二九年三月第七〇號、一〇月第四七六號、三〇年五月第二三八號、七月第二六六號、三一年八月第一五八號、四三年三月第一〇九號

明治二十五年二月大阪府告示第二十五號土木事業請負規程別册之通改正ス

大阪府土木事業請負規程

第一章　通則

第一條　此規程ニ於テ土木事業ト稱スルハ地方稅備荒儲蓄其他府ノ經濟ニ屬スル土木事業ヲ云フ

第二條　土木事業ノ請負契約ヲ別チ左ノ二種トシ特別ノ規程アルモノヲ除ク外其契約ハ總テ此規程ニ依ル可シ

一　競爭契約

二　隨意契約

第三條　契約書ハ二通ヲ作リ委託者及請負人連署捺印シ互ニ一通ヲ所持スルモノトス

第四條　請負人ハ管內在籍ニシテ市町村制ニヨリ公民ノ權ヲ有スルモノヲ以テ引受人ト定メ契約書ニ連署セシムヘシ但其公民權ヲ失シタルトキハ更ニ同一ノ資格ヲ有スル引受人ヲ定ムヘシ

前項引受人ハ請負人ノ死亡失踪家資分散若クハ破產シタルトキハ請負本人ト同一ノ資格アルモノヲ選ミ委託者ノ許可ヲ得テ契約ヲ履行セシムルモノヲ以テ之ニ當ラシムヘシ

第五條　左ノ各項ノ一ニ該當スルモノハ此規程ニヨリ土木事業ノ請負ヲ爲スコトヲ得又左ノ第一項第三項第四項ノ一ニ該當スルモノハ土木事業請負人ノ引受人トナリ又ハ第三項第四項ノ一ニ該當スルモノハ代理人トナルコトヲ得ス

一　家資分散又ハ破產者タルノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サルモノ又ハ從前身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

二　工事ノ請負ヲナサントスル月ヨリ起算シ前二年以來引續キ工事請負ノ營業ヲナシ且請負ニ附スヘキ工事ト同種類ノ工事ヲナシタル履歷ヲ有セサルモノ

三　大阪府ノ土木事業ノ請負事件ニ關シ現ニ出訴中ノモノ

四　大阪府ノ土木事業ヲ請負其工費又ハ保證金ニ對シ民事訴訟法ニ基キ債權取立若クハ債權轉附命令ヲ受ケシモノ

第六條　前條第二項第四項ニ該當スルモノト雖モ特殊ノ場合ニ於テハ其制限ヲ特免スルコトアルヘシ

第七條　第五條第二項ニ於テ同種類ト稱スルハ左ノ二類トス

一　家屋建築及其附屬工事

二　道路橋梁堤防其他ノ土功

第八條　請負人ハ時宜ニヨリ之ヲ試驗シ若シ其事業ヲ請負ハシメ難シト認定スルトキハ其入札ヲ許サヽル事アルヘシ

第九條　契約ハ總テ請負人ヨリ契約保證金ヲ徵ス其額ハ受負金高百分ノ拾以上トス

契約保證金ハ請負人ニ於テ契約ヲ取結フ可キ官署ノ爲換方ヘ預ケ入レ其預リ切符ヲ以テ差出スヘシ

契約保證金ハ政府ノ公債證書（無記名利付ニ限ル）ヲ以テ代用スルコトヲ得其價格ハ時價一割下ケトス

第十條　契約保證金ハ事業竣工ノ上還付ス

保存期限ノ約アル事業ニ於テハ該期限經過ノ後還付ス

第十一條　此規程竝ニ大阪市工事請負ニ關シ左ノ各項ノ一ニ當ルモノハ其期限間本府ノ事業ヲ請負又ハ其保證人及代理人トナリ其他一切之レニ關係スルコトヲ得ス

一　入札保證金ヲ沒收セラレタルモノハ其月ヨリ滿一ケ年間

二　競爭入札ニ依リ請負ヲナシタルモノニシテ其契約ニ違背シ契約ヲ解除セラレタルモノハ其月ヨリ滿三ケ年間

三　第二十八條第二項ニ依リ通知ノ無效ニ歸シタルトキハ其月ヨリ滿三ケ年間

四　隨意ノ契約ニ依リ請負ヲナシタルモノニシテ其契約ニ違背シ契約ヲ解除セラレタルモノハ其月ヨリ滿五ケ年間

五　事業請負ノ保證人ニシテ其義務ヲ全フセサリシモノハ其月ヨリ滿三ケ年間

六　監督官吏又ハ其附屬員ニ對シ暴行脅迫罵詈嘲哂等ノ行爲アルモノ又ハ他人ヲ使嗾シ此等ノ行爲アラシメタルモノ竝ニ右等ノ行爲アリト現ニ認定シタルモノハ其月ヨリ滿十箇年間

七　第二十一條第三項ニヨリ入札ヲ取消サレタルモノニシテ不正ノ行爲アリト認メタルモノハ其月ヨリ滿一ケ年間

第二章　競爭契約

第十二條　競爭契約ヲ別テ左ノ二種トシ其競爭ハ總テ入札法ニ依ル

一　公告競爭

二　特撰競爭

第十三條　公告競爭ハ揭示又ハ新聞紙其他ノ方法ニ於テ豫メ左ノ事項ヲ公告スヘシ

一　入札ニ付スヘキ事項

二　仕樣書類繪圖面契約書案ヲ示ス場所

三　入札開札ノ場所及其月日

四　單價ヲ以テ入札ニ附スルモノハ入札保證金額

隨意ノ契約ニ依リ請負ヲナシタルモノニシテ其契約ニ違背シ契約ヲ解除セラレタルモノハ其月ヨリ滿五ケ年間

五　事業請負ノ保證人ニシテ其義務ヲ全フセサリシモノハ

請負日數、保存日數、契約保證金額ノ歩合、等ハ契約書案ト共ニ之ヲ示スヘシ

入札ハ午前十時ヨリ開始シ同十一時ニ至リ之ヲ閉鎖シ後十分ヲ經テ開札ニ著手スルモノトス

但特ニ時間ヲ定ムル必要アルトキハ其時々公告スヘシ

第十四條　特選競爭ハ信用アル當業者數名ニ通知シ同一ノ場所日時ニ於テ入札セシムルモノトス

特選競爭ハ時宜ニ依リ入札保證金ヲ免除シ且第二十九條ヲ適用スルコトアルヘシ

第十五條　競爭入札ニ付スル事業ノ豫定價格ハ之ヲ封書ト爲シ開札ノ際開札場ニ備ヘ置クヘシ

第十六條　入札ヲ爲サントスルモノハ豫テ公告又ハ通知ノ場所ニ就キ仕樣書類繪圖面契約書案ヲ閱シ倘實地ノ狀況等熟覽ノ上入札保證金ヲ添ヘ豫定ノ日時ニ入札ス可シ但入札書式ハ其時々入札場ニ掲示スヘシ入札人若シ代理人ナルトキハ委任狀ヲ入札掛員ニ示シ委任者及代理人連署ノ届書ヲ出スヘシ

入札ハ二人以上聯帶シテ爲スコトヲ得ス

第十七條　工事請負ヲ爲サントスルモノハ豫メ別紙第一號書式ノ履歷書證據トナルヘキ書類ヲ竝ニ別紙第二號書式ノ住所營業印鑑等ノ證明書ヲ差出スヘシ但履歷書其他ノ調査結了セサル間ハ入札ヲ許サヽルヘシ

第十八條　入札保證金額ハ入札人自身ノ入札金額百分ノ十以上ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ但單價ヲ以テ入札ニ付スル場合ハ此限リニ非ラス

入札保證金ハ入札ニ先チ入札ヲ執行スル官署ノ爲換方ヘ預ケ入レ其預リ切符ヲ以テ入札掛員ヘ差出シ預リ證ヲ受クヘシ但時宜ニヨリ臨時預ケ入ルヘキ爲換方ヲ指定シ若クハ封金ヲ以テ差出サシムルコトアルヘシ

第十九條　開札ハ入札人ノ面前ニ於テ行フヘシ

一旦入札シタル入札ハ書換取消等ヲ爲スコトヲ得ス

〔大阪土〕

第二十條　左ニ揭ケル入札ハ無效トス

一　入札人又ハ其代理人ノ開札ニ立會ハサルモノヽ、入札

二　金員若クハ氏名ノ認知シ難キモノ

三　入札書記載ノ金員ヲ加除更正シタル箇所又ハ姓名下ニ押印ナキモノ又ハ其押印ノ印鑑ニ違フモノ

四　內譯金員ニ違算アリテ合金ニ差違ヲ生スルモノ

五　第五條又ハ第十一條ニ該當シ請負人ノ資格ナキモノヽ、入札

六　入札保證金ノ額其入札金高ノ十分ノ一ニ滿サルモノ

第二十一條　入札ハ豫定價額以內ノ最低價ノモノヲ以テ落札トスヘシ若シ最低價ノモノ其場ニ於テ入札ノ取消ヲ申立テタルトキハ順次低價ヲ以テ落札トスルコトアルヘシ

急施ヲ要スル事業ニシテ請負日數ニ段階ヲ付シ競爭ニ付シタルトキハ其入札ハ入札金額ト日數トヲ斟酌シ落札人ヲ定ムヘシ但本項ヲ適用スル場合ニ於テハ豫メ公告スヘシ

落札トナルヘキ同價ノ入札二名以上アルトキハ其同價ノ入札人ヲシテ該價格以內ニ於テ更ニ競爭入札ヲ爲サシムヘシ若シ其落札トナルヘキ價格ニシテ仍ホ前入札ト異動ナキモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ其落札人ヲ定ムヘシ

落札トナルヘキ最低ノ金額若シ之ヲ不相當ト認ムルトキハ該入札ヲ取消スヘシ但即時更ニ入札ニ付スルコトアルヘシ

〔大阪土〕

第二十二條　開札ノ上一モ豫定價格以內ノ入札アラサルトキハ其入札ハ總テ取消スヘシ但即時更ニ入札ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二十三條　入札結了ノ後其場ニ於テ直ニ預リ證ト引換ニ入札保證金ヲ還付シ落札人ヘハ契約保證金ヲ差出シタル後之ヲ還付スヘシ

落札人ノ入札保證金ハ契約保證金ニ轉納スルコトヲ得

第二十四條　落札人ハ開札ノ當日ヨリ五日以內ニ落札金額ニ對スル內譯明細書ヲ差出スヘシ

明細書檢查ノ上不相當ナシト認ムルトキハ更ニ落札人ヘ契約取結ノ通知ヲ爲スヘシ但不相當ト認メタルトキハ其入札ハ取消スヘシ

落札人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其當日ヨリ三日以內休廳日ニ當ルニ契約書及契約保證金ヲ差出スヘシ

前項通知ヲ得テ期日內ニ契約書及契約保證金ヲ差出サヽルトキハ其通知ハ無效トス

第二十五條　不正ノ入札アリト認ムルトキハ入札ヲ停止シ又ハ入札ヲ取消シ又ハ已ニ落札シタルモノト雖トモ之ヲ取消スコトアルヘシ

第二十六條　左ノ各項ノ一ニ當ルモノハ其入札保證金ハ官ノ所得トス

一　開札著手後ニ於テ第五條又ハ第十一條ニ該當シ請負人ノ資格ナキコトヲ發顯シタル時

二　第二十條第六項ニ依リ入札ノ無效ニ歸シタル時

三　第二十一條第三項ノ場合ニ於テ再入札ヲナサヽル時

四　第二十一條第一項ノ場合ニ於テ入札ノ取消ヲ申立タル時

五　落札人契約取結以前入札ノ取消ヲ申立タル時

六　第二十四條第一項ノ期日內內譯明細書ヲ出サヽル時

七　第二十四條第三項ノ期日內契約書及契約保證金ヲ差出サヽル時

八　入札人又ハ其代理人ノ開札ニ立會サル時

九　第二十五條ノ場合ニ於テ不正ノ證據擧リタル時

前各項ノ場合ニ於テハ入札保證金預リ證ハ無效ニ歸スルモノトス

第三章　隨意契約

第二十七條　隨意契約ハ其契約者タラシメントスル者ニ先ツ仕樣書繪圖面及契約書案等ヲ示シ期日ヲ定メテ見積金明細書ヲ差出サシムヘシ

但時宜ニヨリ工費金額ヲ示スコトアルヘシ

第二十八條　前條見積金明細書檢查ノ上不相當ナシト認ムルトキハ更ニ期日ヲ定メテ契約書及契約保證金ノ差出ヲ通知スヘシ

前項通知ヲ得テ其期日內ニ契約書及契約保證金ヲ差出サヽ

ルトキハ其通知ハ無效トス

第二十九條　一廉百圓未滿ノ隨意契約ハ其契約者タラシメントスルモノニ工事ノ仕樣及請負條件ヲ示シ見積書ヲ徵シ其見積金額ヲ相當ト認ムルトキハ仕樣書又ハ見積書ノ餘白ニ契約ノ要領ヲ記載シ請負人及引受人署名捺印シタルモノヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

前項契約ハ時宜ニ依リ契約保證金及引受人ヲ要セス

第三十條　町村ノ地元工事ニシテ其住民ニ於テ請負ヲ爲サントスルトキハ工事ノ難易ヲ參酌シ特ニ之ヲ必要ト認メタル場合ニ限リ隨意ノ契約ヲ以テ請負ハシムルコトアルヘシ但本條契約ニハ第四條乃至第十一條及第二十七條乃至第二十九條ハ適用セス

附　則

第三十一條　本規程十一條ハ舊規程ニヨリ請負ヲナシタルモノニモ之ヲ適用ス

書式第一號

履歷書

何府縣何郡市何町村何番地
華士族（寄留者ナルトキハ其寄留）
平　民（所ヲ併記スヘシ）
土木建築請負業　姓　名　名
何々年何月何日生

何々何年何月ヨリ土木建築請負ニ從事ス

何々何年何月某ノ委託ヲ受何所學校平家又ハ二階建木造又ハ煉瓦石造何棟建築請負何年何月何日竣功此工費何程

何々何年何月何日何所何堤防（又ハ道路又ハ何々）請負何年何月何日竣功此工費何程

何々何年何月某ノ委託ヲ受何所別莊又ハ何所社寺建築請負何年何月何日竣功此工費何程

右拙者工事請負履歷前書之通相違無之候也

明治何年何月何日

右　姓　名印

委託者宛

書式第二號

御屆

一住所何府縣何郡市何町村何番地

一營業土木建築請負業

但何々何年何月何日開業以來引續營業

一家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ若クハ身代限ノ處分ヲ受ケタル事ナシ（一旦其處分ヲ受ケ復權ヲ得又ハ辨償ノ義務ヲ終ヘタルモノハ其旨ヲ記入スヘシ）

一印鑑　○

拙者住所營業印鑑前記之通相違無之ニ付即チ相當公吏ノ證明ヲ得テ此段御屆申上候也

年　月　日

右　姓　名印

右之通相違無之候也

何府縣郡町（村市）長印

委託者宛

●大阪府土木事業町村住民請負出願手續

明治三十年五月三十一日
大阪府告示第二百三十五號

改正　大正一五年六月告示第二二一號

大阪府土木事業請負規程（第二十九條）町村住民請負出願手續別冊ノ通リ相定ム

別冊

大阪府土木事業町村住民請負出願手續

第一條　大阪府土木事業請負規程第二十九條ニ依リ土木事業ノ請負ヲ爲サントスルモノハ此手續ニ依リ出願スヘシ

第二條　請負ヲ出願スルコトヲ得ルモノハ左ノ目的ニ出ツルモノニ限ル

一　出願者居住町村ノ地元工事ニシテ營利ノ目的ニアラス利害關係上工事ノ請負ヲ必要トスルモノ

一　出願者居住町村地元ノ非常天災ニ係ル復舊工事ニシテ被害地住民ノ使役ヲ目的トスルモノ

第三條　前條ノ目的ヲ以テ請負ヲ出願セントスルトキハ先ツ其町村內ニ於テ公民權ヲ有スル五分ノ一以上ノ同意者ヲ募リ請負ニ關スル規約ヲ設クヘシ

第四條　規約ニハ左ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

一　事業名場所
二　請負ノ目的
三　工事管理ノ方法
四　資金ノ分擔方法
五　損益金處分ノ方法
六　總代人名

規約書ハ別紙第一號書式ニ依ルヘシ

第五條　出願者中總代人二名以上ヲ選擧シ請負ニ關スル願、屆契約ノ締結、工事ノ管理等ハ總テ總代人ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ

但大阪府土木事業請負規程第十條ノ處分ヲ受ケ滿期ニ至ラサルモノハ總代人ニ選擧スルコトヲ得ス

第六條　請負ヲ出願スルトキハ別紙第二號ノ書式ニ依リ其請負ヲ必要トスル事由ヲ詳具シ且規約書謄本ヲ添付スヘシ

第七條　工事請負ノ許可ヲ受ケタルトキハ同時ニ工事仕樣書、圖面、工費金額、工事著手期限、竣功期限、瑕疵擔保

日數契約書案及請負契約締結ノ日時等ノ明示ヲ受クヘシ

第八條 出願者前條ノ明示ヲ受ケタルトキハ親シク之ヲ調査シ請負契約ヲ締結スヘシ但シ前條請負契約締結期日內ニ其契約締結ヲ申出テス又ハ申出ルモ其契約締結セサルトキハ請負許可ノ效ヲ失フモノトス

第九條 規約ハ請負期間中ニ於テ之ヲ變更スルコトアルモ當廳ノ認可ヲ受クルニアラサレハ當廳ニ對シ其效力ナキモノトス

第十條 本規定ニ依リ提出スル願書ハ所轄本府內務部土木課出張所ヲ經由スヘシ

第一號書式

規約書書式

［一錢印紙］　規約書

本村所屬何川通堤防(川除)今般修繕相成趣附テハ該堤防ノ義ハ直接我々ノ利害ニ關スルヲ以テ該請負ヲ出願シ充分堅牢ニ修繕スヘキヲ契約セリ依テ之ヲ實行スル爲メ尙ホ規約ヲナスコト左ノ如シ

第一條　請負ノ出願契約ノ締結金錢ノ出納工事ノ管理ハ總代人何名ヲ選定シ之ニ委任スルモノトス但總代人ハ互選トス

第二條　評議員何名ヲ置キ工事管理其他本請負ニ係ル一切ノ事件ニ付總代人ノ評議ニ參與セシムルモノトス但評議員ハ互選トス

第三條　資金ハ其必要ニ應シ(各自平等出金若クハ他ヨリ借入ル、)モノトス

第四條　本請負ニ付損益ヲ生シタルトキハ(各自平等若クハ總代人何分評議員何分其他ハ何分ツ、)負擔若クハ配當スルモノトス

第五條　本請負事件ノ終結シタルトキハ總代人ハ十五日以內ニ其要領ヲ明ニシ組合員一同ヘ報告スヘシ

第六條　總代人及評議員左ノ如シ

總代人　何某　何某　何某

評議員　何某　何某　何某

右規約締結ノ相違ナキコトヲ證スル爲メ各自左ニ記名捺印スルモノ也

年　月　日

何郡何町村

何　某㊞

、　、　、

、　、　、

、　、　、

、　、　、

〔大阪土〕

第二號書式

何々工事請負願

本村所屬何々(堤防／道路)今般何々(修繕／改築)相成候趣ニ就テハ何々(請負ノ目的例セハ「該何々ノ義ハ直接我々ノ利害ニ關シ急速復築ヲ要スルニ付被害地住民ヲ使役シ速ニ復舊爲致度」又ハ「該何々ノ義ハ急候ニ付充分堅牢ニ致度」云々)候ニ付該工事ハ我々ヘ請負被申付度此段奉願候也

年　月　日

住所

何郡何町村何某外何名總代

何　某㊞

住所

同　何　某㊞

右出願ニ付奧印仕候也

何郡何町村長　何　某㊞

大阪府知事宛

〔大阪土〕

◉道路工事執行令

大正九年十一月八日
內務省令第三十六號

第一條 道路工事執行ノ方法ハ直營及請負トス

第二條 左ニ掲クル場合ニ於テハ直營ト爲スヘシ

一　請負ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二　急施ヲ要シ請負ニ付スルノ暇ナキトキ

三　請負契約ヲ締結スルコト能ハサルトキ

四　特ニ直營ト爲スノ必要アリト認ムルトキ

第三條 請負ニ付セムトスルトキハ一般競爭入札ニ付スヘシ

第四條 左ニ掲クル場合ニ於テハ三名以上ヲ指名シ競爭入札ニ付スルコトヲ得

一　一般競爭入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二　急施ヲ要シ一般競爭入札ニ付スルノ暇ナキトキ

三　一般競爭入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ

四　特ニ指名競爭入札ニ付スルノ必要アリト認ムルトキ

第五條 左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　競爭入札ニ付スルヲ不適當ト認ムルトキ

二　急施ヲ要シ競爭入札ニ付スルノ暇ナキトキ

三　競爭入札ニ付スルモ入札人ナキトキ又ハ落札人ナキトキ

四　豫定價格カ國道、府縣道、地方費道又ハ道路法第十七條但書ノ規定ニ依ル市ノ市道ニ在リテハ二千圓未滿(郡道ハ準地方費道、道路法第十七條但書ノ規定ニ依ラサル市ノ市道又ハ區道ニ在リテハ千圓未滿町村道ニ在リテハ

五百圓未滿ナルトキ

五　競爭入札ニ付スルコト能ハサルトキ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ入札人若ハ請負人又ハ其ノ代理人トナルコトヲ得ス

一　無能力者

二　破產者若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨濟ヲ了ヘサル者

三　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

五　賣付又ハ保釋中ノ者

六　入札又ハ請負ニ關シ不正ノ行爲アリタル後二年ヲ經過セサル者

●直營工事施行規程

昭和十一年九月二十八日
土木部長通牒

土木部各出張所長宛
工營所

第一條　本規程ニ於テ工事主擔者ト稱スルハ土木部工營所又ハ土木部出張所所屬ノ監督員詰所若ハ事務所ニ於テ工事ノ監督及諸般ノ事務ヲ掌理スル者ヲ謂ヒ工事擔當員ト稱スルハ工事主擔者ノ指揮ヲ承ケ工事ヲ擔當スル工手以上ノ者ヲ謂フ

第二條　所長ハ其ノ所屬ノ監督員詰所又ハ事務所ニ夫々工事主擔者及工事擔當員ヲ定メ其ノ事務ヲ處理セシムベシ

第三條　工事主擔者ハ所長ノ命ヲ承ケ工事擔當員ヲ指揮監督シ豫算ノ範圍內ニ於テ所定ノ設計書、仕樣書及圖面ニ基キ其ノ工事ヲ施行スベシ

第四條　工事現場ノ就業時間ハ左ノ通トス、但シ工事施行上必要アル場合ハ所定ノ時間外ト雖モ就業セシムルコトヲ得

一　自四月一日至十月三十一日　十時間

一　自十一月一日至三月三十一日　九時間

前項ノ就業時間ニ付其ノ始業、終業ノ時刻及休憩ノ時間ハ所長之ヲ定ム

第五條　勞働者ハ原則トシテ職業紹介所若ハ地元市町村長ノ紹介ニ依ルカ又ハ市町村長ニ於テ就勞者名簿ニ登載シタル失業者、貧困者及農業勞働者ヲ以テシ指名人夫、直傭人夫ハ工事施行上必要ノ最少限度ニ止ムベシ

第六條　勞働者ノ賃銀ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ支給ス

一　勞働者ノ賃銀日額(單價)ハ工事主擔者設計豫算ノ範圍內ニ於テ勞働ノ種別每ニ標準ヲ定メ各自ノ體力、技倆、能力等ヲ適正ニ查定シテ之ヲ定メ所長ノ承認ヲ受クルモノトス

二　就業時間中雨天其ノ他ノ事故ニ依リ所定ノ時間就業セザルトキハ實狀ヲ參酌シ賃銀日額(單價)ノ範圍內ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス

三　時間外ニ亙リ就業セシメタルトキハ左記標準ニ依リ割增ヲ爲スコトヲ得

(イ)　午後十時迄ハ一時間ニ付賃銀日額(單價)ノ十分ノ一以內

(ロ)　午後十時以後翌朝五時迄ハ一時間ニ付賃銀日額(單價)ノ十分ノ二以內

(ハ)　午前五時ヨリ所定ノ始業時迄ハ一時間ニ付賃銀日額(單價)ノ十分ノ一以內

四　左ノ場合ニ於テハ其ノ勞働ノ難易ト時間トヲ參酌シ一時間ニ付賃銀日額(單價)ノ十分ノ二ヲ超ヘザル範圍內ニ於テ適宜ニ割增ヲ爲スコトヲ得

(イ)　非常ノ暴風雨ニ際シ就業セシメタルトキ

(ロ)　水中作業ニ從事セシメタルトキ

(ハ)　其ノ他特別ノ勞役ニ從事セシメタルトキ

五　前二號ノ事由競合シタル場合ハ割增額ハ一時間ニ付賃銀日額(單價)ノ十分ノ三ヲ超エザル範圍內ニ於テ之ヲ定ム

六　直傭人夫ノ賃銀ハ每月十五日及月末ニ締切リ之ヲ二十日及翌月五日ノ二回拂トシ其ノ他ノ勞働者ハ日拂トス但シ土木部出張所ニ於テハ直傭人夫ノ例ニ依ル

七　勞働者ノ賃銀請求書ニハ工事主擔者ニ於テ作成セル人夫使役表ニ所長其ノ就勞ヲ證スル爲證明印ヲ押捺シ之ヲ添付スルモノトス、但シ賃銀ノ日拂ヲ受クル勞働者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　勞働者ノ使役ハ左ノ各號ノ規定ニ據ルベシ

一　直傭人夫ニハ總テ就業票ヲ交付シ出場ノ都度指定ノ場所ニ差出サシメ退場ノ際之ヲ還付スルモノトス

二　直傭人夫以外ノ勞働者ニハ總テ始業前登錄票(又ハ之ニ代ルベキモノ、以下同ジ)ヲ徵シ作業票(木札)ヲ交付シ就役中必ズ之ヲ携帶セシメ終業ノ際點檢ノ上之ヲ返納セシメ登錄票竝ニ出務證明書ヲ交付スルモノトス

三　前號ノ場合ニ於テ工事擔當員ハ勞働者ヲ就勞セシムル場合職業紹介所及地元市町村長ノ登錄票ヲ提出セシメ實地點檢ヲ行ヒ點檢簿ニ各自ノ番號(又ハ氏名)從業時間、工種、賃銀其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ工事主擔者ノ檢印ヲ受ケ三日以內ニ所長ノ檢閱ヲ受クベシ

四　直傭人夫以外ノ人夫ニシテ人夫賃定日拂ノ者ノ使役ニ付テハ直傭人夫ノ例ニヨルコトヲ得

第八條　工事主擔者ハ每日各工事擔當員ノ點檢簿ニ依リ就業

票竝ニ出務證明書ヲ整理スベシ

第九條　工事主擔者ハ既定計畫ニ基キ工事ニ著手セムトスルトキ及工事竣功シタルトキハ直ニ所長ニ報告スベシ

第十條　工事主擔者ハ工事日誌ヲ備付ケ天候（著シキ變化アル場合ハ其ノ時間ヲ附記スルコト）工事進捗概況、就勞人夫員數、陳情其ノ他必要ト認ムル一切ノ事項ヲ記載シ隨時所長ノ檢閱ヲ受クベシ

第十一條　工事主擔者機械、器具、工事用材料、物品又ハ勞働者等ヲ必要トスルトキハ所定ノ設計書ニ基キ豫メ所要數量、時期及場所ヲ定メ之ヲ所長ニ請求スベシ

第十二條　所長前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ購入若ハ送付又ハ傭入ノ手續ヲ爲スベシ

前項ノ購入若ハ送付又ハ傭入ノ決定アリタルトキハ所長其ノ旨直ニ工事主擔者ニ通知スベシ

第十三條　工事用材料其ノ他物件ノ納入アリタルトキハ工事主擔者ハ直ニ之ヲ檢査シ所長ノ承認ヲ受クベシ

第十四條　工事用材料ハ工事主擔者ニ於テ使用前之ヲ點檢スベシ

第十五條　工事主擔者ハ工事用材料其ノ他ノ物件ニシテ亡失毀損又ハ盜難ニ罹リタルトキハ其ノ顚末ヲ詳記シ所長ニ速報スベシ

第十六條　工事主擔者ハ機械、器具、工事用材料、備品及消耗品ノ別ニ受拂簿ヲ備付ケ受拂ノ都度之ヲ整理スベシ

工事完了シタルトキハ機械、器具、工事用材料、備品及消耗品ノ受拂精算書ヲ作成シ所長ニ提出スベシ

第十七條　工事主擔者ハ工事日誌ヲ備付ケ天候（著シキ變化アル場合ハ其ノ時間ヲ附記スルコト）工事進捗概況、就勞人夫員數、陳情其ノ他必要ト認ムル一切ノ事項ヲ記載シ隨時整理スベシ

第十八條　工事主擔者ハ毎月五日迄ニ工事功程月報ヲ所長ニ提出スベシ

第十九條　工事現場ニ備付クベキ簿册其ノ他ノ種類及樣式ハ別册ノ通トス

第二十條　本規程ニ定ムルモノノ外工事施行上必要アルモノハ所長之ヲ定ムルコトヲ得

附則

第二十一條　本規程ハ昭和十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條　本規程ニ定ムル事項ニ關スル從前ノ通牒ハ之ヲ廢止ス

簿册其他ノ種類、樣式

(一)　種類

一、工事日誌
一、點檢簿
一、設計額差引簿
一、備品出納簿　（會計規則所定ノモノヲ用フ）
一、消耗品出納簿　（〃　）

〔大阪土

一、工事用材料受拂簿
一、材料日計簿
一、勞力日計簿
一、就勞者名簿
一、就業票
一、出務證明書
一、物件購入關係書類

〔大阪土

一、工事功程表（取扱手續附屬樣式所定ノモノヲ用フルコトヲ得）
一、人夫使役表
一、勞力統計簿

(二)　樣式

別册ノ通

工事日誌

所長	主擔者	月日	天候	工事進捗概況	使役人夫數
		昭和　年　月　日　曜			

其ノ他ノ記事

（表　紙）

直　傭　人　夫
救　濟　人　夫　　點　　檢　　簿
工手、工夫、運轉手

自昭和　　年　　月　　日
至昭和　　年　　月　　日

甲（乙）第　　號

〔大阪土〕

〔大阪土〕

年　　月　　日　　所長檢閲　　主擔者印　　擔當者印

番號（又ハ氏名）	種別	職名	時間			勞役			賃銀	工種	摘要
			出	退	就	工程	單	價			

複寫式百枚綴トス　二通作成シ一通ハ本所ヘ報告用ニ使用一通ハ現場ノ原議トシテ保管

設計額差引簿

月日	摘要	種別	設計額	支出額	差引殘額	摘要

注意

一、種別ハ勞力費、材料費、機械器具費、雜費、用地費、支障物件費等ニ區分スルコト

〔大阪土〕

品名　　品質形狀寸法　　稱呼

工事材料受拂簿

月日	摘要	單價	受入高 數量	受入高 金額	拂出高 數量	拂出高 金額	殘高 數量	殘高 金額	殘高 數量	殘高 金額
	前葉繰越高									

注意

1. 同一物ニシテ單價ノ異ナル場合ハ左方殘高ニ殘高總額ヲ記入シ右方殘高ニハ單價別殘高ヲ記入スルコト
2. 材料ノ拂出ハ購入順ニナスコト

〔大阪土〕

大阪府

細目名

工事名

材料日計簿用紙

月	日	摘要＼名稱	單價	員數	金額	單價	員數	金額	單價	員數	金額
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
	計										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
	21										
	22										
	23										
	24										
	25										
	26										
	27										
	28										
	29										
	30										
	31										
	計										
	合計										
		累計									

注意　1. 土木部出張所ニ於テハ特ニ主務課長ノ承認ヲ得テ本簿ヲ省略スルコトヲ得

〔大阪土〕

工事名

細目名

勞力日計簿用紙甲

月	日	摘要＼名稱	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額
	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	計									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	31									
	計									
	合計									
		月分累計								

〔大阪土〕

就勞者名簿

番號	住所	氏名	印	摘要

○　○

就業票

日	賃銀支給額	擔當者印
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
計		

賃銀日額	
昭和　年　月	
職名	
氏名	
受領印	

摘要

一、本票ハ出場ノ都度指定セラレタル場所ノ係員ニ差出シ退場ノ際該場所ノ係員ヨリ受取ルベシ
一、本就業票ハ賃銀受領ノ爲必要ノモノニ付大切ニ保存スベシ
一、本就業票ノ賃銀支給額ニ疑問アルトキハ直ニ其ノ旨係員ニ申出ヅベシ

注意

一、摘要事項ハ裏面又ハ欄外ニ設クルコト
一、市町村ニ於テナス就勞資格者ナル旨ノ證明ハ左記ニヨリ裏面ニ之ヲ記載スルコト

證明書

右記ノ者ハ工事就勞資格者ナルコトヲ證明ス

昭和　年　月　日

市町村長

大阪府知事　殿

（表）

出務證明書

番號	紹介所
昭和　年　月　日	發行日
賃銀　圓　錢　月　日	分日
割增　歩　厘　月　日	分日
仕拂金額　圓　錢	
雇傭者認印	

上記金額正ニ領收ス

昭和　年　月　日

出務者

注意

一、此票は賃銀仕拂の引換證になりますから大切にして下さい

一、此票に雇傭者の認印なきものは賃銀の仕拂を致しませぬからお忘れなく認印を貰つてお出下さい

一、若し約束以外の仕事をした時は割增の所へ其の歩合及賃銀を書き入れて貰つてお出下さい

右ニ同ジ

右ニ同ジ

右ニ同ジ

右ニ同ジ

○

○

○

（裏）原紙ノ裏ノミ印刷

薄紙一枚ヲ附シ複寫式トシ原紙ニハミシン線ヲ入レ切離シ得ル樣ニ

〔十四大〕

〔十四大〕

物件購入請求原簿

所長　　昭和　年　月　日決定通知　　通知者

第　號　　昭和　年　月　日請求　　請求者

費目		工種		種目		細目		備考	

品名	品質形狀寸法	稱呼	數量	單價	金額	使用目的	納入

工事名		現品納入場所		所要時期		記事	

物件購入決定通知

所長　　昭和　年　月　日決定通知　　通知者

第　號　　昭和　年　月　日請求　　請求者

費目		工種		種目		細目		備考	

品名	品質形狀寸法	稱呼	數量	單價	金額	使用目的	納入

(A)
(B)
(C)用紙ハ一括シ複寫式トスルコト

(A)薄紙

(B)薄紙

工事名		現品納入場所		所要時期		記事			

物件購入請求書

所長　　昭和　年　月　日決定通知　　通知者

第　號　　昭和　年　月　日請求　　請求者

費目		工種		種目		細目		備考	

品名	品質形狀寸法	稱呼	數量	單價	金額	使用目的	納人
工事名		現品納入場所		所要時期		記事	

(C) 洋紙

〔大阪土〕

〔大阪土〕

工事功程報告　　所長

工事主擔者

工事名　　月分　　昭和　年　月　日報告

工種	種目	形質	單位	設計高	本月出來高	出來高累計	摘要

注意　本樣式ニ依ルノ必要ナシト認ムルトキハ所長ノ承認ヲ得テ土木部出張所工營所事務取扱手續ニ規定スル工事功程表ニヨルコトヲ得

、、、事業、、、線　自昭和　年　月　日　至昭和　年　月　日（直傭人夫）使役表

所長印　使役者　官職　氏　名印

職氏名	單價	金額	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
小計															
計															

備考

一、所長ハ末尾ニモ捺印ノコト

一、訂正箇所アラバ所長モ捺印ノコト

〔大阪土〕

工事名

月日	市内紹介所 熟練 人員	市内紹介所 熟練 金額	市内紹介所 不熟練 人員	市内紹介所 不熟練 金額	地元紹介所 熟練 人員	地元紹介所 熟練 金額	地元紹介所 不熟練 人員	地元紹介所 不熟練 金額	直傭 熟練 人員	直傭 熟練 金額	直傭 不熟練 人員	直傭 不熟練 金額	計 熟練 人員	計 熟練 金額	計 不熟練 人員	計 不熟練 金額	計 人員	計 金額
1																		
2																		
3																		
—																		
—																		
—																		
—																		
、、、、																		
15																		
計																		

〔大阪土〕

、、、												
31												
計												
合計												
累計												

労力統計簿

〔大阪土〕

〔大阪土〕

工事名 職名

月	日	市内紹介所 人員	市内紹介所 金額	市内紹介所 最高/最低	地元紹介所 人員	地元紹介所 金額	地元紹介所 最高/最低	直傭 人員	直傭 金額	直傭 最高/最低	計 人員	計 金額
	1											
	2											
	3											
	、、、、、、、、、、、、、、、											
	15											
	計											

16	
17	
18	
〃	
31	
計	
合計	
累計	

職名別勞力統計表

〔大阪土〕

〔大阪土〕

●直營工事施行規程設定ニ關スル件

昭和十一年九月二十八日
總務課長依命通牒

土木部各出張所
工營所長宛

標記規程設定ノ件本日土木部長ヨリ通牒相成候處右規程實施ニ當リテハ左記事項特ニ御留意相成度

記

一、人夫賃ノ割增ハ其ノ最高限度ヲ規定セルモノニ付實狀ヲ査定セス一率ニ最高限度ヲ支給スルカ如キコトハ嚴ニ之ヲ避クヘキコト

尙第六條中

イ、水中作業ニ從業セシメタルトキ、トハ寒中ニ於ケル水中作業又ハ一般人夫ノ忌避スル水中作業等ニ從事セシメタル場合ニシテ特ニ割增ヲナスノ必要アリト認メタルトキトス

ロ、其ノ他特別ノ勞役ニ從事セシメタルトキ、トハ高所又ハ地下其ノ他ノ作業ニシテ危險率多キモノ又ハ一般人夫ノ忌避スル作業ニ從事セシメタル場合ニシテ特ニ割增ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキトス

ハ、割增ヲ爲スヘキ作業ニ從事セシメタル場合ト雖モ之ヲ人夫賃單價中ニ見込ミタルトキハ更ニ其ノ割增ヲ爲スノ限ニ在ラス

二、登錄票ニ代ハルヘキモノトハ出張所ニ於テ現在徵シ居レル町村長ノ證明書等ヲ指稱セルモノトス

三、人夫ノ點檢ハ正確ニナシ所長ノ指定セル者ヲシテ臨時調査ヲナサシムル等其ノ嚴正ヲ期スルコト

四、點檢簿ハ勞力費支出竝勞働者使役ニ關スル重要ナル原簿トナルヘキニ付其ノ整理竝保管ハ完全ヲ期スヘキコト

五、現場ニ於ケル日々ノ工事ノ施行計畫ハ最モ愼重ニ考慮シ勞力竝材料ノ配給及其ノ使用ニ付テハ蹉跌ヲ生セシムルコトナク且各業務聯絡ヲ緊密ニシ本廳ノ決裁ヲ得ルモノニ付テハ其ノ間ノ日數ヲ考慮シ豫メ書類ヲ調製シ伺出ルコト

六、本規程ハ直營工事施行ニ關シ必要ナル要綱ヲ示セルモノニ付之ニ規定ナキモノト雖モ必要ナル事項ハ所長ニ於テ之ヲ定メ工事ノ施行上遺憾ナキヲ期スヘキコト

七、本規程ハ昭和十一年十月一日ヨリ施行セラルヘキモノナルモ目下工事半ニシテ本規程ニ依リ難キモノハ尙該工事ノ完了ニ至ル迄從前ノ方法ニヨルコトヲ得ル主旨ニ付了承セラレ度

●都市計畫事業執行ニ關シ御協議方ノ件

昭和五年九月九日
都市計畫課長照會

工營課長宛

都市計畫事業ハ都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ決定認可ヲ經タルモノニシテ其ノ變更ハ些少ナルモノト雖モ都市計畫委員會ノ議決ヲ要シ又都市計畫委員會ニハ事業執行ノ狀況ヲ檢査スルノ權限ヲ附與シアル等同法ハ之カ事業執行ニ萬遺漏ナキヲ期スルニ外ナラス候此義ニ付テハ從來實施設計御確定ノ上合議相成候モ之カ改廢ニ就テハ勘カラサル手數ヲ要シ候條爾今都市計畫事業タル道路及延長五間以上ノ設計ニ際シテハ一般都市計畫ヲ以テ豫メ當課ニ御協議相成度

●設計金額ノ止位ニ關スル件

昭和八年六月
土木部長通牒

各出張所長
工營所長
宛

當府ニ於テ施行スル土木工事竝當府ノ補助ヲ受ケ施行スル市町村土木工事ノ設計金額ノ止位ニ關シテハ從來金額ハ總テ錢位トシ合計工費金額ハ圓止メ以下切捨ツルコトニ決定ノ處爾今ハ總テ錢止メ以下切捨ツルコトニ更改致候ニ付府工事竝農村振興ノ爲メニスル土木工事ノ設計ハ勿論市町村自體ニ於テ作製スル設計ニ付テモ同樣ニ付關係市町村ヘ此旨示達相成度

追テ用地費ニ關シテハ曩ニ通牒濟ニ有之候

●變更設計作製ノ件

大正十二年三月
土木課長通牒

各出張所主幹宛

從來工事請負契約締結後ニ於テ設計變更スル場合ハ請負工費新舊對照表竝變更設計書ノ二通ヲ作製シ來リタルモ今回新舊對照表ヲ省略ノ上左記要項ニ依リ變更設計ヲ作製スルコト致シ候條及通牒候也

追而將來國庫補助ニ依ル工事ノ設計變更ハ從前通リ新舊對照表ニ添附セラルヘク爲念申添候

記

要　項

一、變更設計ニハ請負明細書ノ單價ヲ付スルコト

二、異動ナキ箇所ハ黑書トシ變更箇所ノミ原設計書ハ朱書シ變更箇所ヲ黑書トス

三、設計書樣式中設計大要欄ヲ橫線ニテ一欄ヲ增シ新舊設計ノ變更箇所ノ大要ヲ明記シ內譯ノ大要欄ニ必ス摘要明記ノコト

〔大阪土ニ〕

四、工事ヲ追加又ハ削除セントスルトキハ上欄外ニ追加又ハ削除ト明記ノコト

五、設計變更ニ伴フ圖面ハ左記略圖ノ如ク同一斷面圖ニ於テ點線ハ原設計々畫線ニシテ實線ハ變更設計々畫線トス

●事業ノ施行督勵ノ件

昭和八年五月
土木課長通牒

各出張所主幹宛

河川其他工事ニシテ實施ニ際シ地盤硬質ノ爲メ所定杭長打込能ハサル場合ハ其際直チニ報告シ一面設計變更等機宜ノ處置ヲ爲スヘキハ勿論ノ義ニ有之候ニ不拘慢然其手續ヲ履マス竣工檢查後杭頭切斷ノ義上申ノ向有之候、右ハ取扱上甚タ穩當ヲ缺ク而已ナラス監督員及請負人ヲシテ自然設計仕樣書ニ重キヲ置カサル惑ヲ起サシムルモノニシテ工事執行上寔ニ遺憾ニ被存候條爾後斯ル場合ハ速ニ相當手續履行セラレ度此段及通牒候也

●都市計畫事業街路植樹桝ノ件

昭和九年二月十日
土木部長通知

工營課長宛

〔大阪土ニ〕

標記ノ件自今已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外左記竝別紙圖面ニ依リ設計相成度此段及通知候也

記

步道幅員四米以上ノ場合內法橫一米縱一、四〇米トス
步道幅員三米以上四米以下ノ場合內法橫〇、八〇米縱一、二〇米トス
但シ特殊ノ場合ハ別ニ之ヲ定ム
（別紙圖ハ之ヲ略ス）

昭和九年二月十三日
堺工營所長照會

土木部長宛

都市計畫事業街路植樹桝ノ件

本月十日付標記ノ件ニ關シ通知有之候處右ハ都市計畫事業ノ街路工事ニノミ限定セラレタルモノト解釋シテ差支ナキヤ一應及照會候也

昭和九年二月十六日
土木部長

堺工營所長宛

都市計畫事業街路植樹桝ノ件

二月十三日付標記ノ件ニ關シ照會有之候處幹線道路改良事業等ノ爲街路樹植栽ヲ要スル場合モ二月十日通知ノ趣旨ニ準シ

設計處理相成度及回答候也

●工事施行上申書ニ圖面添付ノ件

昭和六年八月
土木部長通牒

土木部各課所長宛

指定工事施行上申書竝其ノ他必要ト被認書類ニハ爾今帝國陸地測量部刊行縮尺二萬乃至二萬五千分ノ一ノ圖面ニ工事箇所ヲ朱記シ添付相成度

追而右圖面ノ刊行ナキ地方ハ五萬分ノ一ノ圖面若クハ之ニ替ルヘキ圖面ヲ添附相成度申添候

●土木事業施行取扱ニ關スル件

昭和三年五月
土木、技術兩課長通牒

土木出張所主幹宛

過般開催ニ係ル土木出張所主幹會議ニ於テ諮問相成候土木事業施行速進方ニ關シテハ今般左記各項ニヨリ取扱フコトニ決定相成候條御了承ノ上事業遂行速進ニ付一層御留意相成度此段依命及通牒候也

記

一、土木事業施行ニ關シ府費ヲ以テ支辨ヲ要スル收入印紙代ハ當該事業ノ設計書中用地費內ニ包含計算シ置キ事業施行ニ當リ現品ニヨリ請求スルコトトシ而シテ之カ受拂ニ關シテハ「會計規則第百三條府出納吏ノ消耗品出納簿」(第三十八號樣式)ニ準シ「收入印紙貼用及出納簿」ヲ設ケ費途ヲ明瞭ナラシムルコト

二、府費ヲ以テ支辨スヘキ土木事業ニ付市町村ヨリ用地又ハ費用ノ一部ノ寄附申込アリタル場合ハ寄附申込書ニ末記樣式ニ準シタル寄附ニ關スル市町村會ノ決議書謄本ヲ添付セシムルコト

三、土木事業施行ニ當リ不當ナル價格又ハ不當ナル理由ヲ以テ土地又ハ土地ノ上ニ存スル權利ノ買收ニ應セサルトキハ遲滯ナク其ノ事情ヲ詳記シ土地收用ニ關スル上申ヲ爲シ本廳ノ指示ニ從ヒ速ニ必要書類ヲ提出スルコト

四、設計書作成ノ爲メ道路用地測量ノ場合ハ道路ノ敷地タルヘキ部分ノ測量ニ止メズ當該土地ノ取得ノ際ニ於ケル土地分割手續ニ關シ要スル分割圖作成上ノ便宜ヲ考慮シ道路敷地ニ關係スル各筆ニ付其ノ金部ノ丈量圖ヲ作成スルコト

樣式

議案第　號

〔大阪土〕

寄附申込ニ關スル件

●國(府縣)道何々線何市(町村)地內道路改修ノ場合ハ其ノ道路敷地トナルヘキ土地又ハ用地費及支障物件移轉費ニ相當スル金額或ハ金何圓ハ本市(町村)ヨリ寄附スルモノトス

年　月　日　　何市(町村)長

理　由

本道路ハ本市(町村)ノ交通上重要ナル關係ヲ有シ本市(町村)ノ公益上必要ナルモノニ付前記寄附ヲ爲シ道路ノ改修ヲ促進セムトス、之レ本案ヲ提出スル所以ナリ

●道路法敷無償使用承諾書竝道路境界杭ニ關スル件

昭和九年七月九日
土木部長通牒

各工營所長宛

道路改築工事施行ニ際シ道路法敷ヲ買收セス無償使用ヲ爲ス場合ハ必ス土地所有者ヨリ承諾書ヲ徵スルコトニ處理相成度尙管理上道路ノ境界ヲ明確ナラシムル必要有之候條工事施行ト同時ニ道路境界杭ヲ入レ取扱ヒニ便ナラシメラレ度此段及通牒候也

〔大阪土〕

追而既ニ工事ヲ施行シ未タ法敷無償使用ノ承諾書ヲ徵セサルモノ有之候ハヽ、此ノ際總テ現在ノ土地所有者ヨリ承諾書ヲ徵シ尙道路境界杭ノ建設ナキモノハ至急建設相成度

●工事請負契約締結後設計變更ノ場合ハ設計書添附ノ件

大正八年三月
土木課長通知

各出張所主幹宛

工事請負契約締結後不得止事情ニ因リ設計變更ノ場合ハ請負人ヘ該設計書交付スヘキハ正當ノ措置ナルニ從來請書ヲ徵スルノミニテ之ヲ省略致居候處右ハ取扱上穩當ヲ失スル嫌有之候ニ付之ヲ交付スル事ニ改メ度候ニ付テハ將來右變更上申ノ際ハ該設計書二部添附セラレ度此段及通知候也

●請負金額異動ノ場合請書ヲ徵スルノ件

大正七年六月
土木課長通牒

出張所主幹宛

工事設計變更ノ結果請負金額ニ增減ヲ生シタル場合ハ別紙書

式ニ依リ請書ヲ徴スルコトニ廳議決定相成候條右ニ依リ取扱相成度

請書

印紙

一、金　何　圓也　請負金增加高

但別紙請負金增減計算書ノ通

此契約保證金何程（請負金減少ノ場合ハ本行削除）

工事竣工期限　大正何年何月何日

右何年何月何日契約締結セル何郡何町村所屬何々工事ハ今回設計御變更ニ付本文ノ通請負金ノ增額（減額）及竣工期限變更ノ儀異議無之候ニ付御請仕候也

年　月　日

氏　名

大阪府知事　殿

請負金額增減計算書

種目	材料		單價		摘要
		原設計數量		原請負金額	
		變更設計數量		變更請負金額	
計					

〔大阪土〕

●工事用器具機械購入手續ニ關スル件

昭和九年四月
總務課長依命通牒

土木部各課所長宛

土木工事用器具機械ノ購入手續ニ關シ其ノ主管課ニ付處務細則上疑義有之候處今回會計課及總務課ニ於テ左記ニヨリ取扱フコトニ協議決定候條爾後右ニ依リ處理相成度

記

工事自體ニ要スル器具機械ニシテ急ヲ要スルモノ又ハ技術的特殊ノ性質ヲ有スルモノハ土木部ニ於テ立案シ會計課ニ合議ノ上施行スルモノトス

●工事用材料購入手續取扱方ノ件

昭和七年十一月
工營課長通牒

工營所長宛

標記ノ件ニ付テハ從來通牒ノ次第モ有之候處爾今左記ニ依リ御取扱相成度

記

一、一設計中所要ノ同種材料ハ之ヲ一廉ニ取纏メ購入ノ上申ヲナスコト但シ一設計ヲ數工區ニ別チ施工スル場合ニ於テハ其ノ工區所要同程ノモノヲ一廉トスルモ差支ヘナキコト

此ノ場合ニ於テハ工區名ヲ上申書ニ記載スルコト

一、同種材料中ニ於テ猶細別アリテ之ヲ取扱フ商人異ナル等ノ場合ニ於テハ其ノ一細別ニヨリ一廉トシテ購入手續ヲ爲スコト

一、前二項ニヨリ直ニ一廉トシテ購入シ難キ事情アル場合又ハ不得策ナリト認ムル場合ニ於テハ不取敢少量ヲ購入シ引續キ全部ノ購入手續ニ移ルコト

此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ上申書ニ記載スルコト

一、使用期間長キニ亙ル材料ニシテ貯藏ニ困難ナルモノ又ハ一時ニ收納シ難キモノニ付テハ契約ニ於テ分納ノ途ヲ開クコトトシ其ノ旨上申書ニ記載スルコト

一、上申書ニハ設計番號（設計番號ナキトキハ他ノ設計ト區別シ得ヘキ適當ノ表示）ヲ記載スルコト

一、購入上申ニハ審議及購入手續ニ要スル相當ノ日子有セシメテ之ヲ爲スコト

〔大阪土〕

●道路修繕工事施行ニ際シ材料ト勞力トヲ一廉トスルノ件

大正九年七月
土木課長通牒

出張所主幹宛

一廉ノ道路修繕工事ヲ施行スルニ際シ材料ト勞力トヲ區分シ甚シキハ其材料ヲ殊更數件ニ區分シテ購入ノ形式ヲ採ル向往々有之右ハ取扱上甚タ不穩當ノ嫌有之候條爾今一廉工事トシテ施行方禀伺相成度及通牒候也

●人夫賃整理其ノ他ノ件

昭和七年四月
工營課長通牒

工營所長宛

本月二十一日事務打合會ニ於テ別紙ノ通協定致候條爾今勵行ノ上遵算ナキヲ期セラレ度

別紙

一、人夫賃整理ニ關スル件

（イ）人夫使役ニ關スル書類ニ押捺スヘキ工營所長及使役者ノ印鑑ハ豫メ工營課ニ印影ヲ提出シ置カルルコト

（ロ）人夫使役證明書ハ公印ヲ用ヒス所長ノ認印ニ依リ處理セラルルコト

（ハ）人夫賃請求ノ場合委任ニ依ル際ハ委任狀對照者ハ庶務掛上席者ヲシテ爲サシムルコト

（ニ）記簿者ト委任對照者トハ別人ヲ以テ取扱ハルルコト

二、豫算整理簿對照ノ件

豫算整理簿ハ毎月一回必ス本課豫算整理簿ト對照シ不突合ナキ樣整理スルコト

右對照ハ本課員ニ於テ之ヲ行ヒ工營所擔任者ハ立會スルコト尙對照ノ際ハ關係證憑書類ニ付テモ併セ調査スルコト

三、備品臺帳整理ノ件

備品臺帳ハ常ニ整理シ毎年二回以上現品ト不突合ナキ樣對照整理スルコト

●工事工程月報作成ニ關スル件

昭和五年十二月
工營課長通牒

各出張所主任宛

十一月二十七日付ヲ以テ及通牒置候工事工程月報ハ左記事項ニ留意シ作成相成度

記

一、工事ノ種別毎ニ區間ヲ揭記スルコト例ヘハ路床工自內代至森小

〔大阪土〕

町起點路町四九六切取自森小路町四九六等ノ如シ

二、出來形ハ工事費支拂高ノ如何ニ關セス工事進捗ノ程度ヲ示スモノトス

三、出來形歩合ハ當月迄ノ出來形ト設計高トノ割合ヲ記入スルコト

四、出來形ハ總テ百分率ヲ以テ示スコト

●工事工程月報ニ關スル件

昭和九年八月三十一日
工營課長通牒

工營所長宛

爾今工事工程月報ニハ別紙凡例ニ準據シ成ルベク縮少セル平面圖（要スレバ縱斷圖ヲモ添付シ）ニ色別工程ヲ記入シ報告相成度

橋梁工事ハ別ニ道路工事構造物ニ準據シ橋梁縱斷圖（要スレバ平面圖ヲモ添付シ）ニ高欄工、床版工、主桁工、橋脚軀體工、橋臺軀體工、杭打工、掘鑿竝埋戻工ニ分チ記入有之度

（圖面略）

●危險標示ニ關スル件

昭和九年二月八日
工營課長通牒

工營所長宛

土木事業施行ノ爲通行其他危險ナリト認メラルル場所ニハ必ズ危險標示ヲ爲シ且夜間ハ點燈スル等適當ノ方法ヲ講ジ事故發生ノ防止ニ努メラレ度此段及通牒候也

追而目下施行工事ノ爲交通上其ノ他危險アリト認メラルル場所ニシテ警戒標ノ建設ナキモノハ此ノ際至急建設相成度候

●工事用材料ノ置場ニ付キ注意方ノ件

大正十一年三月
土木課長通牒

出張所主幹宛

工事施工ニ際シ其ノ材料殊ニ砂利等適當ノ置場ナキ場合之ヲ路面ニ搬出セシムルハ不得止義ト雖モ右ハ一面一般交通上支障不尠甚タ遺憾ノ次第ニ有之候條將來工事執行ニ付テハ左記事項特ニ留意相成度此段及通牒候也

記

一、工事用材料搬出ニ付テハ其ノ置場ノ撰定ニ付十分考慮ヲ拂ヒ交通上支障尠キ位置ヲ指示スルコト

一、路面修繕用材料ノ如キハ可成搬出ノ都度檢收ヲ了シ檢收濟ノ材料ハ速ニ敷設セシムルコト

一、不適合ト認メタル材料ハ速ニ現場ヨリ持退カシムルコト

●工事用土砂砂利採取ニ關スル件

昭和九年四月二十六日
河港課長照會

工營課長宛

貴課（所）主管土木工事ニ使用セラルヽ土砂々利ヲ管下諸河川ニ需メラルヽ場合從來當課ニハ工事著手ノ直前ニ支障ノ有無ヲ協議相成居爲時ニ御目論見ノ採取地點ハ治水上及先願關係等ニヨリ折角ノ御協議ヲ容認シ兼ル場合モ相生シ御計畫ニ齟齬ヲ來スコトモ有之ヤト被存候ニ就テハ將來此種土砂使用工事ハ設計ノ當初ニ於テ豫メ御協議相成樣致度

尙最近管下各河川共土砂濫採ノ狀況ニ有之大量採取ハ相當困難ト被存又土砂無償拂下ハ公共團體ノ公益事業ニ限ラルヽ次第ニ有之直營事業ニ非ル請負工事ハ無償ト兼致候爲念

●古材處分ノ件

大正十年十一月
土木課長通牒

出張所主幹宛

橋梁架換又ハ修繕施工其他ノ爲メ生シタル古材ノ處分ニ付テハ過般主幹會議ノ砌注意シタル義モ有之候處右古材ハ腐朽亡失等ノコトナキ樣嚴重保管シ置ク共ニ輕易ナル修繕其他適當ナル工事ニ付テハ出來得ル限之ヲ利用スルノ方法ヲ講スルニ力メ絕對使用ニ耐エルモノノ外猥ニ賣却等ノ取扱セサル樣特ニ留意相成度此段及通牒候也

●事故發生ノ場合卽報ノ件

昭和五年五月
工營課長通牒

工營課出張所主任宛

各事業關係ノ職員、工夫、人夫等ニシテ工事施行ノ際ノ重傷又ハ卽死等ノ事故アリタル場合ハ直營工事タルト請負工事タルトヲ問ハス其ノ狀況ヲ文書若ハ電話ヲ以テ直ニ報告相成度及通牒候也

追テ尙事變ニ對スル善後策ヲ講スル關係モ有之前記ノ外工事現場ニ於テ若ハ工事ニ關シ事故アリタルトキハ其ノ都度直ニ報告相成度

第二章　補助工事

●國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル件

明治三十年四月一日
法律第三十七號

第一條　府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國庫ヨリ其ノ費用ヲ補助シタルモノニ關シ必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ事業ノ設計施行管理竝經費收支ノ方法等ニ付期間ヲ指定シテ之カ變更ヲ命シ若シ命ニ從ハサルトキハ直チニ之ヲ變更スルコトヲ得

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業ノ全部若クハ一部ヲ直接施行スルコトヲ得

第二條　前條ノ事業ニ關シ經費ノ負擔ヲ爲シ又ハ經費ノ變更ヲ爲スヘキ場合ニ於テ主務大臣ノ指定シタル期間內ニ之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ直ニ豫算ヲ定メ又ハ豫算ヲ追加シ若クハ更正シ必要ナル費用ヲ支辨セシムルコトヲ得

第三條　此ノ法律ニ規定シタル主務大臣ノ職權ハ其ノ委任ヲ受ケタル地方長官ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第四條　府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國ノ事業ト關聯スル場合ニ於テハ此ノ法律ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第五條　此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

●國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル件施行規程

明治三十一年八月二日
勅令第百八十四號

第一條　內務大臣ニ於テ府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ヲ直接施行スルトキハ官報ヲ以テ其ノ事業ニ屬スル公共團體竝ニ其ノ施行スヘキ事業及其ノ始期ヲ告示スヘシ

內務大臣ニ於テ前事業直接施行ヲ廢止シ又ハ事業ヲ終了シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ

第二條　府縣郡市區町村其ノ他公共團體ハ內務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ニ要スル費用ノ豫算金額ヲ國庫ニ納付スヘシ

前項ニヨリ納付スヘキ期間竝ニ豫算金額ハ內務大臣之ヲ定ム

第三條　府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ於テ內務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ノ爲取得シタル物件及權利ヲ有スルトキ

ハ之ヲ內務大臣ニ移付スヘシ

前項ニ依リ移付ヲ爲スヘキ期間竝ニ物件及權利ノ範圍ハ內務大臣之ヲ定ム

第四條　內務大臣ハ其ノ直接施行ニ係ル事業ニ關シ必要ナルトキハ其ノ事業ノ屬スル府縣郡市區町村其ノ他公共團體ヲ管轄スル行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得

第五條　內務大臣ニ於テ其ノ直接施行ニ係ル事業ヲ終了シタルトキハ之ヲ其ノ所屬府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ引渡スヘシ但シ其ノ事業ノ數年ニ涉ル場合ニ於テハ其ノ完了シタル部分ヲ順次引渡スコトヲ得

第六條　內務大臣ニ於テ前條ニ依リ事業ノ引渡ヲ爲シタルトキハ其ノ事業ノ爲取得シ又ハ第三條ニ依リ移付ヲ受ケタル物件及權利ニシテ現存スルモノハ之ヲ其ノ事業ノ屬スル府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ移付スヘシ

前項ニ依リ移付ヲ爲スヘキ物件及權利ノ範圍竝ニ其ノ移付シ難キモノニ關スル處分ハ內務大臣之ヲ定ム

第七條　內務大臣ノ直接施行ニ係ル事業ニ要スル費用ノ不足額ノ補充及殘餘金ノ處分等ハ內務大臣之ヲ定ム

第八條　內務大臣ニ於テ府縣郡市區町村其ノ他公共團體ニ屬スル事業ノ直接施行ヲ廢止シタルトキハ前三條ノ規定ヲ準用ス

第九條　此ノ勅令ニ規定シタルモノノ外內務大臣ハ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

〔大阪土〕

●公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル件

明治四十四年二月二十四日
法律第二號

公共團體ノ經營ニ係ル工事ニ對シ國庫ヨリ其ノ經費ヲ補助スル場合ニ於テハ該補助費ノ各年度豫算殘額ハ工事ノ完成ニ至ル迄順次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●國庫補助土木事業ノ補助基本額ニ關スル件

昭和九年二月一日
發土第五號
社會局社會部長通牒

國庫ヨリ補助スル土木事業ニシテ失業者救濟ノ爲ニ更ニ國庫ヨリ補助アリタル場合ニ於テハ土木事業ノ補助基本額ヨリ失業應急事業トシテ受ケル補助ヲ控除スルコトニ省議決定相成

〔大阪土〕

候條御承知相成度

●國庫補助要求及仕拂方等ニ關スル件

大正三年四月四日
發會第三二號
內務省會計課長
土木局長通牒

地方長官宛

公共團體ノ經營ニ係ル工事ニ對スル國庫補助ノ要求及仕拂方等ニ關シテハ將來左記ノ通リ可取扱義ト御了知相成度

左記

(一)公共團體ノ經營ニ係ル工事ニ對シ國庫補助ノ指令アリタルトキハ別ニ通牒ヲナス場合ノ外別紙甲、乙號樣式ニ依リ仕拂豫算ノ要求ヲナスモノトス

(二)工事豫期ノ如ク進捗セサル爲年度內國庫補助ノ全額ヲ要求スルニ至ラス其殘餘額ヲ翌年度ニ於テ要求スル場合モ亦前項ト同一ノ方法ニ依ルモノトス

(三)國庫補助ハ工事進捗ノ程度ニ應シ仕拂命令ヲ發行スルモノトス

(四)國庫補助仕拂ノ年度區分ハ會計規則第二條第五ニ依ルモノトス

(五)國庫補助仕拂命令委任額ニ對シ仕拂命令發行未濟額ヲ生シタルトキハ別紙丙號樣式ニ依リ翌年度ヘ繰越使用方ヲ稟請シ又仕拂命令發行未濟額ナキトキハ別紙丁號樣式ニ依リ報告スルモノトス

(六)前項ノ稟請書及報告書ハ遲クモ翌年度四月十五日迄ニ提出スルモノトス

(甲號樣式)

年　月　日

道廳長官
府縣知事

內務大臣宛

何年度何廳府縣災害土木費補助仕拂豫算要求之件

金何圓　　要求額

內譯

前期迄仕拂濟額	當期仕拂見込額	當期國庫補助月割額
工事費國庫補助	工事費國庫補助	何月分　何月分

右要求候也

(備考)

一　災害土木費補助ノ要求ハ本樣式ニ依リ一年度ヲ四期ニ分チ三ケ月分宛ヲ要求スルモノトス

二　前期迄仕拂濟額ハ各期ニ於ケル仕拂合計額ヲ記載ス

ルモノトス但シ四月要求ノ分ニシテ前年度ヨリ繰越ニ係ルモノハ前年度ニ於ケル仕拂濟額ノ合計ヲ記載スヘシ

三　前期迄ノ國庫補助ニ於テ未拂額又ハ不足額ヲ生シタルトキハ當期分國庫補助仕拂見込額ニ於テ加除シ又工事費支出額ニ對シ國庫補助歩合額ニ過不足アルトキハ何レモ備考ニ其事由ヲ記載スルモノトス

四　月割額ハ當期國庫補助要求額ヲ工事進捗ノ程度ニ應シ仕拂ヲナス見込額ヲ記載スルモノトス

五　要求額ハ圓以下ヲ四捨五入トシ圓位ニ止ムルモノトス

（乙號樣式）

年　月　日

道廳長官
府縣知事

内務大臣宛

何年度何々費補助仕拂豫算要求之件

金何程

要求額

内譯

月別	工事費支出見込額	國庫補助仕拂見込額	備考
何月			
何月			
計			

〔大阪土〕

前年度迄（前年度）仕拂額

右要求候也

（備考）

一　災害土木費補助ヲ除キタル他ノ補助ノ要求ハ本樣式ニ依リ一ケ年度内所要額ヲ一時ニ要求スルモノトス

二　工事費支出見込額ハ公共團體ニ於ケル各月ノ工事費支出見込額ヲ記載スルモノトス

三　國庫補助仕拂見込額ハ工事進捗ノ程度ニ應シ仕拂命令ヲ發行スル見込額ヲ記載スルモノトス但シ工事費支出額ニ對シ國庫補助歩合額ニ過不足アルトキハ各月毎ニ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ

四　繼續補助又ハ前年度ヨリ繰越ニ係ル補助ヲ要求スル場合ニ於テハ前年度迄又ハ前年度ニ於ケル工事費及國庫補助ノ仕拂濟額ヲ内譯計ノ次行ニ記載スルモノトス

（丙號樣式）

年　月　日

道廳長官
府縣知事

内務大臣宛

何年度何々費繰越ノ件

款項目	仕拂命令發行額	差引翌年度へ繰越額	繰越事由

〔大阪土〕

何費何費	一、000・000	八00・000	三00・000	何々ニ由ル
何費		何月 一00・000		
		何月 一00・000		

右之通リ翌年度へ繰越使用方御許可相成度此段稟請候也

（備考）

一　繰越額ニ對スル月割額ハ工事進捗ノ程度ニ應シ仕拂ヲナス見込額ヲ記載スルモノトス

（丁號樣式）

年　月　日

道廳長官
府縣知事

内務大臣官房會計課長宛

何年度何々仕拂濟之件

右仕拂命令委任額金何程ハ年度内其全額ノ仕拂命令發行濟ニ候此段及報告候也

●國庫補助金ノ取扱方ニ關スル件

大正十五年十二月十八日
發甲第四二號土木局長會計課長通牒

各府縣知事宛

災害土木費及砂防ノ國庫補助金支拂委任額ノ内支拂殘額ニ付工事竣功シタルノ故ヲ以テ不要額トシ取扱ヲ爲サルル向往々有之候處府縣カ受入ルヘキ國庫補助金ノ總額ハ災害土木工事全部ノ完了認定又ハ砂防工事竣功ノ認可ヲ受ケタル後正確ニ決定セラルヘキモノニ付爾今右處分ノ未了中ハ支拂委任額ヲ遞次繰越ノ手續相成度

●土木事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件

昭和十年四月五日
十會乙第九一九號農林大臣官房會計課長通牒

首題ノ件ニ關シ秋田縣知事ヨリ別紙甲號ノ伺出有之乙號ノ通回答致置候條右ニ依リ取扱相成度此段及通牒候也

甲號

秋收本產一第三八號
昭和十年三月十一日

秋田縣知事

農林省農務局長殿

土木事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件一

國庫ノ補助ヲ得テ施行スル市町村ノ各種土木事業費ノ勞賃一部トシテ市町村ヨリ就勞者ニ對シ米穀ヲ交付スル場合ニ於テ右米穀ヲ交付スル場合ニ於テ事業費ニ對スル國庫補助ハ現金ヲ以テ支辨シタル事業費ニ對スルモノト同樣御交付ノ事ト存候モ右御差支ノ有無爲念至急御回示相煩度此段相伺候也

追テ本文御伺ノ儀支障無之ニ於テハ政府ノ所有米ノ拂下希望ノ町村有之見込ニ候條申添候

乙號

十會乙第九一九號

昭和十年四月五日

農林大臣官房會計課長　田淵敏治郎

秋田縣知事殿

土木事業ニ對スル國庫補助ニ關スル件

三月十一日附秋收本產一第三八號ヲ以テ農務局外三局長ニ伺出相成候首題ノ件ハ就勞者ニ對シテハ賃金ヲ支拂ヒ就勞者ハ其ノ受ケタル賃金ヲ以テ米ヲ買受クルノ方法ニ依リ取扱相成度此段及回答候也

追テ金錢ノ受授ニ付テハ相殺手續ヲ採ラレ差支無之爲念申添候

●府縣災害土木費國庫補助ニ關スル件

明治四十四年三月二十三日
法律第十五號

政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣災害土木費ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

附　則

本法ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス

災害準備基金特別會計法ハ明治四十三年度限リ之ヲ廢止シ同會計ニ屬スル資金ハ之ヲ治水費資金ニ編入ス

●災害土木費國庫補助規程

明治四十四年七月十九日
勅令第百九十九號

改正　大正八年三月勅令第二八號、昭和六年五月第八五號

第一條　國庫ハ府縣災害土木費カ其ノ府縣ノ地租額七分ノ一ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ對シ左ノ區分ニ從ヒ補助スルコトヲ得

超過額中地租額二分ノ一以下ノ金額ニ付テハ其ノ金額ノ十分ノ四以內

超過額中地租額二分ノ一ヲ超過シ地租額三倍以下ノ金額ニ付テハ其ノ金額ノ十分ノ五以內

超過額中地租額三倍ヲ超過シ地租額五倍以下ノ金額ニ付テハ其ノ金額ノ十分ノ六以內

超過額中地租額五倍ヲ超過シ地租額七倍以下ノ金額ニ付テハ其ノ金額ノ十分ノ七以內

超過額中地租額七倍ヲ超過スル金額ニ付テハ其ノ金額ノ十分ノ八以內

第二條　府縣災害土木費カ二年以上引續キ其ノ府縣ノ地租額二分ノ一ヲ超過スル場合ニ於ケル第二年以後ノ災害土木費ニ對スル補助金額ハ其ノ年ノ災害土木費ニ第一年以後前年迄ノ災害土木費ヲ加算シタル金額ヲ其ノ年ノ災害土木費ト看做シ前條ノ規定ニ依リ金額ヲ算出シ其ノ金額ヨリ第一年以後前年迄ノ災害土木費ニ對スル補助金額ヲ控除シタル金額トス

第三條　前二條ノ地租額ハ其ノ年一月一日ニ於ケル土地臺帳面記載ノ地價ニ基キ算出シタルモノニ依ル

第四條　災害土木費ノ範圍及計算方法竝郡市町村其ノ他ノ公共團體ノ災害土木費負擔ニ關スル方法ハ內務大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

沖繩縣ノ災害土木費ニ付テハ國庫ハ當分ノ內第一條乃至第三條ノ規定ニ拘ラス縣工事費ノ八割以內及下級公共團體ニ對ス

●災害土木費國庫補助規程施行細則

明治四十四年八月十九日
內務省令第十二號

改正　大正七年一〇月內務省令第一八號、九年六月第一六號、一三年九月第二一號、昭和六年五月第八號

第一條　災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ニシテ國庫ヨリ補助スヘキモノハ府縣、郡、市、町、村、市町村組合、町村組合、水利組合、水利土功會及市町村ノ一部ノ負擔ニ屬スル工事ナルコトヲ要ス

第二條　災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ニシテ國庫ヨリ補助スヘキモノハ被害工事ノ原形ニ復スルヲ以テ目的トス但シ原形ニ復シ難キ場合其ノ他特別ノ理由アル場合ニ於テハ增築改築又ハ之ニ代ルヘキ必要ノ施設ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三條　左ノ各號ニ該當スル工事ニ付キテハ特別ノ理由アル場合ヲ除ク外國庫ヨリ補助ヲ與ヘサルモノトス

一、河川港灣ノ埋塞ニ基因スル工事但シ川成變更ノ場合ヲ除ク
二、幅六尺未滿ノ道路及其ノ附屬物ノ工事
三、車馬ノ交通ニ妨ケナキ道路ノ上流レ又ハ崩土堆積ニ基因スル工事
四、投架橋及飛石渡ノ工事
五、直高三尺以下ノ小堤ノ工事
六、溪流ニ於ケル直高六尺以下ノ石垣、板柵類ノ工事
七、溜池用惡水路竝其ノ附屬物工事
八、砂防工事
九、直チニ破壞スルノ虞ナク又他ニ危害ヲ及ホスヘキ恐ナキ石張、石垣等ノ差狂又ハ缺脫ニ基因スル工事
十、一箇所ノ工事五百圓未滿ノ工事
十一、利害關係ノ小ナリト認ムル工事
十二、後年ニ讓リテ害ナシト認ムル工事

第四條　災害ニ因リテ必要ヲ生シタル土木工事ノ所屬ハ國庫ノ補助ニ關シテハ災害ノ當時定リタル所屬ニ依ル

第五條　郡、市、町、村、市町村組合、町村組合、水利組合及水利土功會ノ工費ニシテ其ノ地租年額十分ノ一ヲ超過スルトキハ府縣ハ其ノ超過額ノ十分ノ七ヲ補助スルモノトシテ計算ス
市町村ノ一部ノ負擔スヘキ工費ハ其ノ市町村ノ工費ニ算入ス
本條ノ地租額ハ其ノ年一月一日ニ於ケル土地臺帳面記載ノ地價ニ基キ算出シタルモノニ依ル

第六條　府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ニ雜費ヲ加ヘタル金額ヲ以テ府縣災害土木費トス
雜費ハ府縣ノ負擔ニ屬スル工事ノ費用及前條ニ依レル補助費ヲ合セタル金額ニシテ貳拾萬圓マテハ其ノ百分ノ五以內其ノ以上五拾萬圓マテハ貳拾萬圓ヲ超過スル部分ノ百分ノ三以內、五拾萬圓ヲ超過スル部分ハ總テ百分ノ二以內ヲ以テ算出ス

第七條　府縣ニ於テ同一年度內二回以上災害ニ遭遇シタルトキハ其ノ災害ニ因リ必要ヲ生シタル工事ノ費用ハ之ヲ併算スルコトヲ得
前項ニ依リ併算スヘキ工事ノ種類及其工費額竝併算スヘキ工事ノ原因タル災害ノ程度ハ內務大臣ノ認定ニ依リ之ヲ定ム

第八條　府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ノ施行中更ニ國庫ノ補助ヲ受クル災害ニ遭遇シタル場合ニ於テ前災害工事ニシテ後ノ災害ニ罹リタルモノハ之ヲ後ノ災害工事ニ屬スルモノトス
前項ノ場合ニ於テハ前災害工事ノ未成工事ニ付キテハ災害前ノ出來形ニ依リ既成工費ト未成工費トヲ區分シ其ノ未成工事ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除シ未著手工事ニ付テハ其ノ未著手工費ヲ後ノ災害工事設計額ヨリ控除ス

第九條　府縣知事ニ於テ災害土木費ニ對シ國庫ノ補助ヲ請ハントスルトキハ災害工事ノ目論見帳ヲ調製シ內務大臣ニ檢查ヲ申請スヘシ

第十條　府縣知事ニ於テ前條檢查ノ結果ニ付通知ヲ受ケタルトキハ補助申請見込額ノ上申ヲ爲シ補助內定額ノ通知ヲ受クヘシ
府縣知事ハ前項ノ通知ニ依リ豫算ヲ調製シ府縣會ノ決議ヲ經テ國庫補助ノ申請ヲ爲スヘシ

第十一條　國庫ノ補助ヲ受ケタル府縣災害土木費ニ關スル會計ノ事務ハ府縣ニ於テ分別シテ之ヲ整理スヘシ

第十二條　府縣ハ檢查ヲ受ケタル災害工事ノ實施ニ際シ河川法其ノ他ノ規定ニ依リ認可ヲ受クヘキモノハ其ノ手續ヲ經ルコトヲ要ス
府縣ハ災害工事ノ實施ニ際シ必要アリト認ムルトキハ檢查ヲ受ケタル工事ノ設計ヲ變更シ又ハ施行箇所ノ變更ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テモ亦前項ニ同シ

第十三條　府縣ニ於テ國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ヲ施行シタルトキハ內務大臣ニ其ノ工事成功ノ認定ヲ申請スヘシ
國庫ノ補助ヲ受ケタル災害工事ヲ完了シ前項ニ依リ其ノ認定ヲ申請スル場合ニ於テ災害土木費ニ剩餘ヲ生シタルトキハ府縣ハ其ノ處分方法ヲ定メ內務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ災害土木費ニ剩餘ヲ生スル見込アルトキハ其ノ處分ノ急ヲ要スル場合ニ限リ本項ニ依ル成功認定申請前ト雖其ノ處分ニ付內務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ得
府縣ニ於テ國庫補助ヲ受ケタル災害工事ノ程度ヲ超過シ施行シタル場合ニ於テ檢查工費以外ニ要シタル金額ハ府縣ノ負擔トス
內務大臣ハ本條剩餘金ノ內國庫補助ニ係ル金額ノ全部又ハ一部ヲ還付セシムルコトヲ得

附　則

第十四條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
沖繩縣ニ付テハ當分ノ內第五條第一項ノ規定ニ拘ラス縣ハ市、町、村、市町村組合、町村組合及水利組合ノ工費ニ對

シ其ノ十分ノ八ヲ補助スルモノトシテ計算ス
沖繩縣ニ付テハ當分ノ內第六條第二項ノ規定ニ拘ラス縣、市、町、村、市町村組合、町村組合及水利組合ノ工費ニ對スル百分ノ六ヲ雜費トシテ計算ス

●災害土木費國庫補助規程ニ依ル國庫補助ニ關スル件

昭和六年三月二十七日
內務省令第五號

災害土木費國庫補助規程ニ依リ國庫補助ヲ受ケ又ハ國庫補助ヲ受クヘキ災害工事ニシテ公共團體ノ區域變更其ノ他ノ事由ニ因リ災害當時ノ負擔所屬ニ變更ヲ來スモノニ付仍從前ノ費用負擔者引續キ其ノ工事ノ費用ヲ負擔スル場合ニ於テハ國庫補助ニ關シテハ負擔所屬ヲ變更セサルモノト看做ス

附　則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
大正九年內務省令第四號ハ之ヲ廢止ス

●災害土木費國庫補助規程ノ取扱方ニ關スル件

明治四十四年十月二日
土第二四五〇號土木局長通牒
各地方長官宛

今般災害土木費國庫補助規程及同施行細則公布相成候處
一、災害土木費國庫補助規程施行細則第七條第一項ニ依リ費用ヲ併算シ得ヘキ工事ニ關シテハ從前ト同一ニ取扱可相成義ニ候條御了知相成度
一、國庫ノ補助ヲ受クル災害工事ノ各箇所工費ハ圓位ニ止メ圓位未滿ノ金額ハ切捨テラレ度
一、【郡】市町村組合工事ノ工費ニ對スル府縣ノ補助金額ハ國庫補助ニ關シテハ精算補助ノ方法ニ依リ御算定相成度
一、災害土木費國庫補助規程施行細則第十三條第一項ニ依レル工事成功ノ認定ハ一會計年度分ヲ取纏メ申請相成度

右依命及通牒候也

追テ第二項及第三項ハ將來ノ取扱方ヲ定ムル趣旨ナルヲ以テ既ニ事實ノ確定シタルモノニ付テハ從前ノ通リ御取扱相成可然義ニ候條爲念此段申添候也

【大阪土】

●國庫補助災害土木工事ノ監督及取扱方ノ件

大正十三年九月二十七日
發甲第二五號土木局長通牒

改正　昭和二年九月五日發甲第二六號

標記ノ件ニ關シ今般左記ノ通被定候間御了知相成度

記

一、災害土木費國庫補助規程施行細則第十二條第二項ニ依ル設計變更又ハ施行箇所變更認可申請書ニハ何年度ノ國庫補助ヲ受ケタル災害土木工事ナルカヲ明記シ設計圖書ノ外別紙第一號表ヲ添付スヘシ

二、災害土木工事ヲ廢止セントスルトキハ其ノ理由ヲ詳具シ其ノ都度報告スヘシ

三、工事中增破又ハ手戻ノ爲要スル費用、地形又ハ水勢ノ變遷ニ基因シ査定工事ヲ變更スルニアラサレハ復舊ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合ニ要スル增加費用及査定設計ヲ變更セサルモ自然ノ結果ニ因リ査定工費ニ增加ヲ來シタル爲ニ要スル費用ハ災害土木費トシテ認ムルコトヲ得

四、市、町、村及組合ニ對スル府縣ノ補助費ニ付テハ當初國庫補助ノ際ニ於ケル査定補助費總額ノ範圍內ニ於テ適宜府縣ノ規程ニ依リ補助スル補助率ヲ認ムルコトヲ得

五、府縣工事費、市、町、村及組合ニ對スル府縣補助費及雜費ハ彼此流用ヲ許ササルモノトス

六、一會計年度毎ニ取纏メ申請スヘキ災害土木工事一部成功認定申請書ニハ別紙第二號表及第三號表ヲ添付スヘシ而テ右申請ハ當該會計年度終了後二箇月以內ニ提出スルヲ要ス

七、工事完了シタル場合ニ於ケル災害土木工事全部成功認定申請書ニハ別紙第四號表第五號表及第三號表（但シ一部成功認定未濟ノ分）ヲ添付スヘシ又廢工或ハ補助ヲ取消シタルモノアルトキハ別紙第六號表ヲ添付スヘシ而テ右申請書ハ工事完了後三ヶ月以內ニ提出スルコトヲ要ス

八、災害土木工事ハ迅速ニ之ヲ完了スヘキハ勿論ノコトナルモ往々遷延ノ嫌アルヲ以テ爾今ハ三箇年ヲ超エシメサル方針ヲ以テ完了期ヲ限定スヘキニヨリ其ノ期限內ニ於テ急速完了セシムルコトヲ要ス

九、災害土木工事費國庫補助規程施行細則第十三條第三項ノ程度超過工事トハ大體左ノ如キモノヲ謂フ

（イ）橋梁ノ長サヲ增シタルモノ
（ロ）道路橋梁ノ高サヲ高メ或ハ幅員ヲ擴メタルモノ
（ハ）堤防ニ小段ヲ新設シ或ハ馬踏ヲ擴メタルモノ
（ニ）土堤ヲ石堤ニ又ハ積籠ヲ土堤又ハ石堤ニ變更シタルモノ

(ホ)石積裏込若ハ目潰ニ混凝土ヲ加工セシモノ
(ヘ)植芝工事ヲ立籠ニ或ハ蛇籠工ヲ張石ニ變更シタルモノ
(ト)新ニ根固水制等ノ工事ヲ加ヘタルモノ
(チ)力杭、杭柵ヲ新設シタルモノ
十、廢工々費及補助取消額ハ剩餘金ト看做サス災害土木費ニ對スル當初國庫補助ノ率ニ依リ補助金ヲ國庫ニ還付セシム
十一、一旦竣功セル災害土木工事カ其ノ後ノ災害ニ依リ復舊ヲ要スル場合ニ於テハ特ニ認可ヲ受ケタルモノヲ除クノ外災害土木費及剩餘金ヲ以テ支辨スルコトヲ得ス
十二、本省ニ於テ工事ノ出來形拙劣ニシテ維持上擔キ難キモノト認メ之カ手直シ若ハ改築ヲ命シタルトキノ增加費用ハ災害土木費及剩餘金ヲ以テ支辨スルコトヲ得ス
十三、災害土木工事ニ直接ノ關係ヲ有スル被害箇所ノ工事ハ當該災害土木工事全部成功認定申請前ニ於テ必要ヲ生セシ工事ナルコトヲ要シ左ノ標準ニ該當スルモノニ限ル
(イ)災害土木工事ノ一部若ハ全部ノ復築工事（査定工法ヲ變更スルモ差支ナシ）及其ノ維持上必要ナル隣接工事
(ロ)水流ノ變動其ノ他ノ原因ニヨリ現況ニ照ラシ査定災害土木工事ニ對シ維持上必要ナル追加工事
十四、災害土木費ノ剩餘金ニ對スル國庫補助金ヲ國庫ニ還付セシムル場合ハ災害土木費ニ對スル當初國庫補助ノ率ニ依ルモノトス
十五、國庫補助災害土木工事ト國庫ノ補助ヲ受ケタル他ノ工事ト併合シ實施シタル工事ノ竣功額カ其ノ當初査定工費ニ比シ增減ヲ來シタル場合ハ査定工費ノ內譯額ニ比例シ各竣功額ヲ區分スルモノトス
十六、災害土木費國庫補助規程施行細則第十三條第二項但書ニ依リ認可ヲ受ケ施行シタル工事ニ付テハ全部成功認定申請ノ際ニ併セテ成功認定ノ申請ヲナスヘシ

(第一號表)

何年度國庫補助災害土木工事變更對照表

【大阪土】

河川、道路、港灣、海岸名	工事番號	檢查工費	變更工費	檢查設計ノ概要	變更設計ノ概要	變更ノ理由	摘要

何府縣

(第二號表)

何年度國庫補助災害土木工事成功額總計表（自何年何月至何年何月）

【大阪土】

種別	檢查 個處數	檢查 工費	竣功 個處數	竣功 工費	工費差引 增	工費差引 減	摘要
道路							
橋梁							
河川							
港灣							
何々							
計							
市町村組合工事							

何府縣

備考
一、工事番號ノ欄ニハ檢查設計書ニ付シアル番號ヲ記入スヘシ
二、變更ノ爲工費ニ增加ヲ來シタルトキハ其ノ增加工費ノ負擔所屬ヲ摘要欄ニ明記スヘシ

計								
合計								

備考

一、程度超過工事アルトキハ府縣工事ニ就テハ檢査工費以外ニ要シタル增工費ヲ市、町、村及組合工事ニ付テハ檢査工費以外ニ要シタル增工費ニ對スル府縣ノ規程ニ依ル補助增加額ヲ竣功費欄ニ外書トシテ記載スヘシ

二、市、町、村及組合工事ノ檢査工費ノ欄ニハ災害土木費國庫補助規程施行細則第五條第一項ニ依レル補助費ヲ割書シ竣功工費欄ニハ府縣ノ規程ニ依レル補助費ノ精算額ヲ割書スルモノトス

三、前災害土木工事ニシテ後ノ災害土木工事ノ所屬ニ移リタルモノアルトキハ本表中左ノ通記載スヘキモノトス

(イ)前ノ災害土木工事ノ成功額總計表ノ檢査工費ノ欄ニハ未著手工費及未成工費ヲ外書(朱書)トシテ摘要欄ニハ本災害土木工事ヨリ後ノ災害土木工事ノ所屬ニ移リタル旨ヲ明記スヘシ

(ロ)後ノ災害土木工事ノ成功額總計表ノ檢査工費欄ニハ前災害土木工事ニ屬シタル未著手ノ工費及未成工費ハ之ヲ內書(朱書)トシ摘要欄ニ前災害土木工事ヨリ本災害土木工事ノ所屬ニ移リタル旨ヲ明記スヘシ

(第三號表)

何年度國庫補助災害土木工事成功箇所表（自何年何月 至何年何月）

府縣工事

道路

路線名	工事番號	檢査工費	竣功工費	差引 增	差引 減	檢査設計概要	變更設計概要	變更理由	摘要

〔大阪土〕

〔大阪土〕

何々

何々	工事番號	檢査工費	竣功工費	差引 增	差引 減	檢査設計概要	變更設計概要	變更理由	摘要

市町村組合工事

市町村組合別	種別	工事番號	檢査工費	竣功工費	差引 增	差引 減	國庫補助規程ニヨル檢査工費ニ對スル補助費	府縣ノ規程ニヨル補助費精算額	檢査設計概要	變更設計概要	變更理由	摘要
何市	道路											
	橋梁											
	河川											
	何々											
	計											
何町何々												

何々							
計							
何組合何々							
何々							
計							
合計							

備考

一、程度超過工事アルトキハ府縣工事ニ就テハ檢査工費以外ニ要シタル增工費ヲ市、町、村及組合工事ニ付テハ檢査工費以外ニ要シタル增工費ニ對スル府縣ノ規程ニ依ル補助增加額ヲ竣功費欄ニ外書トシテ記載スヘシ

二、災害土木工事ニ付指定寄附ヲ爲シタルモノアルトキハ竣功工費欄ニ其ノ金額ヲ外書(朱書)シ摘要欄ニ其旨記載ノコト

三、災害土木費國庫補助施行細則第十二條ニ依リ當省ノ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ指令番號及年月日ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

四、前災害土木工事ニシテ後ノ災害土木工事ノ所屬ニ移リタルモノアルトキハ本表中左ノ通記載スヘキモノトス

(イ)前ノ災害土木工事ノ成功箇所表ノ檢査工費欄ニハ未著手工費及未成工費ヲ外書(朱書)トシ摘要欄ニハ本災害土木工事ヨリ後ノ災害土木工事ノ所屬ニ移リタル旨ヲ明記スヘシ

(ロ)後ノ災害土木工事ノ成功箇所表ノ檢査工費欄ニハ前災害土木工事ニ屬シタル未著手ノ工費及未成工費ハ之ヲ內書(朱書)トシ摘要欄ニ前災害土木工事ヨリ本災害土木工事ノ所屬ニ移リタル旨ヲ明記スヘシ

五、査定工法ノ趣旨ヲ變更シ又ハ工費ニ大ナル增減ヲ來シタルモノニ限リ檢査設計概要、變更設計概要及變更理由ヲ當該欄ニ記載スルモノトス

但其ノ變更ノ著大ナルモノニシテ本表ニ明記シ難キモノハ變更設計書ヲ添付スヘシ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

(第四號表)

何年度國庫補助災害土木工事全部成功表

何府縣

種別	檢査 個處數	檢査 工費	竣功 個處數	竣功 工費	工費差引 增減	摘要
道路						何年何月何日內務省指令第何號工事成功認定ノ分
同						同
同						同
同						今回工事成功認定申請ノ分
計						
橋梁						
同						
同						
同						
計						

河川										
同										
同										
計										
何々										
計										
合計										
雜費										
市町村組合工事										
同										
同										
同										
計										
總計										

備考

〔大阪土〕

第二號表ニ準ス但シ縣工事ニシテ廢工シタルモノ及市町村及組合工事ニシテ補助ヲ取消タルモノアルトキハ檢査ノ欄ニ外書スヘシ

〔大阪土〕

（第五號表）

雜費明細表

費目	國庫補助規程ニ依レル金額	支出額	差引增減	摘要
合計				

備考

費目ハ成ルヘク之ヲ細別シ其ノ用途ヲ明瞭ナラシムヘシ

（第六號表）

廢工額及補助取消額調査表

府縣工事

道路

路線名	工事番號	檢査工費	廢工報告年月日
計			

橋梁

路線名	工事番號	檢査工費	廢工報告年月日
計			

何々

何々工事番號	檢査工費	廢工報告年月日
計		

市、町、村及組合工事

市町村組合名	種別	工事番號	檢査工費	補助規程施行細則第五條第一項ニヨル補助費	補助取消報告年月日
何町村何々	道路				
	橋梁				
計					
何町村何々	道路				
	橋梁				
計					
合計					

〔大阪土〕

●災害土木費國庫補助算定ニ關スル件

昭和二年六月十日
發甲第二二號土木局長通牒
各地方長官宛

災害土木費國庫補助規程第三條及同施行細則第五條第三項ニ所謂其ノ年一月一日ニ於ケル土地臺帳面記載ノ地價中ニハ地租條例第十三條ノ二ニ依リ免租セラルヘキ土地ノ地價ヲ包含スル義ト解シ御取扱相成度

●災害土木費國庫補助ニ依ル橋梁工事ノ實施ニ關スル件

昭和十年十月十四日
發土第六五號土木局長依命通牒
各地方長官宛

標記橋梁工事ニシテ木造橋ノ査定ヲ受ケ之カ實施ニ當リ査定金額ノ範圍ニ於テ永久構造ニ改メ中ニハ幅員ヲモ增大セント

何々			
計			
合計			

〔大阪土〕

スル爲メ工費ニ不足ヲ生ジ其ノ結果橋脚根入ヲ減ジ或ハ其ノ構造ヲ薄弱ナラシムルモノアルヤニ及聞候處右ハ將來ニ於テ橋脚流失ノ禍根ヲ爲スモノニ付爾今木造橋トシテ査定セラレタル橋梁ヲ永久橋ニ改メントスル場合ハ凡テ實施設計ニ付豫メ當省ノ承認ヲ受ケラレ度

尙橋脚ノミヲ永久構造ニ査定セラレタルモノニ付災害後河狀ノ變更其ノ他ノ理由ニ依リ根入ノ不足ヲ來シタル場合ハ設計ヲ變更シ根入ヲ增加スルカ或ハ他ニ適當ノ措置ヲ講スル樣御取扱相成度

●災害工事費ノ負擔所屬ヲ變更セルモノノ國庫補助精算ニ關スル件

大正九年三月二十三日
發土第二〇號土木局長通牒
各地方長官宛

一　災害土木費國庫補助規程ニ依リ國庫補助ヲ受ケ又ハ國庫

補助ヲ受クヘキ災害工事ニシテ道路法ノ施行其ノ他ノ事由ニ因リ災害當時ノ負擔所屬ニ變更ヲ來シタル場合ニ於テハ其ノ工事ニ對スル國庫補助ノ精算ニ關シテハ第二項ノ如キ措置ヲ採ラサル限リ左記ノ通御取扱可相成義ト御承知有之度

（一）府縣ノ負擔ニ屬スル工事カ下級公共團體ノ負擔ニ歸シタルトキハ其ノ所屬變更ノトキノ出來形ニ依リ之ヲ打切リ區分シ既成部分ニ對シテハ其ノ部分ノ工費額ヲ又未成部分ニ對シテハ府縣ノ補助規定ニ依リ下級公共團體ニ對シ府縣ヨリ補助スヘキ金額ヲ以テ國庫補助ニ係ル災害土木費トシテ精算スルコト

（二）下級公共團體ノ負擔ニ屬スル工事カ府縣ノ負擔ニ歸シタルトキハ其ノ所屬變更ノトキノ出來形ニ依リ之ヲ打切リ區分シ國庫補助ニ關スル會計ノ整理ヲ爲スヘキハ勿論ナルモ其ノ工事ニ對スル國庫補助ニ付テハ既成工事費ト未成工事費トヲ併セ其ノ總費額ニ對シ府縣ノ補助規定ニ依リ府縣ヨリ補助スルモノト看做シ計算シタル府縣ノ補助額ヲ以テ其ノ總體ノ工事ニ對スル國庫補助ノ災害土木費トシテ精算スルコト

（三）前二號ニ依リ工事ヲ打切リタル結果既成工事又ハ未成工事ノ工費カ三百圓未滿トナリタル場合ニ於テモ其ノ工事ハ國庫補助ヲ受クヘキ資格ヲ失ハサルコト

〔大阪土〕

（四）第一號及第二號ノ工事ハ他ノ府縣工事及市町村土木補助費ト區別シ精算書類ヲ調製シ其ノ精算書ニハ前記二號ニ依ル精算關係ヲ明瞭ナラシムルコト

二　道路法施行前【郡】市町村ノ負擔ニ屬スル道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル災害工事ニシテ道路法ニ依リ府縣ノ負擔ニ歸シタルモノハ同法第三十八條ノ規定ニ依リ引續キ從前ノ【郡】市町村ニ負擔ヲ命シ負擔所屬ヲ變更セサルモノトシテ取扱ヒ又道路法施行前府縣【郡】ノ負擔ニ屬スル道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル災害工事ニシテ道路法ニ依リ其ノ下級公共團體ノ負擔ニ歸シタルモノハ同法第二十四條ノ規定ニ依リ從前ノ費用負擔者ニ於テ道路管理者ノ承認ヲ得テ引續キ工事ヲ施行シ負擔所屬ヲ變更セサルモノトシテ取扱ヒ候方諸般ノ關係上便益多キコトト存候處後段ノ關係ニ付テハ省令制定ノ必要有之候ニ付目下其ノ手續中ニ候條其ノ御含ヲ以テ相當御措置相成度

●國庫ノ補助ヲ受クヘキ災害土木工事檢査申請方ノ件

大正十三年五月十五日
發甲第一三號土木局長通牒

災害土木費國庫補助規程施行細則第九條ニ依リ檢査方申請ノ場合ハ爾今右申請前ニ左記調書ヲ添附シ設計單價及歩掛ニ付豫メ本省ニ協議セラレ然ル後其ノ單價及歩掛ニ基キ目論見設計書調製ノ上申請相成度

記

一　災害工事ニ使用セントスル職工人夫及諸材料ノ單價表及職工人夫ノ歩掛表

二　最近三ケ年ノ實施豫算ニ於ケル職工人夫及諸材料ノ單價表及職工人夫ノ歩掛表

三　最近災害土木費ニ對シ國庫補助ヲ受ケタルコトアラハ其ノ職工人夫及諸材料ノ單價表及職工人夫ノ歩掛表

〔大阪土〕

●災害土木費國庫補助申請見込額上申ノ件

明治三十二年四月二十九日
祕發第一七號土木局長通牒
各地方長官宛

災害土木費國庫補助規程施行細則第十一條第二項（新施行細則第十條第一項）ニ依レル補助申請見込額ノ上申書ニハ別紙第一號【郡】市町村組合工費補助額取調表同條第三項（新施行細則第十條第二項）ニ依レル國庫補助申請書ニハ別紙第二號檢査額ト議決額トノ比較表添附相成度此段及通牒候也

追テ今回災害土木費國庫補助規程及同施行細則發布相成候ニ付テハ右ニ依リ補助セラルル災害工事ニ對シテハ從前ノ訓令通牒等ハ總テ適用セサル義ニ有之候條爲念申添候也

（第一號表）

郡、市、町、村、組合、工費補助額取調表

郡、市、町、村組合名	檢査額 設計額	檢査額 前災害工費控除額	檢査額 差引殘	地租額	補助規程施行細則第五條第一項（新施行細則第五條第一項）ニ依ル負擔額	工費ト負擔額トノ差引額
何郡						
何郡						
計						
何市						
何市						
計						
何町						
何村						

金	工費額	
内		
金	補助規程施行細則第五條第一項ニ依ル負擔額	
金	同上第二項ニ依ル負擔額	
差引		
金	補助額	

（備考）
檢查額ニシテ災害土木費國庫補助規程施行細則第五條第一項（新施行細則第五條第一項）ニ依ル負擔額以内ニ屬シ國庫補助ニ關係ナキモノハ本表ニ算入セス別表（書式ハ本表ニ準シ工費ト負擔額トノ差引殘ヤアルヲ負擔超過額トスヘシ）トシテ添附スヘシ災害土木費國庫補助規程施行細則第五條第三項（新施行細則第五條第二項）ニ依リ市町村ノ工費ニ算入セシモノハ別ニ水利組合又ハ水利土功會等ノ名稱ヲ顯ハスヲ要セス

前ノ災害工費ニシテ後ノ災害工事設計額ヨリ控除スヘキ金額ナキトキハ前災害工費控除額ト差引殘ノ二欄ヲ設クルヲ要セス

計	
何町何町	
何村組合	
何水害豫防組合	
何水利組合	
何水利土功會	
計	
合計	

〔大阪土〕

（第二號表）
災害土木費檢查額ト府（縣）會議決額トノ比較表

費目	檢查豫算議決額	差引增減	內譯 國庫補助ニ關スル分	內譯 國庫補助ニ關セサル分
道路費				
橋梁費				
治水堤防費				
何々費				
雜費				
郡市町村土木補助費				
計				

（備考）
檢查額ノ欄郡市町村土木補助費ハ郡、市、町、村、組合工費補助額取調表ノ補助額ヲ記スヘシ

本表ニハ豫算議決書ヲ添附シ其豫算議決ノ數回ニ渉ルモノハ豫算議決額ノ欄内ニ內譯ヲ附スヘシ

豫算議決書ト本表ト各費目金額ノ照合ヲ便ナラシムル爲豫算議決書及說明書中符箋又ハ仕譯ヲナシ明瞭ナラシムヘシ

差引增減ハ檢查額ト國庫補助ニ關スル豫算額トノ差引ヲ記載シ其增減ノ理由ヲ備考ニ附記スヘシ

豫算議決額ニシテ檢查額ト異動ナキモノハ內譯及差引增減ノ二欄ヲ設クルヲ要セス

●國庫補助ニ係ル災害土木工事ノ施行ニ關スル件

昭和六年一月八日
發土第六〇號土木局長依命通牒
北海道廳長官　各府縣知事宛

災害土木工事ハ迅速ニ之ヲ施行シ以テ國土ノ保安ト交通運輸ノ除害ニ努ムヘキハ勿論ノ義ニ有之候處工事實施ノ成績ハ往々遲延ノ傾向ニアリ甚シキハ災害當時ヨリ二、三年ヲ經過スルモ尙完了ニ至ラサルモノ有之此種工事ノ內ニハ明治四十四年當省令第一二號災害土木費國庫補助規程施行細則第三條第十二號ニ該當スルモノトシ國庫補助取消ノ措置ヲ要スルニ至ルモノアルヤモ難計ト被存候ニ付テハ爾今災害ノ翌々年度ヲ經過スル工事ニ付テハ別表ニ依リ當省ノ承認ヲ受ケラレ度

（別表）

災害年度	檢查番號	工種別	查定金額	竣工遲延ノ理由竝工事ノ著手及竣功見込年月日

●國庫補助受入額調ノ件

大正十四年九月十二日
發甲第二六號土木局長通牒
各府縣知事宛

國庫ノ補助ヲ受ケタル災害土木工事ヲ完了シ其ノ全部成功ノ認定ヲ申請スルトキ又ハ國庫補助砂防工事ノ竣功認可ヲ申請スル場合ハ爾今左記樣式ニ依ル國庫補助金受入額調添附相成度

記

何年度（災害土木費）（砂防工事費）國庫補助受入額調

國庫補助指令額	府縣同上受入額	差引減額	備考

●國庫補助災害土木工事檢查方針

（內務省內規）

（一）一般

一、災害土木費國庫補助規程施行細則第一條中市町村ノ一部ノ負擔ニ屬スル工事トハ其ノ負擔カ市制又ハ町村制ニ依ルモノナルコトヲ要シ協議費ニ依ルモノハ之ヲ除ク

二、災害土木費國庫補助規程施行細則第二條但書ニ依ル增築、改築、又ハ復舊ニ代ルヘキ他ノ施設ハ最少限度ニ於テ之ヲ認ムルモノトス

道路構造令又ハ街路構造令ニ依リ改良スルモノハ特別ノ理由アルモノト認ムルコトヲ得ス

三、復舊工事施行中ノ假橋及渡船費ハ之ヲ認メサルモノトス

四、職工人夫諸材料ノ單價及歩掛ハ最近三ケ年間ノ實施豫算平均單價及歩掛ヲ標準トシ一般經濟狀態ニ鑑ミ之ヲ定ムルコト

最近ノ災害土木費國庫補助査定單價及歩掛トスルモ差支ナシ

應急工事ノ單價及歩掛ニシテ査定單價及歩掛ヨリ高キモノハ査定單價及歩掛迄之ヲ低減シ低キモノハ其ノ單價及歩掛ヲ採ルコト

(二)　應急工事

一、應急工事ノ全部又ハ一部ニシテ毫モ加工スルコトナク其ノ儘本工事ノ全部又ハ一部ヲ成スモノハ應急工事費トシテ之ヲ認ムルコトヲ得

二、本工事施行ノ爲應急ノ工事全部又ハ一部ヲ除却スルノ必要アルトキハ本工事費中除却費ヲ認ムルコトヲ得

三、應急工事ノ材料ヲ本工事ノ一部ニ充用スル場合ハ左記方法ニ依ルモノトス

(一)　第二項ニ依リ除却費ヲ認メタル場合其ノ材料費ト除却及運搬費トノ和カ新ニ購入スル費用ト同額若シクハ少額ナル場合ニハ其ノ材料費運搬費ヲ本工事費ニ認ムルコト

但材料費ト其ノ除却及運搬費トノ和カ新ニ購入スル費用ヨリモ多額ナル場合ニハ新ニ購入スル費用ト除却及運搬費トノ差額ヲ其ノ材料費トシテ認メ尙運搬費ヲモ認ムルコトヲ得

其ノ除却及運搬費カ新ニ購入スル費用ヨリモ多額ナル場合ニハ其ノ材料費ヲ無代トシ運搬費ハ新ニ購入スル費用以下ナル場合ニ限リ之ヲ認ムルコトヲ得

(二)　前項以外ノ場合ニ於テハ其ノ材料費ト除却及運搬費トノ和カ新ニ購入スルノ費用ト同額若クハ小額ナル場合ニ限リ其ノ材料費除却費及運搬費ヲ本工事費中ニ認ムルコトヲ得

(三)　道路工事

一、被害箇所ニ於ケル道路ノ幅員六尺未滿ノ場合ト雖モ其ノ道路ト幅員大體六尺以上アルトキハ補助ノ資格アルモノトス之ニ反シ被害箇所幅員六尺以上ノ場合ト雖モ其ノ道路ノ幅員大體六尺未滿ナルトキハ其ノ資格ナキモノトス

二、從來道路ニ敷砂利ヲナササリシ部分及道路雜用ニ在ラサル堤防ニハ敷砂利ヲ認メサルモノトス

三、改修未改修ノ接續部ニ於ケル未改修ノ部分ニ被害個所アリタル場合ニ於テハ在來幅員ニ依ルモノトス

(四)　橋梁工事

一、災害土木費國庫補助規程施行細則第三條第四號ノ投架橋トハ普通ノ橋體(桁、敷板、地覆等ノ構造)ヲ具備セサルモノヲ謂フ

二、橋梁ハ洪水位以上ニ復築スルヲ認ムルコトヲ得

三、腐朽架換期ニ達シタル木造桁橋ニシテ橋長二十間未滿ノモノハ全長ノ約三分ノ二以上長二十間以上ノモノハ約四分ノ三以上著シキ被害ヲ受ケタル場合ニ限リ全部ノ架換ヲ認ムルコトヲ得

四、一橋梁ニ於ケル被害ハ合シテ一ケ所ノ工事トシテ認ムルコトヲ得

五、幅員六尺未滿ノ道路ニ屬スル橋梁ハ其ノ幅員六尺以上ト雖モ補助ノ資格ヲ有ス但シ此ノ場合ニ於テ堤防又ハ護岸トシテ設計スルモ差支ナシ

六、從前二間半未滿ノ幅員ヲ有セル國道橋又ハ府縣道橋ニシテ其ノ前後ノ道路幅員二間半以上アルモノヲ復築セル場合ニ於テハ二間半ヲ災害復舊工事トシテ認ムルコト但シ交通ノ情勢ニ照シ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限リニアラス

(五)　河川工事

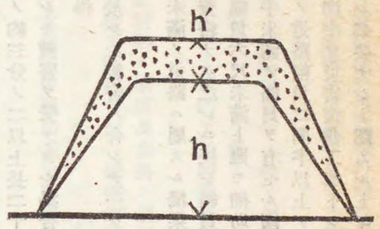
一、護岸工事ノ高サハ河川トシテ必要ノ程度ニ止メ夫レ以上高キ地盤ノ保護工事ハ之ヲ認メサルモノトス

二、河川ト道路ト管理者ヲ異ニシタル場合ニ主タル工事ノ保護上直接必要ナル工事ハ他ノ管理區域内ニ施設スルモノト雖モ之ヲ主タル工事ノ一部ト看做シ認ムルコトヲ得

三、堤防護岸ニ於ケル普通張石工ニハ表面ノ目潰砂利ヲ認メサルコト

四、左圖ノ如ク護岸ノ上部堤防狀ヲ爲シ其ノ堤防直高三尺未滿ノ場合ニ於ケル被害カ單ニ堤防ノ部分ニ止マルモノト雖モ補助ノ資格ヲ有ス但シ此ノ場合ニ於テ堤防又ハ護岸トシテ設計スルモ差支ナシ

五、堤防ノ餘盛ヲ認ムル場合ニハ左圖ノ如ク餘盛高h′ハh′ノ約一割以内トシ土質ニ依リ之ヲ斟酌スルモノトス但h′ノ爲ニ生スル芝工ノ增加ハ認メサルモノトス



六、被害樋管ノ復築ハ其ノ屬スル用惡水路ヲ特別ノ理由アルモノトシテ採用スル場合ノ外之ヲ認メサルモノトス

七、堤防位置ノ變更又ハ馬踏ノ擴張等ニ因リテ必要ヲ生シタル工事ハ國庫補助ノ資格ナキ道路橋梁用惡水路及其ノ附屬工事ト雖モ之ヲ其ノ附帶工事トシテ採用スルモノトス但シ在來工事ニシテ被害アルトキハ其ノ管理者明ナル場合ニ限リ附帶工事費中ヨリ在來工事ノ復舊工事費ヲ控除スルモノトス

八、堤防若クハ道路ヲ橫斷スル昇降路又ハ護岸堤防等ヲ橫斷シ雨水排除ノ目的ヲ以テ施設シアル工作物ニシテ管理者ノ不明ナル場合ニ限リ本工事ノ維持上必要アリト認メタルモノハ之ヲ採用スルコトヲ得

九、從來ノ堤高ニテハ治水上支障アリト認ムル場合堤防被害個處ノ嵩置ニ要スル費用ハ縣費ヲ以テ其ノ接續箇所ニ嵩置スル場合ニ限リ之ヲ採用スルコトヲ得但シ縣費ヲ以テ嵩置スルモノハ國庫補助申請ノ時迄ニ縣會ノ決議ヲ要ス

（六）雜

一、設計書ニハ工事形狀高幅等ノ寸法勾配等ヲ詳記シ可成圖面ヲ附セシムルコト

二、橋臺、護岸、沈床、水制、石垣、石張等ニシテ本體ニ被害ナキモ川床深掘レノ爲ニ生シタル必要ノ增工事ハ實施ノ狀況ニ因リ掴キ場合ニ限リ採用スルコトヲ得

三、河岸道路堤防等ノ工事ニシテ點々被害箇處アリタルトキハ約十間以內ノ間隔迄ノモノハ之ヲ一ケ處ト認ムルコトヲ得但シ被害狀況激甚ナルモノハ特ニ酌量スルコトアルヘシ

連絡セル水制等ノ如キ其ノ效用上分離スヘカラサルモノ及之ニ類スル工事ハ其ノ間隔十間以上ノモノト雖モ數ケ所ヲ併合シテ一ケ所ト看做スルコトヲ得

四、負擔所屬カ同一ナル場合ニ於テ河川、道路、堤防等種類ノ異リタル被害工事カ同一ケ所ニ接續シタル場合ハ之ヲ主タル工事ニ合シ一ケ所ノ工事ト看做スルコトヲ得

五、一工事ニシテ其ノ費用負擔所屬二以上ナル場合ハ其ノ所屬毎ニ一ケ所工事トシテ取扱フコト

六、足場損料及假締切費等ハ工事費中ニ認ムルコトヲ得

七、設計書中雜費ノ性質ヲ有スルモノハ之ヲ削除スルコト

（七）打切計算

一、災害土木費國庫補助規程施行細則第八條第二項ノ未成工費トハ打切計算ヲ行フ箇所ノ査定額ヨリ既成工費ヲ控除シタルモノヲ謂フ

二、既成工費トハ縣ノ規程ニ依リ檢查當時ニ於テ既ニ支拂ヒタルモノ又支拂フヘク決定シタル金額ヲ謂フ但補給金流失材料費等ノ如キモノモ包含セシムルコトヲ得

三、查定設計書ニハ鏡ノ左肩ニ「查定金額何圓」ト朱書スルコト

四、打切計算ヲ爲ス工事箇所アルトキハ其ノ內容ヲ明カナラシメタル設計書ヲ查定設計書ニ添附セシムルコト

五、查定設計書ニハ其ノ查定ニ關係ヲ有スル應急工事ノ精算設計書ヲ添附セシムルコト

六、工事番號ハ縣工事ト市町村組合工事トノ二ツニ分チ各通シ番號ヲ附セシムルコト

七、復命書ニハ左書事項ヲ記載スルコト

（イ）檢查ニ要シタル日數（外業、內業ノ別ヲ明カニスルコト

（ロ）檢查分擔區域及其ノ擔當者名

（ハ）氣象ノ大要降雨量及其ノ分布ノ狀態ヲ敍シ重ナル河川ニ於ケル出水ノ模樣竝ニ其ノ程度（既知ノ最大洪水位トノ比較ヲナスコト）且ツ重ナル河川、道路及橋梁等ノ被害ノ狀況及原因

水災以外ノ場合ニ於テモ右ニ準スル事項

（ニ）府縣ノ單價步掛制定ニ關スル方針竝ニ之ヲ查定セル理由

（ホ）府縣ノ設計作成ノ方針竝ニ之ニ關スル查定意見ノ大要

（ヘ）工費要求額ニ對スル檢定額增減ノ理由

（ト）特別ノ理由アルモノトシテ查定セル工事（之ヲ列擧シ

國庫補助災害土木工事查定官心得（內務省內規）

一、檢查中追加設計書ヲ提出シタルトキハ之ヲ採用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ本省ニ稟請セシムルコトヲ要ス

二、查定設計書ハ直ニ實施シ得ヘキ程度ノモノタラシムルコト但シ實施ノ程度ニ修正シ能ハサルモノアルトキハ實施設計書ヲ徵スルモノトシ其ノ旨ヲ查定設計書ニ記載シ置クコト

其ノ理由ヲ夫々説明スルコト）

（チ）其ノ他必要ト認メタル事項

（リ）總計表（別紙樣式ニ依ルモノ）

（ヌ）仕譯表（別紙樣式ニ依ルモノ）

何年度災土木工事檢查總計表　何府縣

縣工事

種別	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額	前災害工費控除額 箇所數	前災害工費控除額 金額
道路				
橋梁				
河川				
港灣				
海岸				
何々				
計				
差引				

〔大阪土〕

市町村組合工事

種別	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額	前災害工費控除額 箇所數	前災害工費控除額 金額
道路				
橋梁				
河川				
何々				
計				
差引				

〔大阪土〕

備考

一、應急工事費算入ノ必要アル場合ニハ内書（朱書）トシテ各金額ノ左側ニ記入ノコト

二、前災害土木工費控除額アルトキハ其ノ調書（所屬別、査定番號、種別、所在地名、工種、査定金額、既成工費、未成工費及摘要欄ヲ區別シ詳記スルコト）ヲ添附スヘシ

名稱	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額
國道第何號				
府縣道何々線				
何々				

仕譯表

縣工費

道路

名稱	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額	要求檢查 箇所數	要求檢查 金額
國道第何號				
府縣道何々線				
何々				
計				

橋梁

河川

名稱	要求	檢査
	箇所數	金額
何川		
何々		
計		

港灣

名稱	要求	檢査
	箇所數	金額
何港		
何々		
計		

海岸

〔大阪土〕

名稱	要求	檢査
	箇所數	金額
何々		
海岸		
何々		
海岸		
計		

何々

名稱	要求	檢査
	箇所數	金額
何々		
何々		
計		

備考

一、應急工事費算入ノ必要アル場合ニハ内書（朱書）トシテ各金額左側ニ記入ノコト

市町村組合工事

〔大阪土〕

市町村組合名	要求	檢査	檢査内譯									
	箇所數	金額	箇所數	金額	道路	箇所數	金額	橋梁	箇所數	金額	河川	箇所數	金額
何市											何々		
何町													
何村													
何組合													
何々													
計													

●國庫補助災害土木工事費剩餘金處分工事ニ關スル件

昭和十年四月二十六日
土木部長通牒

課長　出張所長　工營所長宛

標記ノ件ニ關シ本月十九日付土木局宮本内務技師ヨリ別紙寫ノ通照會有之候ニ付テハ災害工事執行ニ當リテハ右主旨ヲ了承シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度

◉中小河川改良工事ニ關スル件

昭和七年七月二十日
發土第五〇號土木局長通牒
縣知事宛

本年六月二十三日付發土第三九號ヲ以テ標記ノ件通牒相成候處工事施行ニ關スル要項別紙ノ通被相定候ニ付右ニ依リ御取扱相成度尙該要項以外ニ重要ノ特殊事項アル場合ハ其都度當省ニ御打合相成度

中小河川改良工事ニ關スル取扱要項

一、特別ノ事由ニ依リ本年度ノ工費ヲ翌年度ニ繰越施行セントスル場合ハ其ノ金額工事内譯及繰越ノ事由ヲ別紙第一號樣式ニ依リ豫メ當省ノ承認ヲ受クルコト

二、工事ノ設計變更ヲナサントスルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ當省ノ認可ヲ受クルコト但シ些少ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

三、工事竣功シタルトキハ別紙第二號樣式ニヨリ認可ヲ受クルコト

四、國庫補助ノ倍額(東京、江戸川、神田上水、大阪、神崎川ハ三倍)ニ當ル工費(事務費ヲ含ム)ヲ支出セサルトキハ其ノ差額ニ相當スル國庫補助ハ之ヲ還付セシムルコトアルヘシ

五、河川改良費ノ内工事費ヨリ事務費ニ流用ヲ認メス又工事ニ關係ナキ事務費ノ支出アルトキハ之ヲ補助基本額ニ認メス

六、河川改良工事事務所等ノ建設用地ハ總テ借上使用スルコト

七、土地造成ヲ目的トスル埋立工事ニ要スル費用ハ河川改良工事トシテ認メス

八、河川ノ改良工事ニ依リ必要ヲ生シタル他ノ工事費(附帶工事)ノ補助ハ必要ノ限度ニ於テ全額ヲ改良工事費ト認ムルコトヲ妨ケス

九、附帶工事ハ現存スル工作物ノ構造程度ヲ限度トシテ工事費ヲ定ムルコト但シ維持上其他特別ノ事由アルモノハ例外トシテ改良工事費ヲ認ムルコトヲ妨ケス

一〇、橋梁ハ前後道路ノ幅員竝擴張スル場合ハ其ノ工費ノ全額ヲ河川改良費ニテ負擔スルヲ妨ケス

一一、河川ヲ附替タル結果新ニ橋梁ノ架設ヲ必要トスル場合ハ該橋梁費ハ河川工事費ニテ全部負擔スルコトヲ妨ケス

一二、河川改良工事ニヨリ必要ヲ生シタル鐵道及軌道ノ工事費ハ河川改良費ニ於テ負擔スルコトヲ妨ケス

〔大阪土〕

「第一號樣式」

……年度河川改修工事費繰越調書

……川支派……川

自　……郡……町……村……大字……字

施行區域

至　……郡……町……村……大字……字

區分				豫算額	竣功額	繰越額
本工事						
附帶工事	工事費	用地及移轉費				
		具費	機械器			
			諸費			
	事務費					
計						

備考

一、繰越ヲ要スル事由

二、繰越タル工事ノ全部完了見込時期

三、請負工事ニ在リテハ請負契約書寫ヲ添付スルコト

「第二號樣式」

……年度河川改修工事竣功總計表

……川 支派……川

施行區域 自 郡市 町村 大字 字
至 郡市 町村 大字 字

區分	本工事 工事費	本工事 用地及移轉費	附帶工事 工事費	附帶工事 用地及移轉費	機械器具費	諸費 事務費	計	殘材料費
豫算額								
竣功額								

備考
一、竣功平面圖ヲ添付スルコト
二、本表ハ直營施行ノ場合ノ樣式ヲ示スモノニシテ請負施行ノ場合ハ之ニ準シ調製シ請負契約書寫ヲ添付スルコト

竣功內譯書

費目	工種	細目	豫算 數量	豫算 金額	竣功 數量	竣功 金額	摘要
築堤							
	土工		……立米	……	……立米	……	(變更ノ概要及理由ノ例) 延長……米ノ所上下流取合ノ關係上……米トス 天端幅……米表裏共法勾配二割小段ナシノ所地盤特ニ軟弱ニシテ維持困難ト認メ裏小段幅……米ヲ設ケタル結果數量ニ增加ヲ來セリ等
		盛土	……立米				
		切取	……立米				
	法覆工		……平米	……	……平米 ……平米	……	(亡失、毀損、手戻工事ノ例) ……月……日ノ降雨出水ニ際シ……平米 亡失……平米 毀損……平米手戻ヲ生ス
		石張工	……平米	……	……平米 ……平米	……	長……米法高……米ノ所
		鐵線蛇籠	……平米	……	……平米 ……平米	……	長……米……米籠徑……糎……本ノ所
	土留工		……米	……		……	
		石積工	……米				長……米法高……米ノ所

〔大阪土〕

柵工	……米
掘鑿	……立米
洪水敷掘鑿	……立米
築堤又ハ低水敷掘鑿	……立米
浚渫	……立米
護岸	
石張工	……外米
竝杭工	……米
水制	
杭出工	……箇所

（勞力寄附ノ例）
地元水防組合ヨリ延人員……人勞力奉仕トシテ作業セリ

（材料寄附ノ例）
……米分ハ用水組合ニ於テ用水取入口前後ヲ特ニ堅固ナラシムルノ目的ヲ以テ施行ス

（部分寄附ノ例）
內……米此請負金……ハ出水時期ニ際シ急速施行ノ要アリ部分請負トシテ之レニ對シ交附材料費……圓

〔大阪土〕

……箇所	
床止工	……箇所
水門	……箇所
計	
用地費	
敷地買收費	……坪
家屋移轉費	……外……坪
計	……坪
附帶工事	
道路	
土工	……立米
	……米

（用地寄附ノ例）
地元ニ於テ敷地無償提供セリ

長……米、有效幅員……米……ケ所
長……米、有效幅員……米……ケ所

〔大阪土〕

〔大阪土〕

路測工	……米	
路面工	……平米	
橋梁		
「鐵筋コンクリート橋」	……箇所	
木造土橋	……箇所	
樋管		
鐵筋「コンクリート」橋	……箇所	
木造樋管	……箇所	
水路附替	……米	
計		
用地費		

長……米幅員……米……ヶ所

長……米、斷面……

〔大阪土〕

	……	
計		
機械器具費		
購入費		
修繕費		
計		
事務費		
	……	
計		
合計		

備考

一、變更ノ概要及理由ヲ摘要欄ニ記載ノコト

二、部分請負ニ係ルモノハ其請負數量及金額ヲ竣功欄ニ掲載ノコト

三、勞力、材料、用地ニシテ寄附ニ係ルモノハ竣功欄ニ外書（赤書）トスルコト

四、亡失、毀損、手戻工事ニ對シテハ竣功欄ニ内書トスルコト

事務費精算書

種別	細目	豫算額	精算額	摘要
俸給				
	土木技師			
	土木書記			
	土木技手			
旅費				
測量費				
營繕費				
雜費				
計				

殘材料調書

材料名	殘數量	購入單價	金額	摘要

〔大阪土〕

〔大阪土〕

●國庫補助ニ係ル中小河川改良工事工程報告ノ件

昭和十年五月二日
發甲第一二號土木局長通牒

本年度以降標記ノ工程報告書別表ニ依リ御提出相成度

何々川自昭和　年　月
至同　年　月分工程報告

區分	本工事		附帶工事		機械器具類	諸費	事務費	計	摘要
	工事費	用地及移轉費	工事費	用地及移轉費					
本年度豫算額									(1)前年度ヨリ繰越工費 圓

何々府縣

當期支出額										(2)同上殘材料額　圓
同上竣功步合										
支出高累計										
同上竣工步合										
差引豫算殘額										

國庫補助受入額

備考

一、本表ハ

第一期分(自四月至七月)八月二十日迄ニ提出ノコト

第二期分(自八月至十一月)十二月二十日迄ニ提出ノコト

第三期分(自十二月至翌年三月ハ昭和十年三月三十日發土第一四號依命通牒別紙第七號工事竣功總計表ニ包含セシメ本表ノ報告ヲ要セス)

二、竣功步合ハ百分率ニヨリ分位ニ止メ四捨五入スルコト

三、前年度ヨリ繰越額ハ「支出額」及「豫算殘額」ニ加算計上スルコト

●土木費補助規則

大正十二年十二月二十八日
大阪府令第七十六號

改正　大正一五年六月府令第六九號、昭和九年一〇月第六七號

第一條　本府内公共團體(大阪市ヲ除ク以下倣之)ノ負擔ニ屬スル道路、橋梁、河川、堤防(護岸ヲ含ム以下倣之)港灣ニシテ別ニ告示ヲ以テ指定スルモノノ工事ニ要スル費用ニ對シテハ本則ノ定ムル所ニ依リ府費ヲ以テ其ノ公共團體ノ補助スルコトヲ得災害其ノ他ノ臨時工事費及道路橋梁ノ新設改築ニシテ本項ノ告示ニ指定セサルモノノ工事費ニ對シ亦同シ

〔大阪土〕

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル工事ノ費用ニ對シテハ補助ヲ與ヘサルモノトス

一、道路橋梁ノ新設改築又ハ橋梁ノ改築ニ準スヘキ大修繕工事ニシテ一廉査定工事費四百圓未滿ノ工事

二、河川堤防港灣ニ關スル工事ニシテ一廉査定工事費參百圓未滿ノ工事

三、道路橋梁ノ修繕工事ニシテ一廉査定工事費貳百圓未滿ノ工事

四、免租年限内ノ土地ノ堤防ニシテ一圍内段別二分ノ一以上有租地ニ至ラサル個所ノ工事

五、本堤以外ノ圍堤ノ工事

六、堰埭ニ起因シ生シタル工事

七、直高三尺以下ノ小堤ノ工事

八、前各號ノ外利害關係ヲ及ホス程度小ナリト認ムル工事

第三條　補助スヘキ金額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、道路橋梁ノ新設改築又ハ橋梁ノ改築ニ準スヘキ大修繕工事ニ在リテハ査定工事費ノ十分ノ六以内但シ橋梁ノ新設改築ニシテ査定工事費五千圓以上ノモノニ限リ其ノ十分ノ七以内

二、道路橋梁ノ修繕工事ニ在リテハ査定工事費ノ十分ノ四以内

三、河川堤防港灣ノ新設改築工事ニ在リテハ査定工事費ノ十分ノ六以内

四、河川堤防港灣ノ修繕工事ニ在リテハ査定工事費ノ十分ノ五以内

五、災害復舊工事ニ在リテハ前各號ノ區別ニ拘ラス査定工事費ノ十分ノ七以内

第四條　補助ヲ受ケムトスル工事ニシテ其工事費ニ對スル直接收入金又ハ寄附金若ハ他ノ補助金アルトキハ査定工事費ヨリ之ヲ控除シタル殘額ニ對シ前條ノ補助率ヲ以テ補助スヘキ金額ヲ定ム

工事費精算ノ結果其ノ精算額カ査定工事費ニ對シ減少シタルトキハ其ノ精算額ニ付補助スヘキ金額ヲ定ム

第五條　補助ヲ受ケムトスルトキハ道路橋梁河川堤防港灣ノ新設改築又ハ橋梁ノ改築ニ準スヘキ大修繕工事ニ在リテハ前年六月末日迄ニ其ノ他ノ工事及臨時急施ヲ要スル工事ニ在リテハ其ノ都度左記書類ヲ添ヘ申請スヘシ

一、工事設計書「第一號樣式」　(三通)

二、圖面　(三通)

三、所屬議會決議書寫　(三通)

四、用地竝支障物件調書「第二號樣式」　(三通)

五、參考書　(三通)

前項ノ圖面ハ實測ニ依リ左ノ方法ヲ以テ調製スヘシ但シ輕

易ナル工事ニ在リテハ見取圖ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

一、平面圖（縮尺千二百分ノ一以上　工事計畫區域ノ全部及其ノ附近ノ現狀ヲ示ス）

二、縱斷面圖（縮尺橫千二百分ノ一以上縱二百分ノ一以上　「洪水位、常水位、滿潮位、干潮位ヲ示ス」）

三、橫斷面圖（縮尺二百分ノ一以上　洪水位、常水位、滿潮位、干潮位ヲ示ス）

四、工作物圖（縮尺百分ノ一以上　構造及材料ノ寸法洪水位、常水位、滿潮位、干潮位ヲ示ス）

第一項ノ參考書ニハ左ノ各號ノ事項ヲ記スヘシ

一、道路ハ新舊長幅最急勾配、曲線ノ最小半徑ノ比較

二、橋梁ハ新舊橋種徑間ノ長幅橋脚ノ數及應力ノ計算

三、河川堤防ハ新舊長、馬踏、敷幅、高、洪水位、常水位

四、港灣ハ最高最低ノ潮水ノ深サ

第六條　補助ノ指令ヲ受ケタル後工事ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ其事由ヲ具シ申請スヘシ工事變更ノ場合ニ在リテハ新舊對照設計書及圖面其ノ他必要ナル書類ヲ添付スヘシ

第七條　工事ハ指定ノ期間内ニ著手及竣工スヘシ

天災其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ工事ニ著手又ハ竣工スルコト能ハサルトキハ期間經過前ニ事由ヲ具シ其ノ伸長ヲ申請スヘシ

天災其ノ他特別ノ事由アルトキハ申請ニ依リ補助ノ指令ニ先チ工事ニ著手セシムルコトアルヘシ

第八條　工事ニ著手セムトスルトキハ五日以前ニ届出ツヘシ

工事ヲ請負ニ付シタルトキハ届書ニ請負人ノ住所氏名及契約金額ヲ付記スヘシ

第九條　知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ官吏又ハ吏員ヲ派遣シ工事竝關係書類ノ檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十條　工事竣功シタルトキハ直ニ工事費精算書ヲ添ヘ届出ヘシ

第十一條　工事中又ハ竣功檢査ノ際其ノ出來形カ設計圖書等ニ適合セス若ハ不完全ト認ムルトキハ更ニ期間ヲ指定シ其ノ全部又ハ一部ノ改造若ハ修補ヲ命スルコトアルヘシ

檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ工事出來形ノ一部ヲ取毀タシムルコトアルヘシ

前二項ノ規定ニ依リ必要ヲ生シタル工事ノ費用ニ對シテハ補助セサルモノトス

第十二條　補助金ハ工事竣功檢査完了後之ヲ交付ス但シ土地ノ買收又ハ收用ヲ要スルモノハ所有權移轉ノ登記完了後ニアラサレハ補助金ヲ交付セス

工事竣功檢査前天災其ノ他不可抗力ニ因リ損害ヲ蒙リタル場合ニ於テ其ノ損害ヲ受ケタル部分ノ出來形完全ナリシモノト認ムルトキニ限リ補助金ヲ交付ス

第十三條　查定工事費參千圓以上ノモノニシテ出來形二分ノ一以上ニ達シタルトキハ一回限リ出來形工事費ニ對スル補助金ニ相當スル金額ノ十分ノ八以内ヲ内渡スルコトアルヘシ

第十四條　本則ニ依リ提出スル書類ハ所轄本府内務部土木課出張所ヲ經由スヘシ

第十五條　左記各號ノ一ニ該當スルモノハ補助ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ヲ減額スルコトアルヘシ

一、第六條ノ手續ヲ爲サシテ工事ヲ變更シタルトキ

二、第七條ノ期間内ニ工事ニ著手又ハ竣功セサルトキ

三、工事竣功ノ見込ナシト認ムルトキ

四、第十一條第一項ニ依リ命シタル工事ノ改造若ハ修補ヲ爲ササルトキ

五、他ノ法令ニ依リ工事ノ許可ヲ取消サレタルトキ

六、前各號ノ外本則ニ違反シ若ハ本則ニ基キテ發スル指令ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

第十六條　本則ニ依リ補助ノ指令ヲ受ケタル工事ニ關シテ他ノ法令ニ依リ知事ノ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項アルトキハ其ノ事項ニ付許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年度ニ屬スル工事ニシテ從前ノ規則ニ依リ補助ノ指令ヲ受ケ未タ工事完成ニ至ラサルモノハ其ノ補助金額ヲ本則ニ依ル補助金額ニ更正ヲ申請スルコトヲ得但シ第一條第一項第一號乃至第三號ニ該當スル工事ニ付テハ仍從前ノ規則ニ依ル

大正十三年度ニ屬スル工事ノ第五條ノ申請期日ハ大正十三年一月末日迄トス

大正九年四月大阪府令第三十七號土木費補助規則ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式（美濃紙）

甲號設計用紙

大正　年度　工事番號　第　號　大正　年　月　日

設計書

郡　町村大字　字　地内

一　工費金

起工事由

設計大要

内譯

工種	種目	材料	長	幅	厚	徑	員數	一ヶ重量 又容量	合重量 又容量	單價	金額	摘要

〔大阪土〕

〔大阪土〕

乙號設計用紙

工種	種目材料	長	幅厚	徑	員數	一ケ重量又容量	合重量又容量	單價	金額	摘要

〔大阪士〕

〔大阪士〕

第二號樣式ノ一（美濃紙）

用地調書

所在地番	地目	臺帳段別	用地段別	所有者氏名	摘要
計					

第二號樣式ノ二（美濃紙）

支障物件調書

物件所在地	種類	員數	所有者氏名	摘要

●市町村補助工事ノ書類様式

一、補助申請書
二、所屬議會ノ決議書寫
三、工事著手屆
四、工事竣功屆
五、補助金請求書
六、工事費精算書（直營工事ノ場合）
七、同上（請負工事ノ場合）
八、用地買收ノ承諾書寫

〔大阪土〕

第　號

道路（橋梁、河川、堤防、護岸）改築（新設）工事費補助申請

本村（市、町）所屬町村道何線（何川）（何堤防）改築工事ヲ昭和何年度ニ於テ施行致度候條之カ工事費ニ對シ補助相成度別紙設計書圖面竝關係書類相添ヘ此段及申請候也

昭和　年　月　日

市町村長　氏　名　㊞

大阪府知事殿

「備考」

添附書類ハ左ノ通リ

一、設計書
一、設計圖　「參謀本部發行ノ二萬五千分ノ一、又ハ五萬分ノ一ノ地圖ニ工事施行個所ヲ表示シタル圖面一通添附ノコト」
一、用地及支障物件調書竝其ノ承諾書ノ寫
一、補助申請議案竝議決書ノ寫
一、歲入出豫算書
一、參考書

以上

議案第　號

道路（橋梁、河川、堤防、護岸）改築費補助申請ノ件

左記道路（橋梁、河川、堤防、護岸）ハ昭和何年度ニ於テ改築ノ豫定ニ付之レカ工事費ニ對シ府費ノ補助ヲ申請スルモノトス

記

一、町村道何線
一、何川堤防

昭和　年　月　日提出

市町村長　氏　名

昭和　年　月　日原案可決

市町村長　氏　名

右原本ニ依リ謄寫候也

市町村長　氏　名　㊞

著手屆

大阪府指令土第　號認可

市町村大字　地内

町村道何線道路改築工事（何川堤防改築工事）

右工事ハ左記ノ通請負ニ附シ（直營ニテ）昭和　年　月　日著手シ昭和　年　月　日迄ニ竣功可致此段及御屆候也

記

一、請負人住所　氏　名
一、請負金額　金　圓　錢也

昭和　年　月　日

市町村長　氏　名　㊞

大阪府知事殿

竣功届

大阪府指令土第　號認可

市
郡　町村大字　地内

町村道何線道路改築工事（何川堤防改築工事）

右工事ハ昭和　年　月　日竣功致候ニ付別紙補助金請求書並精算書相添此段及御届候也

昭和　年　月　日

市町村長　氏　名㊞

大阪府知事殿

請求書

一金　圓　錢也

但シ昭和　年　月　日付大阪府指令土第號認可町村道何線道路改築工事（何川堤防改築工事）費ニ對スル府補助金、工事費精算書別紙ノ通

右請求仕候也

昭和　年　月　日

市町村長　氏　名㊞

大阪府知事殿

精算書

一金　圓　錢也　査定金額（本行ノミ朱書ノコト）

一金　圓　錢也　精算金額

内譯

一金　圓　錢也　勞力費

一金　圓　錢也　材料費

一金　圓　錢也　器具機械費

一金　圓　錢也　用地買收費

一金　圓　錢也　支障物件補償費

右ノ通相違無之候也

昭和　年　月　日

市町村長　氏　名㊞

大阪府知事殿

（備考）

直營ニテ施工シタル工事ノ精算書トス

精算書

一金　圓　錢也　査定金額

一金　圓　錢也　精算金額

内譯

一金　圓　錢也　請負金額

一金　圓　錢也　用地買收費

一金　圓　錢也　支障物件補償費

右ノ通相違無之候也

昭和　年　月　日

〔大阪土〕

〔大阪土〕

大阪府知事殿

市町村長　氏　名㊞

（備考）

請負ニ附シタル工事ノ精算書トス

精算書

一金　圓　錢也　査定金額（本行ノミ朱書ノコト）

一金　圓　錢也　精算金額

承諾書

所在	地番	地目	臺帳段別	潰地段別	買收單價	買收金額	土地所有者住所氏名
大字		段	坪		圓	圓	
市町村							

右土地ハ揃者等所有ノ處今般町村道（市道）何線道路改築工事（何川堤防改築工事）ノ用地ニ該當致候ニ付テハ前記代金ヲ以テ買收並何時起工相成候トモ何等異議無之候條此段承諾仕候也

昭和　年　月　日

所有者住所　氏　名㊞

市町村長殿
郡
同
同
同

●災害復舊工事費補助取扱ニ關スル件

昭和五年八月
土木部長通牒

各出張所長宛

市町村ニ於テ災害ヲ受ケタル道路、河川等ノ復舊工事ヲ施行スルニ先チ施工シタル假工事ニ對シテハ府費補助ノ詮議相成ラサル取扱ナル處該假工事ニ使用セル材料其他ノ費用ニシテ後日本工事ニ充當シタル場合ニ於テハ該假工事費中其本工事費ニ充當シタル限度ニ於テ相當ナル金額ヲ本工事ノ費用トシテ府費ノ補助基本額ニ計算相成ルヘキ筋合ニ付此邊御了承ノ上如斯假工事ヲ施行セムトスル向ニ對シテハ本府土木費補助規則第七條及第八條ノ主旨ニ基キ相當手續ヲ了シタル上施行相成樣御配意相成度右及通牒候也

●土木費補助規則ノ特例ニ關ス

〔大阪土〕

ル件

昭和七年九月二十四日
大阪府令第六十三號

土木費補助規則ノ特例ニ關スル件左ノ通定ム

土木費補助規則ノ特例ニ關スル件

時局匡救ノ爲市町村、市町村組合又ハ町村組合ノ施行スル土木工事ニ對スル府費補助金額ハ其ノ査定工事費ノ四分ノ三トス

補助金ハ工事竣功檢査完了後之ヲ交付ス但シ出來形五分ノ一以上ニ達シタルトキハ出來形工事費ニ對スル補助金ニ相當スル金額ノ十分ノ八以内ヲ内渡スルコトアルベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●補助工事契約豫定價格ノ件

昭和十年十二月九日
土木部長依命通牒

各市町村長宛

從來補助工事ヲ請負ニ付スル場合契約豫定價格ハ時價ヲ考慮セス査定工事費其ノ儘ヲ以テ決定相成向モ有之ヤニ及聞候處査定工事費ハ設計當時ニ於ケル時價ヲ以テ計算セルモノニシテ實施ノ場合其ノ後ノ時價ノ變動ニヨリ再檢討ヲ要スルモノニ有之候條御含右事項特ニ御留意ノ上適正ナル豫定價格ヲ作成シ該價格ノ範圍内ヲ以テ嚴正ニ契約締結相成度尚又右豫定價格竝ニ査定工事費等ハ從來屢々外部ニ漏洩ノ疑有之ヤニ及聞候條今後ハ契約締結ノ前後ヲ不問外部ニ對シ絶對ニ漏洩等ノ事無之樣特ニ注意相成度此段及依命通牒候也

〔大阪土〕

第十三類　土木工事(終)

第十四類　會　計

第十四類　會計

○會計法……大正一〇年四月法律四二號……一
○大阪府會計規則……昭和二年三月府令二五號……一
○大阪府會計規則施行細則……昭和二年三月府訓令九號……三四
○大阪府金庫ノ名稱位置及出納區域表……昭和一一年三月府訓令三二八號……一三五
○土砂採取竝碎石事業ノ會計ニ關スル規程……昭和八年一二月決定……一三六

〔大阪土〕

第十四類　會　計

●會計法（抄）

大正十年四月八日
法律第四十二號

第一章　總則

第一條　政府ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

一會計年度所屬ノ歲入歲出ノ出納ニ關スル事務ハ翌年度七月三十一日迄ニ悉皆完結スヘシ

第八章　時效

第三十二條　金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニシテ時效ニ關シ他ノ法律ニ規定ナキトキハ五年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十三條　金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニ付消滅時效ノ中斷停止其ノ他ノ事項ニ關シ適用スヘキ他ノ法律ノ規定ナキトキハ民法ノ規定ヲ準用ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十四條　法令ノ規定ニ依リ政府ノ爲ス納入ノ告知ハ民法第百五十三條ノ規定ニ拘ラス時效中斷ノ效力ヲ有ス

●大阪府會計規則

昭和二年三月二十三日
大阪府令第二十五號

改正　昭和六年三月府令第三五號、八年二月第一九號、一一年六月第五三號

第一章　總則

第一條　府ノ會計ハ特別ノ規定アルモノヲ除キ本則ニ依ル

第二條　本則ニ於テ各廨ト稱スルハ大阪府金庫ノ名稱、位置及出納區域ヲ以テ告示シタルモノヲ謂フ

第三條　各廨ニ屬スル歲入歲出ノ收支命令ハ之ヲ所管廨長ニ委任ス

前項ニ依リ委任スヘキ歲入ハ其ノ科目ヲ、歲出ハ其ノ豫算ヲ定メテ令達ス

第四條　各廨長（土木部各廨長ヲ除ク）カ左ニ揭ケル事件ヲ執行セムトスル場合ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一、一口千圓以上ノ建築及修繕工事

二、一口千圓以上ノ動產ノ買入

三、貸貸借料一口一箇年參百圓以上ノ動產ノ貸付又ハ借入

四、購入及寄附價格一口拾五圓以上ノ不用品ノ廢棄又ハ一口參百圓以上ノ動產ノ賣拂

五、一口參百圓以上ノ電力瓦斯又ハ勞務ノ需用

土木部各廨長ノ權限ニ關シテハ訓令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　經費ハ豫算ニ定メタル目的外ニ使用スルコトヲ得ス

第六條　豫算ニ定メタル各目ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル必要アルトキハ豫メ金額事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　各廨ニ於ケル毎年度ノ歲入ハ翌年四月三十日限リ歲出ハ翌年四月二十日限リ出納ヲ閉鎖スヘシ但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ出納閉鎖ノ延期ヲ要スルトキハ其ノ期間及事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條　本則ニ依リ發スル納額告知書、納付書、返納告知書、督促狀、府出納吏領收證、拂込書、仕拂命令、仕拂通知書、寄託通知書、保管證書及還付命令ノ金額ヲ改竄シタルモノハ無效トス

第二章　歲入

第九條　收入命令ヲ發セムトスルトキハ法令ニ違フコトナキカ、所屬年度、金額、納入義務者及歲入科目ヲ誤ルコトナキカヲ調査シ之ヲ決定スヘシ

第十條　前條ノ決定ヲ爲シタルトキハ二十日以內ニ納期日ヲ定メ納入ニ對シ納額告知書ヲ發シ納額告知書ニ依ラサルモノハ納付書ヲ以テ府金庫ニ納入セシムヘシ

料券ノ發行ニ依リ徵收スルモノ及諸手數料、授業料、入津料、生產製作品賣拂代竝國庫補助金ノ類ハ府出納吏ニ納入セシムルコトヲ得

〔大阪土〕

第十一條　納額告知書ヲ受ケタル者及納付書ニ依リ納入セムトスル者ハ之ニ現金ヲ添ヘ府金庫ニ納入スヘシ

郵便爲替及政府發行ノ小切手ハ前項ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ府金庫ニ於テ現金ニ交換シ得サルトキハ納付ノ效力ナキモノトス

第十二條　府吏員遺族扶助料規則第二條ニ依リ納金ヲ要スル俸給ノ仕拂命令ヲ發スルトキハ同時ニ納金額ヲ歲入ヘ調定ノ手續ヲ爲スヘシ

過渡ノ俸給ヲ返納セシムルトキハ之ニ對スル納金ハ歲入ヨリ下戻スヘシ

第十三條　第八十條第三項ニ依リ府金庫ノ報告ヲ受ケタルトキハ前條ノ調定ニ對シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條　使用料、手數料、過料其ノ他ノ收入ヲ定期日內ニ完納セサルトキハ直ニ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ニハ七日以內ニ於テ期限ヲ指定スヘシ

第一項ノ督促狀ヲ受ケタル者ハ指定期日迄ニ該督促狀ニ現金ヲ添ヘ府金庫ニ納入スヘシ

第十五條　其ノ年度內ニ於ケル過誤納金拂戻ノ手續ハ次章ノ規定ヲ準用ス

第三章　歲出

第十六條　經費ノ支出ヲ要スルトキハ府金庫ニ對シ仕拂命令ヲ發スヘシ

〔大阪土〕

第十七條　資金前渡又ハ渡切經費ヲ受ケタル者現金ヲ債權者ニ交付セムトスル場合ハ本章ノ規定ヲ準用ス

第十八條　資金前渡ヲ受ケタル者仕拂中ニ過誤拂ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ返納セシメ其ノ計算ニ戻入スヘシ

前項ニ依リ現金ヲ受領シタルトキハ第六十條ヲ準用ス

第十九條　官吏、吏員、職員ノ出張先ニ於テ要スル通信運搬費及諸傭費、修德館生又ハ囚人ノ護送費、癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ノ一時救護ニ要スル諸費ハ繰替拂ヲ爲スコトヲ得

前項繰替拂ヲ爲シタル者ハ正當債權者ノ領收證書ヲ添ヘ其ノ拂戻ヲ請求スヘシ

第二十條　左ニ揭クル經費ハ渡切ト爲シ各廨長ニ交付スルコトアルヘシ

諸備給、消耗品費（試食費、沐浴費、暖房費、接待費、生徒賞與ヲ含ム）圖書及印刷費、通信運搬費、雜費、賄費、修學旅行費

第二十一條　渡切經費ハ年額ニ依リ月割額ヲ定メ每月上旬之ヲ交付ス但シ知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ月割額ヲ變更スルコトアルヘシ

第二十二條　渡切經費ハ天災事變又ハ事務ノ興廢伸縮其ノ他知事ニ於テ必要ト認メタルトキハ之ヲ增減スルコトアルヘシ

第二十三條　渡切經費ノ交付ヲ受ケタル各廨長ハ其ノ交付額ヲ以テ指定セラレタル一切ノ經費ヲ支辨シ其ノ仕拂ニ關シテハ官職名ヲ以テスルト否トニ拘ハラス各廨長自己ノ責任トシ府ハ其ノ責ニ任セス

第二十四條　仕拂命令ヲ發セムトスルトキハ左ノ事項ヲ審查シ之ヲ決定スヘシ

一、正當債權者ニシテ且必要ナル經費ナルヤ

二、豫算ニ定メタル目的ニ違フコトナキヤ

三、金額ニ違算ナキヤ

四、支出科目及所屬年度ヲ誤ルコトナキヤ

五、豫算額ヲ超過スルコトナキヤ

第二十五條　仕拂命令ハ豫算ノ目ノ內譯節每ニ發スヘシ但シ資金前渡又ハ渡切經費ノ仕拂命令ハ此ノ限ニ在ラス科目ノ同一ナル數人ノ債權者ニ對シテハ集合仕拂命令ヲ發スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別ニ各債權者ノ金額氏名表ヲ添付スヘシ

第二十六條　仕拂命令ハ之ヲ債權者ニ交付スヘシ此ノ場合ニ於テハ案內仕拂命令ヲ府金庫ニ送付スヘシ

集合仕拂命令又ハ送金ヲ要スル仕拂命令ハ府金庫ニ送付シ別ニ債權者ニ仕拂通知書ヲ發スヘシ

第二十七條　仕拂命令ヲ債權者ニ交付スルトキハ領收證書ヲ徵スヘシ

第二十八條　債權者ニ於テ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ亡失、汚損又ハ正當ノ事由ニ依リ其ノ再製交付ヲ受ケムトスルトキハ亡失又ハ正當ノ事由ニ依ル場合ハ府金庫ノ現金未拂證明書ヲ添付シ其ノ汚損ノ場合ハ曩ニ交付ヲ受ケタル仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ添付シ再製交付方申出ツヘシ

前項申出ニ依リ再製交付スル仕拂命令又ハ仕拂通知書ニハ再製ノ旨附記スヘシ

第二十九條　一年度內ニ終ルヘキ工事ニシテ天災其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲事業ヲ遲延シ年度內ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ計算書ヲ作リ每事件竣功遲延ノ事由ヲ具シ且請負ニ付シタルモノナルトキハ契約書ノ寫ヲ添付シ年度經過後一箇月以內ニ知事ニ上申スヘシ

第三十條　經費ノ定額戻入ヲ要スルトキハ二十日以內ニ納期日ヲ定メ返納人ニ對シ返納告知書ヲ發シ府金庫ニ納入セシムヘシ但シ俸給其ノ他ノ諸給與ニ係ル過拂金額ハ其ノ年度內ニ限リ次期支給ノ際之ヲ相殺スルコトヲ得

返納告知書ヲ受ケタル者ハ之ニ現金ヲ添ヘ府金庫ニ納入スヘシ

第四章　物品

第三十一條　物品トハ府有ノ動產ヲ謂フ

第三十二條　物品ノ出納ハ使用、賣却、讓與、亡失若ハ製產ノ爲消費其ノ他府出納吏ノ保管ヲ離ルヽヲ出トシ買入、讓

受、製產其ノ他其ノ保管ニ屬スルヲ納トシ帳簿ニ登記スヘシ但シ渡切經費支辨ノ消耗品ハ登記ヲ省略スルコトヲ得

第三十三條　本廳及各廨ニ動產臺帳ヲ設ケテ所在、數量、費途、金額ヲ明記スヘシ但シ各廨ニアリテハ備品、動物出納簿ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第五章　契約

第三十四條　契約ヲ爲サムトスルトキハ契約ノ目的、履行期限、保證金額、契約違反ノ場合ニ於ケル保證金ノ處分、危險負擔其ノ他必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シタル契約書ヲ作成スヘシ

前項契約書ニハ當該官吏、吏員、職員記名捺印スルコトヲ要ス

第三十五條　左ニ揭クル場合ニ於テハ前條ノ契約書ヲ省略スルコトヲ得

一、三千圓ヲ超エサル指名競爭契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ

二、罹災ニ附スルトキ

三、物品賣拂ノ場合ニ於テ買受人直ニ代金ヲ納付シ其ノ物品ヲ引取ルトキ

四、第一號以外ノ隨意契約ニ付知事ニ於テ契約書ヲ作成スルノ必要ナシト認ムルトキ

第三十六條　府ト契約ヲ結ハムトスル者ハ現金又ハ國債勸業債債券、大阪府債ヲ以テ見積金額ノ百分ノ五以上ヲ保證金トシテ知事ニ寄託シ其ノ通知書ヲ提出スヘシ

競落者契約ヲ結ハサルトキハ保證金ハ府ノ所得トス

第四十條　前二條ノ規定ハ工事又ハ製造以外ノ請負契約ノ全部又ハ一部ノ履行ニ對シ支拂ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條　一般競爭ニ加ハラムトスル者ハ一年以上引續キ製造又ハ物品供給ノ業務ニ從事スルコトヲ證明スヘシ

第四十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルト認メタル者ハ爾後二箇年間競爭ニ加ハラシメサルコトアルヘシ

之ヲ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用シタル者亦同シ

一、契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ製造又ハ物件ヲ粗雜ニシ又ハ品質、數量ニ關シ欺罔ノ行爲アリタル者

二、競爭ニ際シ不當ニ價格ヲ競上ケ又ハ競下クル目的ヲ以テ連合シタル者

三、競爭ノ加入ヲ妨害シ又ハ競落者ノ契約締結若ハ契約ノ履行ヲ妨害シタル者

四、檢查監督ニ際シ係員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

五、正當ノ理由ナクシテ契約ヲ履行セサリシ者

六、前各號ノ一ニ該當スルト認メラレタル後二箇年ヲ經過セサル者ヲ契約ニ際シ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用スル者

第四十三條　一般競爭ニ加ハラムトスル者ハ現金又ハ國債、

第四十四條　競落者契約ヲ結ハサルトキハ保證金ハ府ノ所得トス

第四十五條　一般入札ノ方法ニ依リ競爭ニ付セムトスルトキハ入札期日ノ前日ヨリ起算シ少クモ五日前ニ新聞紙、揭示其ノ他ノ方法ニ依リ公告スヘシ但シ急ヲ要スル場合ハ其ノ

期日ヲ三日迄ニ短縮スルコトヲ得

第四十六條　前條ノ公告ニハ左ノ各號ノ事項ヲ示スヘシ

一、競爭入札ニ付スル事項

二、契約條項ヲ示ス場所

三、競爭執行ノ場所及日時

四、入札保證金額

第四十七條　執行官吏、吏員、職員ハ其ノ競爭入札ニ付スル事項ノ價格ヲ豫定シ之ヲ封書トシ開札場所ニ置クヘシ

第四十八條　開札ハ公告シタル場所日時ニ入札者ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ入札者全部出席セサルトキハ入札ニ關係ナキ官吏、吏員、職員ヲシテ開札ニ立會ハシムヘシ

入札者ハ提出シタル入札書ノ引換、變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス

競爭加入ノ資格ナキ者ノ爲シタル入札又ハ入札ニ關スル條件ニ違反シタル入札ハ無效トス

第四十九條　開札ノ場合ニ於テ各人ノ入札中第四十七條ノ規定ニ依リ豫定シタル價格ノ制限ニ達シタルモノナキトキハ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條　落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ入札者中出席セサル者又ハ抽籤ヲ爲ササル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏、吏員、職員ヲシテ之ニ代リ抽籤ヲ爲サシムヘシ

第五十一條　動產ノ賣拂ニ付必要ト認ムル場合ニ於テハ一般競爭ノ規定ニ準シ顯賣ニ付スルコトヲ得

第五十二條　左ニ揭ケル場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ得

一、一般ノ競爭ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムルトキ

二、契約ノ性質又ハ目的ニ依リ競爭ニ加ハルヘキ者少數ニシテ一般競爭ニ付スルノ必要ナキトキ

三、一萬圓ヲ超エサル製造ヲ爲サシメ又ハ五千圓ヲ超エサル財產ノ買入ヲ爲ストキ

四、賃借料年額又ハ總額三千圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

五、豫定賃貸料年額又ハ總額千圓ヲ超エサル物件ノ貸付ヲ爲ストキ

六、豫定價格貳千圓ヲ超エサル財產ノ賣拂ヲ爲ストキ

隨意契約ニ依ルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ妨ケス

第五十三條　指名競爭ニ付セムトスルトキハ成ルヘク五人以上ノ入札者ヲ指定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第四十六條ニ規定シタル事項ヲ通知スヘシ

第五十四條　一般競爭契約ニ關スル規定ハ指名競爭契約ノ場

〔大阪土〕

合ニ之ヲ準用ス但シ知事ニ於テ必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第四十三條ノ保證金ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十五條　左ニ揭ケル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一、契約ノ性質又ハ目的カ競爭ヲ許ササルトキ

二、急迫ノ際競爭ニ付スルノ暇ナキトキ

三、府ノ行爲ヲ祕密ニスルノ必要アルトキ

四、五千圓ヲ超エサル製造ヲ爲サシメ又ハ參千圓ヲ超エサル財產ノ買入ヲ爲ストキ

五、賃借料年額又ハ總額千五百圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

六、前二號以外ノ契約ニシテ其金額二千圓ヲ超エサルトキ

七、勞力ノ供給ヲ請負ハシムルトキ

八、運送又ハ保管ヲ爲サシムルトキ

九、官廳相互間ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十、市町村其ノ他ノ公法人、公益法人、產業組合又ハ慈惠ノ爲設立シタル救育所等ヨリ直接ニ物件ノ買入又ハ借入ヲ爲ストキ

十一、競爭ニ付スルヲ不利ト認ムルトキ

十二、競爭ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナキトキ但シ競爭ニ付スルトキ定メタル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

十三、落札者契約ヲ結ハサルトキ但シ最初競爭ニ付スルトキ定メタル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十六條　隨意契約ニ依ラムトスルトキハ成ルヘク二人以上ヨリ見積書ヲ徵スヘシ

第六章　府出納吏

第五十七條　本廳及各廨ニ府出納吏ヲ置ク

府出納吏ハ本廳ニ在テハ內務部會計課長、醫科大學ニ在テハ幹事、幹事ナキトキハ會計首席書記、其ノ他ノ各廨ニ在テハ其ノ長ヲ以テ之ニ充ツ

本廳及各廨ニ物品ノミニ關スル事務ヲ取扱ハシムル爲一人若ハ數人ノ府出納吏ヲ置クコトヲ得但シ此場合ニ在テハ辭令ニ事務ノ範圍ヲ明記スヘシ

第一項ノ外府出納吏ヲ置クノ必要アルトキハ別ニ之ヲ命スルコトアルヘシ

第五十八條　府出納吏ハ歲入、歲出及歲入歲出外ノ現金、有價證券（府ニ於テ保管スヘキモノ以下同シ）及物品ノ保管出納ヲ掌ルモノトス

第五十九條　府出納吏ニ於テ取扱フ現金、有價證券及物品ノ年度所屬ハ現ニ出納ヲ爲シタル日ヲ以テ區分スヘシ

第六十條　府出納吏ニ於テ歲入金ヲ領收シタルトキハ領收證書ヲ納入ニ交付スヘシ但シ料券ノ發行ニ依リ收入スルモノハ此限ニ在ラス

前項ニ依リ歳入金ヲ領收シタルトキハ卽日之ヲ收入命令者ニ通知スヘシ

第六十一條　府出納吏ニ於テ領收シタル歳入金ハ卽日拂込書ヲ添ヘ之ヲ府金庫ニ拂込ムヘシ但シ每日金庫事務取扱員ノ出張セサル各廨ニ在テハ領收金百圓ニ達スル迄之ヲ保管シ出張定日ニ拂込ムコトヲ得

第六十二條　第六十條及第六十一條ノ規定ハ滯納處分執行者ニ於テ處分ノ爲領收シタル歳入金ニ之ヲ準用ス

第六十三條　府出納吏ハ擔保ノ爲有價證券ヲ納付スル者アルトキハ保管證書ヲ納入ニ交付シ歳入歳出外現金及保證金代用有價證券（次條ノ場合ヲ除ク）ヲ納付セムトスル者アルトキハ寄託通知書ヲ納入ニ交付シ納入ヲシテ之ニ現品又ハ現金ヲ添ヘ府金庫ニ納入セシムヘシ

府金庫前項ノ納入ヲ受ケタルトキハ保管證書ヲ納入ニ交付シ其ノ旨卽日府出納吏ニ通知スヘシ

第六十四條　入札保證金ノ保管ヲ要スルトキハ納入ヨリ納付書ヲ徵シ入札執行者之ニ保管方附記捺印ノ上納入ニ交付シ府金庫ニ納入セシムヘシ

府金庫ニ於テ前項ノ納入ヲ受ケタルトキハ納付書ニ領收證印ヲ捺シ之ヲ納入ニ返付シ入札執行者ニ差出サシムヘシ

第六十五條　落札者ノ入札保證金納付書ハ入札執行者ヨリ直ニ府出納吏ニ送付スヘシ

〔大阪土〕

府出納吏前項ノ送付ヲ受ケタルトキハ寄託通知書ヲ調製シ納付書ト共ニ之ヲ納入ニ交付シ府金庫ニ差出サシムヘシ

第六十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ準用ス

第六十六條　府出納吏自己ノ保管ニ係ル有價證券（次條ノ場合ヲ除ク）ノ還付請求ヲ受ケタルトキハ保管證書ニ領收ノ旨ヲ裏書セシメ之ト引換ニ還付スヘシ

府出納吏歳入歳出外現金及有價證券（次條ノ場合ヲ除ク）ノ還付請求ヲ受ケタルトキハ府金庫ノ保管證書ニ還付スヘキ旨ヲ裏書シ之ヲ債權者ニ交付シ其ノ領收證ヲ徵シ府金庫ヨリ現金及有價證券ヲ受取ラシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ送金ヲ要スルトキハ還付命令ヲ府金庫ニ送付シ債權者ニ還付通知書ヲ發スヘシ

第二十八條ノ規定ハ還付通知書ノ亡失、汚損又ハ正當ノ事由ニ依リ再製交付ヲ要スル場合ニ準用ス

第六十七條　入札保證金（落札者ノ分ヲ除ク）ノ還付ヲ要スルトキハ入札執行者ハ入札保證金納付書ニ還付方附記捺印ノ上之ヲ債權者ニ交付シ府金庫ニ差出サシムヘシ

府金庫ハ前項ノ納付書及債權者ノ領收書ト引換ニ有價證券又ハ現金ヲ還付スヘシ

第六十八條　第六十六條ノ場合ニ於テ亡失、汚損又ハ已ムヲ得サル事由ニ依リ保管證書ヲ提出シ能ハサルトキハ其ノ旨府出納吏ニ届出ツヘシ但シ汚損ノ場合ハ襄ニ交付ヲ受ケタ

ル保管證書ヲ添付スヘシ

府出納吏前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ有價證券中府出納吏ノ發シタルモノニ對シテハ再製ノ旨附記シタル保管證書ヲ交付シ金庫ノ發シタルモノ及現金ニ對シテハ該届書ニ府金庫ヲシテ保管中ノ旨證明セシメテ保管證書ニ代用スルコトヲ得

第七章　府金庫

第六十九條　府金庫ノ名稱、位置及出納區域等ハ別ニ之ヲ定ム

第七十條　府金庫ノ出納ハ休日及休暇日ヲ除キ本廳及各廨ノ執務開始時限ヨリ退廳前一時間内トス但シ急ヲ要スルトキ又ハ晝夜現金ノ出納ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條　府金庫ハ每日事務取扱員ヲ本廳及各廨ニ出張セシメ其ノ出納事務ヲ取扱ハシムヘシ

但シ別ニ其ノ出張定日ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　府金庫ハ照較ニ供スル爲收支命令者及府出納吏ニ其ノ印鑑及事務取扱員ノ印鑑ヲ差出スヘシ

出納上照較ニ供スル爲收支命令者、府出納吏及取扱主任者ノ印鑑ヲ府金庫ニ送付スヘシ

第七十三條　府金庫ニ於テ徵稅令書、納額告知書、納付書、拂込書、督促狀又ハ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ式ニ從ヒ領收證書ヲ納入ニ交付シ通知書ハ集計ヲ

〔大阪土〕

付シ卽日當該官吏、吏員、職員ニ送付スヘシ

第七十四條　甲金庫ニ納付スヘキ歳入金又ハ返納金ヲ乙金庫ニ納付セムトスル者アルトキハ之ヲ領收シ其ノ金額ハ甲金庫ヨリ回送シタルモノトシテ記簿スヘシ

此ノ場合ニ於テハ徵稅令書、納額告知書、納付書、督促狀及返納告知書等ハ爲替納金報告書ト共ニ卽日甲金庫ニ送付スヘシ

甲金庫前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ歳入金受入又ハ歳出金戻入及回送金拂出ノ記簿ヲ爲スヘシ

第七十五條　府金庫ハ案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ送金ヲ要スル仕拂命令又ハ還付命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ仕拂ノ準備ヲ爲スヘシ

第七十六條　送金ヲ要スル仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニシテ各金庫間振替拂ヲ要スルトキハ振替拂ヲ爲サシメムトスル金庫ニ其ノ旨通知スヘシ

前項ノ命令ニシテ其ノ送金先管外ナルトキハ爲替其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ送金シ領收證書ヲ徵スヘシ

受取人現金受領後行衞不明等ニシテ領收證書ヲ徵シ能ハサルトキハ郵便局又ハ銀行ノ仕拂證明書又受取人ノ領收證書回送ノ途中紛失シタルトキハ受取人ノ受領濟證明書等ヲ以テ前項ノ領收證書ニ代エルコトヲ得

第七十七條　振替拂受託金庫前條第一項ノ通知ヲ受ケタル後

仕拂通知書ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スル者アルトキハ次條ノ手續ニ準シ領收證書引換ニ現金ヲ交付シ其ノ金額ハ之ヲ振替拂委託金庫ニ回送シタルモノトシテ記簿スヘシ此ノ場合ニ於テ債權者ヨリ徵シタル領收證書ハ回送金差立書ト共ニ卽日之ヲ振替拂委託金庫ニ送付スヘシ

振替拂委託金庫前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ歲出金拂出又ハ歲入金拂戻及回送金受入ノ記簿ヲ爲スヘシ

第七十八條　府金庫ハ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スル者アルトキハ之ヲ調査シ仕拂命令又ハ領收證書ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ持參人ニ告ケ仕拂ノ執行ヲ停止シ其ノ旨直ニ仕拂命令者ニ報告スヘシ

一、仕拂命令又ハ仕拂通知書カ樣式ト相違スルトキ

二、案內仕拂命令若ハ集合仕拂命令ノ到達セサルトキ

三、案內仕拂命令ト仕拂命令、仕拂通知書ト金額氏名表ト符合セサルトキ

四、仕拂命令又ハ仕拂通知書ニ押捺ノ印影カ相違スルトキ

五、仕拂命令又ハ仕拂通知書汚損シ其ノ要領ヲ認メ難キトキ

六、仕拂命令又ハ仕拂通知書カ亡失ニ依リ現金未拂ナルコトヲ證明シタルモノニ係ルトキ

七、仕拂命令又ハ仕拂通知書ノ金額ヲ改竄シタルモノアルトキ

第七十九條　第七十六條ノ規定ハ送金ヲ要スル還付命令ノ送付ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用シ第七十七條及第七十八條ノ規定ハ還付ノ裏書アル保管證書又ハ還付通知書ヲ持參シ現金又ハ有價證券ノ還付ヲ請求スル者アル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條　府金庫ハ現金ノ仕拂ニ際シ國庫納金又ハ府吏員納金ノ引去ヲ要スルモノアルトキハ仕拂命令又ハ仕拂通知書記載ノ國庫納金又ハ府吏員納金ヲ控除シ現金支給高ヲ受取人ニ交付スヘシ

前項ニ依リ控除シタル國庫納金ハ國庫納金送付書ト共ニ之ヲ當該收入官吏ニ送付スヘシ此ノ場合ニ於テ送金ヲ要スルトキハ第七十六條第一項及第七十七條ヲ準用ス

第一項ニ依リ控除シタル府吏員納金ハ直ニ歲入ニ組替ヘ其ノ金額ヲ仕拂命令者ニ報告スヘシ

第八十一條　府金庫ニ於テ翌年五月三十一日迄ニ現金ノ仕拂ヲ了セサルモノアルトキハ其ノ金額、氏名、仕拂命令番號ヲ六月五日迄ニ仕拂命令者ニ報告スヘシ

仕拂命令者前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ餘白ニ仕拂科目ヲ記入シ置キ次項ノ支拂濟報告ヲ受ケタル都度其ノ旨ヲ記入スヘシ

第一項ノ未交付金ハ府金庫ニ於テ仕拂未濟繰越金整理簿ヲ備ヘ會計法第三十二條ノ時效期間內ニ現金ノ仕拂ヲ請求スル者アルトキハ之ヲ仕拂フヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ所屬年度、金額、氏名ヲ翌月五日迄ニ仕拂命令者ニ報告スヘシ

第八十二條　府金庫ハ歲入金、歲出金、歲入歲出外現金及有價證券ノ出納ニ關スル證憑書類ヲ各年度本廳、各廨及府出納吏每ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ付シ帳簿ト對照シ保存スヘシ

前項證憑書類ニハ現金、有價證券、受領濟年月日又ハ交付濟年月日ヲ記入スヘシ

第八十三條　府金庫ハ繰越ノ命令ヲ受ケタルトキハ前年度ヨリ拂出シ翌年度ヘ編入ノ手續ヲ爲スヘシ

第八章　決算

第八十四條　各廨長ハ每月收入及支出ノ計算書ヲ調製シ府金庫ノ月計對照表及證憑書類ヲ添付シ翌月十日迄（最終ノ月ハ出納閉鎖期日後十日以內）ニ知事ニ提出スヘシ但シ町村長ノ提出スヘキ收入計算書ハ財務出張所長ヲ經由スヘシ

資金前渡ヲ受ケタル者ハ每月仕拂計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第八十五條　知事官房、各部課及各廨ハ每年度歲入歲出決算書ヲ調製シ出納閉鎖後一箇月以內ニ知事ニ提出スヘシ

府出納吏（資金前渡ヲ受ケタル者ヲ除ク）ハ每年度現金及證券ノ各出納計算書ヲ調製シ年度經過後十日以內ニ知事ニ提出スヘシ

會計課長及廨長ハ每年動產ノ異動報告書ヲ調製シ七月末日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第八十六條　內務部會計課ハ前條第一項ノ決算書ヲ調查シ翌年度九月三十日迄ニ總決算ヲ調製スヘシ

第八十七條　府金庫ハ歲入金、歲出金、歲入歲出外現金及有價證券ノ各月計對照表ヲ調製ノ上債權者ノ領收證書（各年度ニ區分シ合計書ヲ付スルコト）ヲ添付シ翌月五日迄（最終ノ月ハ各出納閉鎖期日後五日以內）ニ收支命令者又ハ府出納吏ニ提出シ證明ヲ受クヘシ

府金庫ハ罹災救助基金又ハ第八十一條第三項ノ未交付金ニシテ仕拂アリタルモノハ各前項ニ準シ證明ヲ受クヘシ

第八十八條　府金庫ハ現金出納內譯書及現金出納計算書ヲ調製シ各支金庫ノ現金出納內譯書ト共ニ每翌月十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第八十九條　府金庫ハ每年度有價證券ノ出納內譯書ヲ調製シ府支金庫ハ翌年度四月五日迄ニ府本金庫ニ送付シ府本金庫ハ之ヲ取纏メ同月十日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第九十條　府金庫ハ各金庫取扱ニ係ル收支金報告表ヲ每日調製シ五日以內ニ知事ニ提出スヘシ

第九章　檢查

第九十一條　府ノ會計檢查ハ特別ノ規定アルモノヲ除キ各廨、府出納吏、府金庫及資金前渡ヲ受ケタル者又ハ府費ヲ

以テ補助セル市町村其ノ他ニ對シテ書面又ハ實地ニ就キ執行スヘシ

第九十二條　會計檢查ノ爲會計檢查員長一名會計檢查員若干名ヲ置ク

會計檢查員長ハ內務部長ヲ以テ之ニ充ツ

會計檢查員ハ知事之ヲ命ス

第九十三條　會計檢查ヲ要スルモノ左ノ如シ

一、決算

二、歲入ノ賦課徵收、歲出ノ使用、府有物ノ賣買、讓與及利用ハ豫算ノ規程又ハ法令ニ違フコトナキヤ否ヤ

三、帳簿、證書類ノ整理ハ規程ニ違フコトナキヤ否ヤ

四、現金、有價證券及物件ノ現在高ト帳簿ト符合スルヤ否ヤ

五、前各號ノ外必要ト認ムル事項

第九十四條　會計檢查員長及會計檢查員ハ收支ニ關スル一切ノ書類、帳簿等ヲ檢閱スルノ外必要ト認ムルトキハ事業ノ實況及出來形ヲ臨檢スルヲ要ス

第九十五條　會計檢查員ハ實地ニ就キ其ノ檢閱シタル帳簿書類又ハ金品其ノ他取扱上ニ關シ口頭又ハ書面ヲ以テ辯明ヲ求ムルコトヲ得

第九十六條　各部長又ハ府出納吏交替ノ際ニ於ケル檢查ハ會計規則施行細則第三十八條第一項及第二項ノ目錄及計算書

ニ就キ帳簿並保管ノ現金、有價證券及物品ト對查スヘシ

第九十七條　府金庫ノ檢查ヲ爲サムトスルトキハ現金出納內譯書ヲ徵シ帳簿並現在金ト對查スヘシ

第九十八條　會計檢查員實地檢查ヲ行ヒタルトキハ帳簿表紙ノ裏面ニ檢查年月日、檢查員官職氏名ヲ記載シ之ニ認印スヘシ

第九十九條　會計檢查員ハ檢查報告書ヲ調製シ計算書其ノ他ノ關係書類ヲ添付シ歸廳後五日以內ニ會計檢查員長ニ報告スヘシ

實地檢查中重要ナル事項ト認ムルモノアルトキハ卽時其ノ顚末及意見ヲ具シ會計檢查員長ニ報告スヘシ

第百條　會計檢查員長ハ會計ニ誤謬脫漏アルコトヲ發見シタルトキ其ノ他必要ナル場合ハ審理書ヲ發シ其ノ辯明書ヲ徵シ之ニ意見ヲ附シ知事ニ報告スヘシ

第百一條　會計檢查員長ハ每會計年度檢查完結セシトキハ檢查成績表ヲ調製シ知事ニ報告スヘシ

第百二條　會計檢查員ノ事務分掌竝檢查順序ハ會計檢查員長之ヲ定ム

第十章　帳簿其ノ他樣式

第百三條　本廳、各部、府出納吏及府金庫ハ每年度左ノ帳簿及補助簿ヲ備ヘ一切ノ出納ヲ登記スヘシ

一、本廳

歲入歲出金總括簿、歲入簿、歲出簿

二、各部

歲入簿、歲出簿

三、府出納吏

現金出納簿、備品出納簿、消耗品出納簿、有價證券出納簿、有價證券內譯簿、動物出納簿、製產品出納簿、工事及製產材料品出納簿

四、府金庫

現金出納簿、歲入金內譯簿、歲出金內譯簿、歲入歲出外現金內譯簿、爲替納金及振替拂整理簿、回送金整理簿、仕拂未濟繰越金整理簿、有價證券出納簿、有價證券內譯簿、府金庫現金出納總括簿、罹災救助基金內譯簿、各支金庫歲入金整理簿、各支金庫歲出金整理簿、各支金庫歲入歲出外現金整理簿

第十一章　附則

第百四條　帳簿及計算書其ノ他ノ樣式ハ本則ニ定メタルモノヲ除クノ外別ニ之ヲ定ム

第百五條　證憑書ニ記載スル金員ノ數字ハ壹、貳、參、拾ノ字體ヲ用ユヘシ

第百六條　本則ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ昭和元年度分ハ從前ノ規程ニ據ル

第百七條　大正二年三月大阪府令第十八號大阪府會計規則及大正六年三月大阪府訓令第五號府吏員遺族扶助料納金收入規則ハ大正十五年度分限リ之ヲ廢止ス

附屬樣式

第一號　會計規則第十條納額告知書

第二號　同　納付書

第三號　同則第十四條督促狀

第四號　同則第十六條仕拂命令

第五號　同　送金仕拂命令

第六號　同則第二十五條第二項集合仕拂命令

第七號　同則第二十六條第二項仕拂通知書

第八號　同則第三十條返納告知書

第九號　同則第六十條府出納吏又ハ滯納處分執行者ノ發スヘキ領收證書

第十號　同則第六十一條拂込書

第十一號　同則第六十三條ノ保管證書

第十二號　同則第六十三條及第六十五條寄託通知書

第十三號　同則第六十六條第三項還付命令

正二年三月大阪府訓令第十號大阪府會計檢查規則及大正六年三月大阪府訓令第五號府吏員遺族扶助料納金收入規則ハ大正十五年度分限リ之ヲ廢止ス

昭和元年

第一號樣式　會計規則第十條納額告知書　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

納額告知書

第　號	昭和　年度歳入（罹災救助基金）	納　人	何　某
一金何程	收扱主任者印	大阪府 2.4.1 庫金何	

但何々

右何年何月何日限何金庫ヘ納付スヘシ

年　月　日

官職氏　名印

通知書

第　號	昭和　年度	納　人	何　某
歳入經常（臨時）部（特別會計）	款	項	目
一金何程		大阪府 2.4.1 庫金何	

右領收濟ニ付通知候也

官職氏　名宛

〔大阪土〕

領收證書

第　號	昭和　年度歳入	納　人	何　某
取扱廳	何　廳		
一金何程			

但何々

右領收候也

大阪府 2.4.1 庫金何

〔大阪土〕

備考

一、通知書、領收證書、納人氏名、金額、年度、番號、科目等ハ收入命令者ニ於テ記入スルモノトス

二、用紙寸法ハ輪廓内ノ寸法トス以下樣式中寸法ヲ示シタルモノ亦同シ

三、金庫ノ印鑑ニハ下記ノ如ク取扱者ノ姓名ヲ挿入スルモ妨ケナシ　大阪府 2.4.1 庫金何　姓名以下ノ樣式中金庫ノ印鑑ヲ示シタルモノ亦同シ

第二號樣式　會計規則第十條納付書　寸法縦五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

納付書

第　號	昭和　年度歳入	取扱廳	何廳
一金何程	取扱主任者印		

但何々

右納付候也

年　月　日

住所

納人何　某㊞

大阪府 2.4.1 庫金何

通知書

第　號	昭和　年度	納人	何　某
歳入經常(臨時)部(特別會計)	款	項	目
一金何程			

右領收濟ニ付通知候也

官職氏　名宛

大阪府 2.4.1 庫金何

〔大阪土〕

領收證書

第　號	昭和　年度歳入	納人	何　某
取扱廳	何廳		
一金何程			

但何々

右領收候也

大阪府 2.4.1 庫金何

一、通知書、領收證書、納人氏名、金額、年度、番號、科目等ハ納付書ヲ交付スル者ニ於テ記入スルモノトス

二、本用紙ハ本廳又ハ各廨ニ備ヘ置キ納人ニ交付スルモノトス

三、納付書ニハ納人ニ於テ署名捺印セサルモ妨ケナシ

〔大阪土〕

第三號樣式　會計規則第十四條督促狀　寸法縦五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

督	第　號	納人	住所	何　某
昭和　年度	歳入經常(臨時)部(特別會計)	款	項	

促狀

一金何程（目）
一金何程督促手數料

右年月日限何金庫ヘ納付スヘシ若シ期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ

年月日

收入命令者官職氏名印

大阪府 2.4.1 何金庫

通知書

第號	昭和年度	納人	何某
歳入經常（臨時）部（特別會計）	款		項

一金何程（目）
一金何程督促手數料

右領收濟ニ付通知候也

官職氏名宛

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

〔大阪土〕

領收證書

第號	昭和年度歳入	納人	何某
取扱廳	何廳		

一金何程（目）
一金何程督促手數料

右領收候也

大阪府 2.4.1 何金庫

備考　通知書、領收證書ノ納人氏名、金額、年度、番號、科目等ハ收入命令者ニ於テ記入スルモノトス

第四號様式　會計規則第十六條仕拂命令　寸法縦五寸横三寸五分ノモノ二枚接續

仕拂命令

第號	債權者	何某渡
昭和年度	歳出	（罹災救助基金歳出又ハ歳入拂戻）

一金何程
（内金何程現金支給高
金何程國庫納金引去高
又ハ府吏員納金引去高）

取扱主任者印

右金額前記債權者ニ仕拂フヘシ

年月日

何金庫

官職氏名印

案内仕拂命令

第　號	債權者	何　某　渡
昭和　年度	歳出	（罹災救助基金歳出又ハ歳入拂戻）

一金何　程　（取扱主任者印）
（内金何　程　現金支給高
　　國庫納金引去高
　　又ハ府吏員納金引去高）

消滅時效　年　月　日
昭和　年　月　日

右仕拂命令本日發行ス
年　月　日
何　金　庫　官職氏　名印

案内仕拂命令裏書式

表書ノ國庫納金ハ何廳收入官吏何某ヘ「仕拂フ」「送金ス」ヘシ印

備考

一、資金前渡ノ仕拂命令ニハ債權者ノ欄ヘ資金前渡ヲ受クル官吏、吏員、職員又ハ府金庫等ノ名稱ヲ記載スヘシ

二、金額ノ内國庫納金又ハ府吏員納金ノ引去ヲ要スルトキハ括弧内ノ如ク記入シ國庫納金ノ引去ヲ要スル案内仕拂命令ニ裏書スヘシ、此ノ場合ニ於テ送金ヲ要スルトキハ「仕拂フ」トアルヲ「送金」ニ改ムヘシ

〔大阪土〕

三、消滅時效年月日ハ仕拂命令發行者ニ於テ記載スヘシ

〔大阪土〕

第五號樣式　會計規則第十六條送金仕拂命令　寸法縱五寸　横三寸五分

仕拂場所

第　號	債權者	何　某　送
昭和　年度	歳出	（罹災救助基金歳出又ハ歳入拂戻）

一金何　程　（取扱主任者印）
（内金何　程　現金支給高
　　國庫納金引去高
　　又ハ府吏員納金引去高）

消滅時效　年　月　日
昭和　年　月　日

右金額前記債權者ニ送金スヘシ
年　月　日
何　金　庫　官職氏　名印

裏書式

表書之國庫納金ハ何廳收入官吏何某ヘ「仕拂フ」「送金ス」ヘシ印

備考

一、單獨ノ送金仕拂命令ニハ仕拂通知書ヲ接續シ仕拂命令者ノ印鑑ヲ以テ契印スルモノトス
二、金額ノ內國庫納金又ハ府吏員納金ノ引去ヲ要スルトキハ括弧內ノ如ク記入シ國庫納金ノ引去ヲ要スル仕拂命令ニ裏書スヘシ此ノ場合ニ於テ送金ヲ要スルトキハ「仕拂フ」トアルヲ「送金ス」ニ改ムヘシ
三、消滅時效年月日ハ仕拂命令發行者ニ於テ記載スヘシ

第六號樣式　會計規則第二十五條第二項集合仕拂命令　寸法縱五寸　橫三寸五分

集合仕拂命令

集合第　號	債權者	何某外何人渡
昭和　年度	歲出	（罹災救助基金歲出又ハ歲入拂戾）

一金何　程
（內金何　程）　現金支給高
國庫納金引去高
又ハ府吏員納金引去高

消滅時效　昭和　年　月　日

右金額此仕拂命令附屬ノ金額氏名表ニ照シ仕拂フヘシ

年　月　日
何金庫　官職氏　名印

裏書式

（第一例）
表書之金額ハ別紙金額氏名表記載ノ場所ニ送金スヘシ　印
（第二例）
表書之國庫納金ハ何廳收入官吏何某ヘ「仕拂フ」ニ「送金ス」ヘシ　印

〔大阪土〕

備考
一、送金ヲ要スルトキハ第一例ノ裏書ヲ爲スヘシ
二、金額ノ內國庫納金又ハ府吏員納金ノ引去ヲ要スルトキハ括弧內ノ如ク記入シ國庫納金ノ引去ヲ要スル仕拂命令ニハ第二例ノ裏書ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ送金ヲ要スルトキハ「仕拂フ」トアルヲ「送金ス」ニ改ムヘシ
三、消滅時效年月日ハ仕拂命令發行者ニ於テ記載スヘシ　寸法縱五寸　橫四寸五分

第七號樣式　會計規則第二十六條第二項仕拂通知書　寸法縱五寸　橫四寸五分

仕拂通知書	領收證書
昭和　年度歲出（歲入拂戾）　仕拂命令第　號	金額氏名表第　號
一金何　程 （內金何　程　現金支給高 國庫納金引去高 又ハ府吏員納金引去高）　裁判所（裁判官）印　裁判官（檢事）印	仕拂場所
但何々　（算出ノ基ク所ヲ記載スヘシ） 右金額ニ對スル仕拂命令本日發行濟ニ付此通知書ト引換ニ現金ヲ受領セラルヘシ 年　月　日　官職氏　名印 何某殿	受取人ハ領收證書欄內ニ年月日ヲ記シ記名調印シ現金受領ノ證トシテ之ヲ金庫ニ交付セラルヘシ
收入印紙 貼用ヲ要ス	受取人　氏　名印
前書之金額領收候也 年　月　日	

（注意事項）

受取人カ代人ヲ以テ現金仕拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ代人ハ本書ニ代人タル肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ

裏書記載事項

貳錢收入印紙

委任欄

表書金額ノ受取方ヲ　　ニ委任致候

年　月　日

備考

一、金額氏名表番號ハ集合仕拂命令ノ場合ニ限リ記入スヘシ

二、金額ノ内國庫納金又ハ府吏員納金ノ引去ヲ要スルトキハ括弧内ノ如ク記入スヘシ

第八號樣式　會計規則第三十條返納告知書　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

返納告知

第號	昭和年度歳出	定額戻入	返納人	何某
一金何程	取扱主任者印			
但何々				

大阪府 2.4.1 何金庫

〔大阪土〕

書

右何年何月何日限何金庫ヘ納付スヘシ

年　月　日

官職氏名印

大阪府 2.4.1 何金庫

〔大阪土〕

通知書

第號	昭和年度	定額戻入	返納人	何某
歳出經常（臨時）部（特別會計）	款	項	目	節
一金何程				
但何々				

右領收濟ニ付通知候也

官職氏名宛

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

領収証書

第	號	昭和　年度歳出	定額戻入
取扱廳	何	廳	
			返納人
			何　某

一金　何　程

但　何々

右領收候也

大阪府 2.4.1 何金庫

備考

通知書、領收證書ノ納入氏名、金額、年度、科目、番號等ハ返納告知書ヲ發行スル者ニ於テ記入スルモノトス

第九號樣式　會計規則第六十條府出納吏又ハ滯納處分執行者ノ發スヘキ領收證書　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

原符

第	號	昭和　年度歳入	納
經常(臨時)部(特別會計)	款		項
			目
			納人
			何　某

一金　何　程　取扱主任者印

但　何々

昭和　年　月　日領收

〔大阪土〕

通知書

第	號	昭和　年度	納
歳入經常(臨時)部(特別會計)	款		人
			何
			項
			目
			某

一金　何　程

右領收濟ニ付通知候也

年　月　日

收入命令者官職　氏　名宛

府出納吏又ハ滯納處分執行者

官職　氏　名印

印

〔大阪土〕

領収証

第	號	昭和　年度歳入	納
取扱廳	何		人
			何
			某

一金　何　程

但　何々

印

書

右領收候也

年　月　日

府出納吏又ハ滯納處分執行者

官職氏　名㊞

備考

一、收入命令者ト同一廳内ニ在ル府出納吏又ハ滯納處分執行者ノ通知書ハ原符ヲ以テ代用シ通知書ハ之ヲ省略スルコトヲ得

二、會計規則第二十二條ニ依リ過拂金ノ返納ヲ受ケタル府出納吏ノ發スル領收證書ハ本式ニ準シ調製スヘシ

第十號樣式　會計規則第六十一條拂込書　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

拂込書

第號	昭和	年度歳入	取扱廳	何廳
一金何程	取扱主任者印			

右拂込候也

年　月　日

何金庫

府出納吏又ハ滯納處分執行者

官職氏　名㊞

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

通知書

第號	昭和	年度	拂込人	府出納吏又ハ滯納處分執行者官職氏名
歳入經常(臨時)部(特別會計)	款		項	目

一金何程

右領收濟ニ付通知候也

官職氏名宛

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

領收證書

第號	昭和	年度歳入	拂込人	府出納吏又ハ滯納處分執行者官職氏名
取扱廳	何廳			

一金何程

右領收候也

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

備考　通知書、領收證書ノ拂込人氏名、金額、年度、番號等ハ拂込書ヲ作製スル者ニ於テ記入スルモノトス

第十一號樣式　會計規則第六十三條ノ保管證書　寸法縱五寸横三寸五分

保管證書

第　號	納人	何　某
昭和　年度		

一無記名何々公債證書額面　何　程　取扱主任者印

但何々　何　廳

右保管候也　府出納吏　何　某印

年　月　日

裏書式

表書之有價證券領收候也

年　月　日　氏　名印

第十二號樣式　會計規則第六十三條及第六十五條寄託通知書　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ三枚接續

寄

第　號	納人	何　某
昭和　年度		

歲入歲出外現金又ハ有價證券

〔大阪土〕

託通知書

一金何　程

一無記名何々公債證書額面何程　取扱主任者印

但何々　（保證金）

右保管ノ爲納付セシメ候也

年　月　日

何　金　庫　何廳府出納吏　氏　名印

大阪府 2.4.1 何金庫

通知書

第　號	納人	何　某
昭和　年度		

歲入歲出外現金又ハ有價證券

一金何　程

一金無記名何々公債證書額面何程

右保管濟ニ付通知候也

府出納吏何某宛

大阪府 2.4.1 何金庫

〔大阪土〕

保管證書

第　號	納　人	何　某
昭和　年度	歳入歳出外現金又ハ有價證券	取扱廳　何　廳

一金何　程
一無記名何々公債證書額面何程

但何々（保證金）

右保管候也

大阪府 2.4.1 何金庫

大阪府 2.4.1 何金庫

保管證書裏書式

表書金額（又ハ額面）ハ本書ト引換ニ拂戻ヲ要ス

年　月　日

何廳府出納吏　氏　名印

〔大阪土〕

第十三號樣式

會計規則第六十六條第三項還付命令　寸法縱五寸横三寸五分ノモノ二枚接續

〔大阪土〕

還付命令

第　號	債　權　者	何　某
昭和　年度	歳入歳出外現金	

保管證書第　號ノ分

一金何　程　取扱主任者印

右金額前記債權者ニ還付スヘシ

年　月　日

何金庫

何廳府出納吏　氏　名印

受取人注意

一、受取人カ管外ナルトキハ金庫ヨリ送金セシムヘキニ依リ現金受領ノ上ハ保管證書裏書ノ上速カニ該金庫ニ送付セラルヘシ

二、受取人カ代人ヲ以テ現金ノ領收ヲ爲サムトスルトキハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ代人ハ保管證書裏面ニ代人タルノ肩書ヲ付シ記名捺印スヘシ

還付通知書

第　號

昭和　年度　歳入歳出外現金　仕拂場所

一金　何程

但何々

右金額ニ對スル還付命令本日發行濟ニ付此ノ通知書ト引換ニ現金ヲ受領セラルヘシ

年　月　日

何廳府出納吏　氏　名印

何　某殿

受取人ハ嚢ニ府金庫ノ發シタル保管證書裏面ニ「表書ノ金額領收候也」及年月日ヲ記シ記名捺印シ現金領收ノ證トシテ該保管證書ヲ金庫ニ交付セラルヘシ

●大阪府會計規則施行細則

昭和二年三月二十三日
大阪府訓令第九號

改正　昭和六年三月訓令第六號、八月第二二號、八年二月第八號

知事官房主事　〔内務部長〕　警察部長
學務部長　各髄長　府出納吏　大阪府金庫

大阪府會計規則第四條ノ認可ヲ要スルトキハ内務部議事課及會計課ニ合議スヘシ

大阪府會計規則施行細則ニ左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　帳簿ハ收支命令發付伺、記簿伺其ノ他證憑書ニ依リ〔大阪土〕登記スヘシ

帳簿ノ登記ハ出納ノ翌日之ヲ完結スヘシ

第二條　收支命令者又ハ府出納吏ニ於テ年度又ハ歳入出ノ組替ヲ要スルトキハ府金庫ニ對シ振替命令ヲ發スヘシ

第三條　案内仕拂命令、集合仕拂命令、送金仕拂命令、還付命令又ハ拂戻命令ヲ府金庫ニ送附シタルトキハ其ノ都度各金額、枚數ノ領收證ヲ徵スヘシ

第四條　收支命令者及府出納吏ハ府金庫ヨリ月計對照表ノ證明ヲ求メタルトキハ直ニ之ヲ調査シ乙號ノ月計對照表ニ證

明ノ上會計規則第八十七條ノ添付書類ヲ添ヘ返付スヘシ

第五條　會計規則第七條但書ニ依リ出納閉鎖ノ延期ヲ認可シタルトキハ之ヲ府金庫ニ通知スヘシ

第六條　會計規則第四條ノ認可ヲ要スルトキハ内務部議事課及會計課ニ合議スヘシ

第二章　豫算

第七條　各髄ハ其ノ所管ニ屬スル歳入中雜收入及歳出ノ豫算ヲ調製シ前年度六月三十日迄ニ主管部長ニ提出スヘシ

知事官房及各部課ハ其ノ主管ニ屬スル豫算ヲ調製シ前年度八月三十一日迄ニ内務部議事課ニ送付スヘシ

第八條　内務部ハ前條ノ豫算ヲ調査シ前年度十月三十一日迄ニ歳入歳出豫算ヲ編成スヘシ

第九條　豫算ノ追加又ハ更正ヲ要スルトキハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第十條　豫算ニハ歳入ノ種別、經費ノ目的及編成ノ事由ヲ記載スヘシ

金額ノ細別、物件ノ員數等豫算ニ揭記シ難キモノハ別ニ參考書ヲ添付スヘシ

第十一條　歳入豫算ハ左ノ標準ニ依リ調製スヘシ

一、員數ニ依リ收入スルモノハ一個當リ收入額ヨリ積算スヘシ

二、箇數ハ一定ノ日ノ現在ニ依ルモノハ前年度四月一日ノ〔大阪土〕現在數ヲ基トシ、確定シタル物件ニ在テハ其ノ確定數、確定數一定ノ期日ナキモノハ前々年度以前三箇年度ノ平均定數ヲ標準トスヘシ

三、一個當リ收入額ハ契約又ハ規定アルモノハ其ノ額ヲ基トシ、契約又ハ規定ナキモノハ前々年度以前三箇年度平均定數ヲ標準トスヘシ

四、財産收入、雜收入、寄附金、國庫下渡金及國庫補助金等ニシテ一定ノ標準アルモノハ其ノ標準ヲ基トシ、一定ノ標準ナキモノハ前々年度以前三箇年度間平均定數ヲ標準トスヘシ

五、前々年度以前三箇年度間ノ平均額ヲ算出スル場合ニ於テ特殊ノモノアルトキハ之ヲ控除スヘシ

六、法令若ハ契約ニ依リ收入スヘキ金額ノ確定セルモノハ其ノ金額ヲ以テ豫算ト爲スヘシ

七、前各號ニ依リ難キモノハ最モ適實ノ方法ヲ以テ算出シ其ノ計算ノ基ク所ヲ明瞭ニスヘシ

第十二條　歳出豫算ハ左ノ標準ニ依リ調製スヘシ

一、經費中其ノ給與ニ屬スルモノハ一人當リノ給額ヨリ積算シ又物件ニ屬スルモノハ一箇當リノ費用ヨリ積算スヘシ

二、一人當リノ給額ヲ算出スルニハ規定ノ給額アルモノハ其ノ額ヲ基トシ又規定ノ給額ナキモノハ適實ノ額ニ依ル

ヘシ

三、一箇當リノ費用ヲ算出スルニハ一定ノ價格アルモノハ其ノ價格ヲ基トシ又一定ノ價格ナキモノハ時價ニ據ルヘシ

四、給與ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ定員アルモノハ定員ヲ限度トシ定員ナキモノハ前々年度以前三箇年度間ノ平均人員ヲ標準トスヘシ

五、常例ノ旅行ニ屬スル旅費ハ前々年度以前三箇年度間ノ平均實數ヲ標準トスヘシ

六、物件ニ屬スル經費ヲ積算スルニハ規定ノ個數アルモノハ其ノ個數ヲ限度トシ規定ノ個數ナキモノハ前々年度以前三箇年度間ノ平均實數ヲ標準トスヘシ

七、前々年度以前三箇年度間ノ平均額ヲ算出スル場合ニ特殊ノモノアルトキハ之ヲ控除スヘシ

八、法令若ハ契約ニ依リ支出スヘキ金額ノ確定セルモノハ其ノ金額ヲ以テ豫算ト爲スヘシ

九、前各號ニ依リ難キモノハ最モ適實ノ方法ヲ以テ算出シ其ノ計算ノ基ク所ヲ明瞭ニスヘシ

第十三條　每年度歲入歲出豫算決定シタルトキハ內務部議事課ハ知事官房及各部課ニ令達ノ手續ヲ爲スヘシ

知事官房及各部課ハ其ノ主管ニ屬スル各廨ノ歲入科目竝歲出豫算及渡切經費ノ月割交付額ヲ查定シ內務部議事課及會計課ノ合議ヲ經テ令達ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條　豫算中目ノ流用ヲ要スルトキハ金額、事由及流用計算書ヲ添ヘ內務部議事課及會計課ノ合議ヲ經テ知事ノ決裁ヲ受クヘシ

豫算中節ノ流用ヲ要スルトキハ知事官房主事又ハ各部長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得但シ俸給、旅費及慰勞手當ノ類ハ前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條　知事官房及各部課ニ於テ豫算外若ハ豫算超過ノ爲豫備費支出ヲ要スルトキハ金額、理由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル要求書ヲ內務部議事課ニ送付スヘシ

內務部議事課ハ知事ノ決裁ヲ受ケ之ヲ關係各部課及會計課ニ通知スヘシ

第十六條　本廳ニ於テ收支豫算ニ伴フ事件ヲ執行セムトスル場合ニ於テ左ニ揭ケル事項ハ內務部議事課ノ合議ヲ經テ決裁ヲ受クヘシ

一、國庫補助金、寄附金ノ類ノ收入ニ關スルコト

二、財產ノ貸付及賣拂ニ關スルコト

三、參千圓以上ノ工事ノ施行ニ關スルコト

四、貳千圓以上ノ物件ノ購入、借入、修繕又ハ勞務ノ需用ニ關スルコト

五、各種ノ補助金又ハ交付金ノ類ニ關スルコト

六、貸付金ニ關スルコト

七、過年度ニ屬スル收入支出ニ關スルコト

八、收支豫算ニ伴フ規定ノ制定改廢ニ關スルコト

九、前各號ノ外其ノ重要ナルモノ又ハ異例ニ亙ル收支事件ノ執行ニ關スルコト

第三章　歲入

第十七條　每年度令達ヲ受ケタル歲入科目以外ノ收入ヲ要スルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條　本廳ニ於テ收入ヲ要スルモノアルトキハ知事官房及各部課ハ左ノ書類ヲ其ノ都度內務部會計課ニ送付スヘシ

一、決裁書

二、契約書

三、前各號ノ書類ナキトキハ其ノ事由ヲ確認シ得ヘキ書類

一ノ決裁又ハ契約ニ基キ數回ニ收入ヲ要スルモノハ第一回ニ限リ前項ノ書類ヲ送付スヘシ

第十九條　各廨長ニ於テ取扱フ歲入金中滯納處分ヲ要スルモノアルトキハ其ノ科目、金額、納期日、住所、氏名ヲ其ノ時々報告スヘシ但シ滯納處分ノ委任ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四章　歲出

第二十條　本廳ニ於テ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ知事官房及各部課ハ左ノ書類ヲ其ノ都度內務部會計課ニ送付スヘシ但シ俸給、給料、恩給、年功加俸、退職給與金、死亡賜金、賞與、宿料、手當其ノ他ノ給與ヲ新ニ支給シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ都度知事官房及各部課ハ會計課ニ通知スヘシ其ノ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

一、決裁書

二、契約書

三、工事費ニ對シテハ工事監督者ノ竣功調書

四、工事其ノ他契約ノ一部履行ニ對シ仕拂ヲ要スルトキハ主任者ニ於テ調製シタル履行部分ニ對スル調書

五、旅費ニ對シテハ出張命令及旅行中迂路ヲ經過シ若ハ旅費ノ實費拂ヲ爲シタルモノハ其ノ認可書

六、前各號ノ書類ナキトキハ仕拂ノ事由ヲ確認シ得ヘキ書類

第二十一條　資金前渡及概算拂ノ仕拂命令ハ每一箇月分ノ費額ヲ豫定シテ之ヲ發スヘシ但シ特ニ知事ノ認可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　概算拂ハ其ノ翌月中ニ之ヲ精算スヘシ但シ前條但書ノ場合ハ其ノ完了後一箇月以內ニ精算スヘシ再渡ノ概算拂ヲ爲ス場合ニ在リテハ先ノ精算ヲ了スルニ非サレハ之カ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅費ニシテ旅行中更ニ他ノ用務ニ關シ出張ヲ命セラレ其ノ暇ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　繼續費ニシテ毎年度仕拂殘額ノ繰越使用ヲ要スルトキハ年度經過後一箇月以内ニ繰越計算書ヲ調製シ内務部會計課ニ送付スヘシ

第二十四條　會計規則第二十八條及第六十六條第四項ノ申出ニ依リ仕拂命令、仕拂通知書又ハ還付通知書ヲ再製交付シタルトキハ直ニ之ヲ府金庫ニ通知スヘシ

第五章　物品

第二十五條　物品ノ需要、修繕ヲ要スルトキハ府出納吏ニ請求スヘシ

本廳府出納吏前項ノ請求ヲ受ケ購入又ハ修繕ヲ要スルトキハ品目、數量、用途等ヲ詳記シ會計課長ニ送付スヘシ

各廨ニ在リテハ前項ニ準スルカ又ハ會計規則第百三條ノ補助簿ニ依リ取扱フヘシ

第二十六條　府出納吏物品ヲ交付セムトスルトキハ領收證又ハ保管證ヲ徵スヘシ

第二十七條　物品ノ保管轉換ヲ要スルトキハ品名、數量、金額及轉換先ヲ詳具シ内務部會計課長ニ要求スヘシ

會計課長前項ノ要求ヲ受ケタルトキハ之カ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條　物品ヲ亡失、毀損シタルトキハ事由ヲ詳記シ直ニ府出納吏ニ報告スヘシ

府出納吏前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ内務部會計課長又ハ廨長ヲ經由シ知事ニ上申スヘシ

第二十九條　府出納吏ニ於テ不用ト認ムル物品ハ内務部會計課長又ハ廨長ニ報告シ現品ヲ返納スヘシ

第三十條　府出納吏ハ既ニ交付シタル物品ニ付テモ之カ使用方法ニ付取締ヲ爲スヘシ

第三十一條　備品ニハ費途、品名、臺帳ト同一ノ番號及所屬廳名ヲ記入スヘシ但シ品質ニ依リ記入シ能ハサルモノ又ハ費途、品名ヲ記入セサルモ混雜ヲ生スル虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　各廨長ハ府出納吏、府出納吏ハ物品取扱主任及各自ノ保管ニ係ル物品ヲ毎年一回以上檢査スヘシ

第六章　府出納吏

第三十三條　歲入歲出外現金及有價證券ニシテ府ノ所得ニ歸シタルトキハ主任者ニ於テ收支命令者ノ決裁ヲ受ケ之ヲ府出納吏ニ通知スヘシ

府出納吏前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ現金ハ歲入ヘ、有價證券ハ府有財産ニ編入ノ手續ヲ爲スヘシ但シ府金庫ニ寄託シタルモノニ係ルトキハ府金庫ヘ拂戻命令ヲ發スヘシ

第三十四條　府出納吏有價證券ノ利札交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ自己ノ保管ニ係ルモノハ領收證書ト引換ニ之ヲ交付シ府金庫寄託ニ係ルモノハ請求書ノ餘白ニ「利札交付ヲ要ス」ト朱書シ捺印ノ上府金庫ニ回送スヘシ

府金庫ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ領收證書ト引換

ニ之ヲ交付スヘシ

第三十五條　府出納吏ニ於テ保管スル現金、有價證券ハ金庫ニ、物品ハ倉庫其ノ他ノ鎖鑰ヲ有スル場所ニ藏置スヘシ

第三十六條　各廨ニ於テ物品ノミノ事務ヲ取扱ハシムル府出納吏ハ其ノ長ニ於テ之ヲ命スヘシ

前項ニ依リ府出納吏ヲ命シタル場合ハ其ノ旨直ニ知事ニ報告スヘシ之カ交替ノ場合亦同シ

第七章　交替事務引繼手續

第三十七條　各廨長又ハ府出納吏交替若ハ死亡シタルトキハ死亡又ハ辭令受領ノ當日ヲ以テ帳簿（歲入簿、歲出簿、各種ノ出納簿）ニ總計ヲ付スヘシ但シ第三十八條第二項ニ依リ仕拂ヲ爲ス場合ハ渡切經費出納簿ハ仕拂完了後總計ヲ付スヘシ

第三十八條　各廨長交替ノトキハ前任者ニ於テ帳簿、書類ノ目錄竝收入及支出ノ各計算書ヲ調製シ三日以内ニ引繼ヲ爲スヘシ

渡切經費ノ交付ヲ受ケタル各廨長交替ノトキ又ハ之ヲ廢シタル場合ニ於テ渡切經費ノ支辨ニ屬スル仕拂未濟アルトキハ三日以内ニ其ノ仕拂ヲ完了シ殘金ハ引繼書ト共ニ後任者又ハ知事ノ指定シタル官吏、吏員、職員ニ引繼クヘシ

府出納吏交替ノトキハ前任者ニ於テ帳簿、書類、現金、有價證券及物品ノ各引繼目錄ヲ調製シ三日以内ニ引繼ヲ爲スヘシ但シ物品ニ關シテハ帳簿ヲ以テ目錄ニ代ユルコトヲ得

前三項ノ場合ニ在リテハ事務引繼ヲ爲サムトスル日時ヲ其ノ前日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第三十九條　各廨長又ハ府出納吏死亡其ノ他ノ事故ニ依リ計算書又ハ引繼書ヲ調製シ能ハサル場合ハ特ニ命シタル官吏、吏員、職員ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四十條　各廨長又ハ府出納吏交替シタルトキハ其ノ旨府金庫ニ通知スヘシ但シ物品ノミノ事務ヲ取扱フ府出納吏ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八章　決算

第四十一條　會計規則第八十四條ノ收入及支出計算書竝資金前渡ノ仕拂計算書ニハ左記各號ノ證憑書類ヘ添付スヘシ

一、仕拂命令發付伺、返納命令發付伺、正當債權者ノ領收證書、概算拂ニ對スル精算書、第三條ノ集合仕拂命令、送金仕拂命令ニ對スル府金庫ノ領收證書及戻入金ニ對スル府金庫ノ領收濟通知書

二、領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其ノ仕譯書ヲ添付スヘシ此ノ場合ニ於テハ到達ニ從ヒ一箇月分ヲ取纏メ提出スヘシ

第四十二條　前條ノ領收證書ニシテ原本ヲ得難キトキ又ハ之ヲ提出シ難キトキハ當該官吏、吏員、職員ノ仕拂證明書又ハ其ノ事由ヲ附記シタル謄本ヲ提出スヘシ

第四十三條　第四十一條ノ仕拂命令發付伺ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、第二十條第二號ノ書類ノ寫及第三號乃至第六號ノ書類

第四十四條　第四十一條ノ仕拂命令發付伺ニハ左ノ事項ヲ掲記スヘシ但シ事ノ複雜ニ渉ルモノハ仕譯書ヲ添付スヘシ

一、俸給其ノ他ノ諸給與ハ年額、月額、日額、支出ニ相當スル期間、發令ノ年月日及其ノ給額ニ異動ヲ生シタルモノハ其ノ事由

二、俸給ノ內府吏員納金ヲ要スルモノハ現金支給高及府吏員納金引去高ヲ明記スヘシ又國庫納金ヲ要スルモノト府吏員納金ヲ要スルモノトハ仕拂命令發付伺ヲ各別ニナスヘシ

三、人夫賃ハ使役ノ目的、日數及日給額

四、宿直、臨時賄料及夜警辨當料ハ月日、度數、一賄當リ金額

五、物件ノ購買又ハ修理ニ關シテハ其ノ名稱、數量、單價及所要ノ目的竝物品納入又ハ修理濟年月日

六、工事費ニ關シテハ其ノ竣功年月日

七、物件ノ借入ニ關シテハ支出ニ相當スル期間、料金及其ノ借入ノ目的

八、前各號以外ノ支出ニ關シテハ名稱、數量、單價其ノ他支出ヲ認ムルニ足ルヘキ事由

九、過誤納金拂戻ハ納入ノ年度、科目、拂戻請求年月日及其ノ拂戻ヲ要スル事由

十、仕拂命令番號

請求書ニシテ仕拂命令發付伺ニ掲記スヘキ事項ヲ記載シタルトキハ之ヲ添付シ仕拂命令發付伺ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

第四十五條　證憑書類ハ一款每ニ編冊ノ上年度、年月及廳名ヲ表記シ冊中ヲ項目節ニ分チ其ノ金額、紙數ヲ掲ケ總テ袋綴トナスヘシ

年度科目ノ更正、領收證書ノ未到達及戻入金アリタルトキハ各其ノ金額ヲ付記スヘシ概算拂ニ對スル精算書又ハ未到達ニ係ル領收證書ハ各之ヲ別冊ニ編纂シ仕拂ノ年月ヲ表記スヘシ

第四十六條　府金庫ハ仕拂未濟繰越金ノ未交付金ニシテ時效期間滿了ノモノアルトキハ遲滯ナク仕拂命令者ニ金額、氏名ヲ報告スヘシ

仕拂命令者前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ府金庫ニ對シ歲入ヘ編入ノ振替命令ヲ發スヘシ

府金庫前項ノ命令ヲ受ケタルトキハ仕拂未濟繰越金ノ未交付金ヲ歲入ヘ振替ノ手續ヲ爲スヘシ

第九章　附則

第四十七條　本則ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ大正十五年度分ハ從前ノ規程ニ據ル

第四十八條　大正二年三月大阪府訓令第八號大阪府會計規則施行細則及大正二年三月大阪府訓令第九號各種樣式ハ昭和元年度分限リ之ヲ廢止ス

十五

附屬樣式

第一號　會計規則第六條流用計算書

第二號　會計規則施行細則第七條ノ豫算式（略ス）

第三號　督促書（略ス）

第四號　會計規則第二十五條第二項集合仕拂命令ニ添付スヘキ金額氏名表

第五號　同

第六號　會計規則第二十七條領收證書

第七號　同

第八號　會計規則第三十三條動產臺帳

第九號　同　則第六十四條及第六十七條納付書

第十號　同　則第八十條第二項國庫納金送付書

第十一號　會計規則第八十條第三項府吏員職員納金組替報告書

第十二號　同　則第八十一條第一項仕拂未濟繰越金報告書

第十三號　同　則第八十一條第三項仕拂濟報告書

第十四號　同　則第八十四條收入計算書

第十五號　同　支出計算書

第十六號　同　則第八十四條第二項仕拂計算書

第十七號　同　則第八十五條第一項決算書

第十八號　同　則第八十五條第二項現金出納計算書

第十九號　同　有價證券出納計算書

第二十號　同　則第八十五條第三項備品動物異動報告書

第二十一號　同　則第八十七條歲入金月計對照表

第二十二號　同　歲出金月計對照表

第二十三號　同　歲入歲出外現金月計對照表

第二十四號　同　有價證券月計對照表

第二十五號　同　則第八十八條現金出納內譯書

第二十六號　同　現金出納計算書

第二十七號　同　則第八十九條有價證券出納内譯書
第二十八號　同　第九十條府支金庫收支金報告表
第二十九號　同　收支金報告表
第三十號　同　第百三條本廳ノ歳入歳出金總括簿
第三十一號　同　本廳及各廨（市區町村ヲ除ク）ノ歳入簿
第三十二號　同　市區町村ノ歳入簿（略ス）
第三十三號　同　本廳ノ歳出簿（略ス）
第三十四號　同　各廨ノ歳出簿
第三十五號　同　府出納吏ノ現金出納簿
第三十六號　同　府出納吏ノ備品出納簿
第三十七號　同　府出納吏消耗品出納簿
第三十八號　同　府出納吏ノ有價證券出納簿
第三十九號　同　府出納吏ノ有價證券内譯簿
第四十號　同　府金庫ノ現金出納簿（略ス）
第四十一號　同　府金庫歳入金内譯簿及府本金庫ノ各支金庫歳入金整理簿（略ス）
第四十二號　同　府金庫ノ歳出金内譯簿及本金庫ノ各支金庫歳出金整理簿（略ス）
第四十三號　同　府金庫ノ歳入歳出外現金内譯簿及府本金庫ノ各支金庫歳入歳出外現金整理簿（略ス）
第四十四號　同　府本金庫現金出納總括簿（略ス）
第四十五號　同　第百三條本廳ノ歳入歳出金總括簿
第四十六號　同　府金庫ノ回送金整理簿（略ス）
第四十七號　同　仕拂未濟繰越金整理簿（略ス）
第四十八號　同　府本金庫現金出納總括簿（略ス）
第四十九號　同　府本金庫罹災救助基金内譯簿（略ス）
第五十號　同　補助簿（概算拂整理簿）（略ス）
第五十一號　同　（案内仕拂命令及還付拂戻命令送付簿）
第五十二號　同　〔備品（消耗品）購入伺簿〕
第五十三號　會計規則施行細則第一條記簿證憑書
第五十四號　同　府出納吏ノ現金出納簿
第五十五號　同　府出納吏ノ備品出納簿
第五十六號　同　府出納吏消耗品出納簿
第五十七號　同　施行細則第二條振替命令
第五十八號　同　第三條集合仕拂命令、送金仕拂命令ノ領收證書
第五十九號　同　第二十二條繰越計算書
第六十號　同　第二十四條ノ請求書
第六十一號　同　第二十五條ノ保管證
第六十二號　同　第二十七條亡失毀損品上申書
第六十三號　同　第二十八條不用品報告書
第六十四號　同　第三十三條同第二項ノ拂戻命令
第六十五號　同　第三十七條帳簿書類ノ引繼目錄
第六十六號　同　第四十條第二項ノ領收證書未到達仕譯書
第六十七號　同　第四十一號　同　第四十三條仕譯書
第六十八號　同　有價證券引繼計算書
第六十九號　同　第三十七條第二項及第三項現金引繼計算
書　第七十號　同　第四十五條第一項未交付金報告書
第七十一號　同　第四十七條第二項物品引繼計算
第七十二號　同　會計規則第十條第二項府出納吏ノ授業料券
第七十三號　會計規則第六條流用計算書

〔大阪土〕

第一號樣式　昭和何年度何々費流用計算書

（用紙美濃紙）

科目	豫算額	仕拂命令濟額	仕拂差引（過）處要額（不足）	流用 増	流用 減	事由
何々（項）	一、五〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇			何々ノ事由ニヨリ不足ヲ生シ何々費ヨリ流用
何々（目）	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇	五〇、〇〇〇	何々ノ事由ニヨリ殘餘ヲ生シ五拾圓ハ何々費五拾圓ハ何々費ヘ流用
何々（目）	八〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	〇	一五〇、〇〇〇	何々ノ事由ニヨリ不足ヲ生シ何々費ヨリ流用
何々（目）	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	〇	
何々（項）	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇			

第四號樣式（用紙半紙）　會計規則第二十五條第二項集合仕拂命令ニ添付スヘキ金額氏名表

一金　昭和　年度集合仕拂命令第　號附屬金額氏名表　何某外何人渡

內譯

現金仕拂月日	番號	金額	氏名	仕拂場所
一、		圓		
二、				
三、				
計				

年月日　　官職氏名㊞

備考

一、仕拂場所ノ欄ハ送金ヲ要スル場合ニ之ヲ設クヘシ

二、現金仕拂月日ノ欄ハ府金庫ニ於テ記入スヘシ

〔大阪土〕

何々（目）	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	〇	何々ノ事由ニヨリ不足ヲ生シ何々費ヨリ流用
何々ノ外何口	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	
計	四、〇〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	〇	〇	

第五號樣式（用紙半紙）　會計規則第二十五條第二項集合仕拂命令ニ添付スヘキ金額氏名表

昭和　年度集合仕拂命令第　號附屬金額氏名表　何某外何人渡

一金百拾圓也

內譯

現金仕拂月日	番號	俸給高	現金支給高	國庫納金又ハ府吏員納金引去高	氏名	仕拂場所
一、		圓	圓	圓		
		五〇〇	四九五〇〇	五〇〇	何某	
二、		四〇〇〇	三九六〇〇	四〇〇	何某	
三、		二〇〇〇	一九八〇〇	二〇〇	何某	
計		一一〇〇〇	一〇八九〇〇	一一〇〇		

年月日　　官職氏名㊞

備考

一、仕拂場所ノ欄ハ送金ヲ要スル場合ニ之ヲ設クヘシ

二、現金仕拂月日ノ欄ハ府金庫ニ於テ記入スヘシ

第六號樣式　會計規則第二十七條領收證書（用紙半紙半截形）

左ノ金額ニ對スル仕拂命令相渡候條本紙ニ金額年月日及官職氏名ヲ記載シ捺印ノ上受取ラルヘシ

金 大阪府内務部會計課 殿

收入印紙貼用

第 號	支
昭和 年 月 日	

領收書

一金

但 何々

右正ニ領收候也

昭和 年 月 日

住所 氏名㊞

仕拂命令者 又ハ府出納吏 宛

備考

一、各廨ハ本様式ニ準シ調製スヘシ

二、命令發付伺ノ餘白ニ領收ノ旨ヲ記入シ記名調印セシメタルモノヲ以テ代用スルコトヲ得

第七號様式 會計規則第二十七條領收證書 (用紙半紙)

府費所屬

注意

一、金員ハ改竄スヘカラス訂正ヲ要スルトキハ書換ノ上舊書面添付提出ノコト

一、數旅行ヲ併記シ請求スルトキハ一旅行毎ニ其旅費額ヲ區分計算シ記載スルコト

一、普通旅費ハ所屬課長、新任又ハ轉任ノ場合ハ知事官房主事、各廨ハ廨長ノ認印ヲ受ケ提出ノコト

一、特別ノ事由ニテ順路ニ依ラス若ハ短距離ノ場所ニ宿泊シタル場合ハ備考欄ニ命令又ハ追認ヲ得タル顛末ヲ記シ所屬課長(官房主事各廨ハ廨長)ノ認印ヲ受ケ提出ノコト

一、市內旅費ノ請求ニハ陸路里數ノ欄ヘ其里丁數ヲ明記スルコト

照合

會計課長	所屬課長證印	旅費請求書
調査		出張命令簿手入濟
記簿		

〔大阪士〕

豫算現在高	支出高又ハ返納高	差引高
圓	圓	圓

昭和 年度	款	項	目

左ノ通仕拂命令發行可然乎

金 精算額	金 概算受高	金 差引可受取 返納額

請求者詰所 官職氏名印	官等 又ハ待遇	年俸月俸 又ハ日給額

內譯	
金 鐵道賃	金 半額日當
金 船賃	金 全額日當
金 車馬賃	金 宿泊料
金 軌道ニ依ル車馬賃	金 赴任手當
金 市內日當	金 移轉料

備考

年月日	命令用務及目的地	經過路	鐵道哩數	海里數	陸路 軌道ニ依ル里數	陸路 里數	日當 市內	日當 半額	日當 全額	宿泊
昭和 年 月 日										
昭和 年 月 日										
昭和 年 月 日										
昭和 年 月 日										
昭和 年 月 日										

〔大阪士〕

右領收候也

年 月 日

仕拂命令者宛

官 職 氏 名㊞

備考

一、各廨ハ本様式ニ準シ調製スヘシ豫算差引欄ハ省略スルコトヲ得

品名

單位

科目（款）

保管者 何々府出納吏

年月日	摘要	受 數量	受 金額 圓	拂 數量	拂 金額 圓	殘 數量	殘 金額 圓	保管者印

第八號様式

會計規則第三十三條動産臺帳

（甲號様式）

備考

一、カード式トス但用紙及寸法ハ適宜調製ス

二、科目別ニ品名ニ依リいろは順ニ區分スヘ

〔大阪土〕

〔大阪土〕

ヘシ

シ

○

科目

年月日	摘要	受 數量	受 金額 圓	拂 數量	拂 金額 圓	殘 數量	殘 金額 圓

（乙號様式）

備考

本簿ハ甲様式ノ科目別ニ口座ヲ設ケ其ノ合計ヲ記入スヘキモノトス

第九號樣式　會計規則第六十四條及同第六十七條納付書

（用紙半紙半截形）

納付書

一金何　程

但何々入札保證金

又ハ

一無記名何々公債證書額面何程

內譯

何　圓　券　何　枚

何號何番　何號何番　何年何月渡以降利札付

何　圓　券　何　枚

何號何番　何號何番　何年何月渡以降利札付

右納付候也

年　月　日　住所　何　某印

大阪府知事宛

「右保管セラルヘシ」入札執行者印

「右本書引換ニ還付セラルヘシ」入札執行者印

〔大阪土〕

第十號樣式　會計規則第八十條第二項國庫納金送付書

寸法　縱五寸　橫四寸五分

國庫納金送付書

第號	昭和年度	取扱廳	何廳	仕拂金庫	何金庫

一金

但何某外何名納

右金額及送付候條本書引換ニ現金領收相成度候也

年　月　日

何　金　庫印

收入官吏何某殿

受取人ハ領收證書欄內ニ年月日ヲ記シ記名調印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ金庫ニ交付セラルヘシ

領收證書

前書之金額領收候也

年　月　日

收入官吏　何　某印

備考

一、取扱廳ノ欄ニハ支拂命令發行廳ヲ掲記スヘシ

二、支拂金庫ノ欄ニハ收入官吏所在地ノ府金庫名ヲ掲記スヘシ

三、收入官吏ヨリ徵シタル領收證書ハ會計規則第八十條ニ依リ支拂命令者ニ送付スヘシ

第十一號樣式　會計規則第八十條第三項府吏員職員納金組替報告書

（用紙半紙半截形）

府吏員職員納金組替報告書

昭和　年　月　分

一金

內譯

額	金	名	氏	令號	命名	合集氏	令號	命拂	仕番	令日	命月	拂年	仕發
圓													

上記金額歲入金ニ組替候條及報告候也

昭和　年　月　日

何　金　庫印

收入命令者宛

〔大阪土〕

第十二號樣式　會計規則第八十一條第一項仕拂未濟繰越金報告書

昭和何年度仕拂未濟繰越金報告書

科目	仕拂濟年月日	仕拂命令發行年月日	仕拂命令番號（單獨、送金集合、番號）	氏名表番號	金額	氏名
合計						

右會計規則第八十一條第一項ニ依リ報告候也

年　月　日

仕拂命令者宛

何　金　庫印

備考

一、科目、仕拂濟年月日ハ仕拂命令者ニ於テ記載スルモノトス

二、歲出金及歲入拂戻（罹災救助基金）等ハ各別ニ調製スヘシ

〔大阪土〕

（用紙美濃罫紙）

昭和何年何月分仕拂未濟繰越金中仕拂濟報告書

年度	仕拂命令番號（單獨、送金集合、番號）	氏名表番號	金額	氏名	備考
昭和何年度歲出					
同					
小計					
何々年度歲入拂戻					
同					
小計					
合計					

右報告候也

年　月　日

仕拂命令者宛

何　金　庫印

備考

一、各年度歲出及歲入拂戻（罹災救助基金）毎ニ小計ヲ付シ區分スヘシ

〔大阪土〕

（用紙美濃罫紙）

第十四號樣式　會計規則第八十四條收入計算書

昭和　何年度

何年　何月分

收入計算書　　廳名

科目	調定濟額 本月分	調定濟額 本月差計	滯納報告額 本月分	滯納報告額 本月差計	調定濟額ト滯納報告額トノ差	收入濟額 本月分	收入濟額 本月差計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 本月差計	收入未濟額	備考
歲入經常部	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	
何々（款）											
何々（項）											
何々（目）											
何々（款）											
何々（項）											
何々（目）											
何々											

〔大阪土〕

歲入臨時部

（經常部ニ同ジ）

總計											
證憑書何冊											
何々同											

書面之通候也

年月日

知事宛

官職氏名㊞

〔大阪土〕

備考

一、市區ニ在リテハ滯納報告額及調定濟額ト滯納報告額トノ差ノ欄ヲ町村ニ在リテハ不納缺損額ノ欄ヲ其ノ他ノ各廨ニ在リテハ調定濟額ト滯納報告額トノ差ノ欄ヲ省ク

二、府出納吏及收入役ニ於テ領收シタル現金ニシテ府金庫ニ拂込未濟額アルトキハ總計ノ備考ニ其ノ金額及事由ヲ掲記スベシ

三、特別會計ハ別紙ニ調製スベシ

四、年度科目ノ更正、調定減額、歲入拂戻及缺損額アリタルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ掲記スベシ

五、計算書提出後計算事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ月ノ計算書ニ掲記スベシ

六、計算書用紙ハ礬沙引厚質若ハ之ニ類似ノ料紙美濃形ヲ用ヒ左側ニ綴代ヲ存スベシ

七、會計規則施行細則第三十八條ニ依リ各廨長交替ノトキ調製スベキ收入計算書ハ本樣式ニ依ル

八、第五及第六ノ事項ハ以下ノ本式ニ依ル計算書ニ之ヲ適用ス

第十五號樣式　會計規則第八十四條支出計算書

廳名

科目	豫算額	仕拂命令 前月迄發行高	仕拂命令 本月發行高	發行濟額 本月戻入高	發行濟額 合計	豫算殘高	備考
	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	
歳出經常部							
警察費（款）	10,000 00	4,750 00	1,100 00	4 50	5,845 50	4,154 50	
俸給及諸給（項）	8,000 00	3,750 00	894 00	4 50	4,639 50	3,360 50	
警部補及巡査月給（目）	6,000 00	2,750 00	670 00	3 60	3,416 40	2,583 60	
警部補月給（節）	1,00 00	500 00	100 00	1 50	598 50	401 50	内巡査月給ヘ流用減 50.00 内加俸給ヘ流用減 20.00
巡査部長月給（節）	1,500 00	750 00	170 00		920 00	580 00	内特別手當ヘ流用減 10.00
巡査月給（節）	2,500 00	1,000 00	350 00	2 10	1,347 90	1,152 10	内警部補月給ヨリ流用增 50.00
加俸給（節）	600 00	300 00	30 00		330 00	270 00	内警部補月給ヨリ流用增 20.00
特別手當（節）	400 00	200 00	20 00		220 00	180 00	内巡査部長月給ヨリ流用增 10.00
宿料（目）	2,000 00	1,000 00	224 00	90	1,223 10	776 90	
警部宿料（節）	500 00	250 00	20 00		270 00	230 00	
警部補宿料（節）	400 00	200 00	24 00	40	223 60	176 40	
巡査部長及巡査宿料（節）	1,100 00	550 00	180 00	50	729 50	370 50	
何々（項）	2,000 00	1,000 00	206 00		1,206 00	794 00	
何々（目）	2,000 00	1,000 00	206 00		1,206 00	794 00	
何々（節）	1,200 00	550 00	100 00		650 00	550 00	
何々（節）	800 00	450 00	106 00		556 00	244 00	
歳出臨時部（經常部ニ同シ）	200 00	100 00	50 00		150 00	50 00	
總計	10,200 00	4,850 00	1,150 00	4 50	5,995 50	4,204 50	

〔大阪士〕

〔大阪士〕

官職氏名印

昭和何年度

何年

支出

科目	豫算額	仕拂命令 前月迄發行高	仕拂命令 本月發行高
	圓錢	圓錢	圓錢
歳出經常部			
警察費（款）	10,000 00	4,750 00	1,100 00
俸給及諸給（項）	8,000 00	3,750 00	894 00
警部補及巡査月給（目）	6,000 00	2,750 00	670 00
警部補月給（節）	1,00 00	500 00	100 00
巡査部長月給（節）	1,500 00	750 00	170 00
巡査月給（節）	2,500 00	1,000 00	350 00
加俸給（節）	600 00	300 00	30 00
特別手當（節）	400 00	200 00	20 00
宿料（目）	2,000 00	1,000 00	224 00
警部宿料（節）	500 00	250 00	20 00
警部補宿料（節）	400 00	200 00	24 00
巡査部長及巡査宿料（節）	1,100 00	550 00	180 00
何々（項）	2,000 00	1,000 00	206 00
何々（目）	2,000 00	1,000 00	206 00
何々（節）	1,200 00	550 00	100 00
何々（節）	800 00	450 00	106 00
歳出臨時部（經常部ニ同シ）	200 00	100 00	50 00
總計	10,200 00	4,850 00	1,150 00

〔大阪士〕

書面之通候也

證憑書何冊　年月日

何々同　知事宛

備考

一　特別會計ハ別紙ニ調製スヘシ

二　豫算增減額流用年度科目ノ更正アリタルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ掲記スヘシ

三　會計規則施行細則第三十八條ニ依リ各廨長交替ノトキ調製スヘキ支出計算書ハ本樣式ニ依ル

第十六號樣式　會計規則第八十四條第二項仕拂計算書

何年度

何月分

仕拂計算書

名廳

計	迄高月前仕拂	月高本仕拂	月高本回收	計	高殘	備考
圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	

及者ルタケ受ヲ渡前金資

印吏納出府

〔大阪土〕

昭和

何年

仕拂計

科目	迄高月前領收	月高本領收	月高本返納
	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
何々（款）			
何々（項）			
何々（目）			
何々（目）			
合計			

證憑書何冊

同々何

也候通之面書

年月日

知事宛

〔大阪土〕

備考

一、各廨ノ府出納吏ニ在リテハ所屬仕拂命令者ヲ經由スヘシ

二、仕拂殘高ヲ仕拂命令者ニ返納シタルトキハ本月返納高欄ニ掲記スヘシ

三、誤拂過渡金ヲ領收シタルトキハ本月回收高欄ニ掲記シ其ノ事由ヲ備考欄ニ掲記スヘシ

第十七號樣式ノ一　會計規則第八十五條第一項決算書

昭和何年度歲入決算書

科目	豫算額 當初豫算額	豫算額 追加更正豫算額	豫算額 計	繼續費繰越財源豫定額	豫算現額	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	豫算現額ニ比シ收入濟額ノ差 增	豫算現額ニ比シ收入濟額ノ差 減	附記	備考
經常部													
地租附加稅(款)													
地租附加稅(項)													
地租附加稅(目)													
營業稅(款)													
營業稅(項)													
												宅地租 何圓何錢	本稅何圓何錢
												其ノ他地租 同 同	一圓ニ付何錢
												物品販賣業 何圓何錢	何人
												金錢貸付業 同 同	同
												製品貸付業 同 同	同
												運送業 同 同	同
												倉庫業 同 同	同
												土木建築請負業 同 同	同
												其ノ他請負業 同 同	同

〔大阪土〕

科目	豫算額 當初豫算額	豫算額 追加更正豫算額	豫算額 計	繼續費繰越財源豫定額	豫算現額	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額	豫算現額ニ比シ收入濟額ノ差 增	豫算現額ニ比シ收入濟額ノ差 減	附記	備考
營業稅(目)													
雜種稅(款)													
船稅(項)													
												印刷業 同 同	同
												出版業 同 同	同
												寫眞業 同 同	同
												席貸業 同 同	同
												旅人宿業 同 同	同
												料理店業 同 同	同
												周旋業 同 同	同
												代理業 同 同	同
												間屋業 同 同	同
												湯屋業 同 同	同
												理髮業 同 同	同
												遊技場業 玉突 同 同	同
												麻雀 同 同	同
												其他 同 同	同
												藝妓置屋業 同 同	同
												何々業 同 同	同
												日本形船 積石 何圓何錢	何艘
												西洋形船 同 同	同
												同 蒸汽船 同 同	同
												風帆船 同 同	同
												日本形舒漁川舟 同 同	同
												三間迄形船 同 同	同
												五十石未滿海船 同 同	同

船稅(目)	車稅(項)
(農專)同	
同 四間迄	
(農專)同	
同 五間迄	
(農專)同	
同 六間迄	
遊船 三間迄	
同 四間迄	
同 五間迄	
西洋形艀漁川舟バツテーラ 一噸迄	
同 二噸迄	
同 三噸迄	
同 四噸迄	
同 五噸迄	
馬車一匹立 自用	
何圓何錢	
營業 同 同	
荷積牛馬車	
四輪以上 營業	
(農專)同	
其他 營業	
(農專)同	
人力車二人乘 自用	
營業 同 同	

車稅(目)	水車稅(項)	水車稅(目)	電柱稅(項)
同 一人乘			
同			
同			
荷積大車 營業			
(農專)同			
同			
荷積小車 同			
同			
自轉車			
自動自轉車			
客席ヲ有スルモノ			
客席ヲ有セサルモノ			
自動車一類 自用			
營業			
二類			
同			
三類			
同			
同			
挽臼			
搗臼			
臼ヲ用ヒサルモノ			
何圓何錢			
同 同			
同			

電柱税（目）	木柱本柱	何圓	何本
	同支柱	同	同
	鐵柱本柱	同	同
	同支柱	同	同
	鐵塔	同	同
狩獵税（項）			
狩獵税（目）	二等該當	何圓	何人
	三等該當	同	同
不動産取得税（項）			
不動産取得税（目）	賣買其ノ他	何圓	何人
	建物建築	同	同
漁業税（項）			
漁業税（目）	刺網類	何圓	何艘
	鵜網類	同	何網
	筌類	同	何艘
	抄網類	同	同
	引網類	同	同
	持網掩網類	同	何網
	シラス待網	同	同
	敷網類	同	同
	定置漁具類	同	何個所
	鰷栫網類	同	何組
	地引網	同	同

〔大阪土〕

藝匠税（項）			
藝匠税（目）	一等	何圓	何人
	二等	同	同
	三等	同	同
藝妓税（項）			
藝妓税（目）	藝妓十六歳以上	何圓	延人員何人
	十六歳未満	同	同
	舞妓	同	同
	酌人	同	同
遊興税（項）			
遊興税（目）	藝妓	何圓	
	娼妓	同	
	其他	同	
使用料及手數料（款）			
使用料（項）			
授業料（目）	本科管内	何圓	延人員何人
	同管外	同	同
	高等科管内	同	同
	同管外	同	同

〔大阪土〕

科目	摘要	金額	數量
手數料（項）			
屠畜檢査手數料（目）	牛馬檢査手數料	何圓	何頭
	豚檢査手數料	同	同
賣藥部外品其他免許手數料（目）	賣藥規則外製劑免許手數料	何圓	何人
	同免許鑑札名義書換及再渡手數料	同	同
	同請賣免許又ハ行商免許手數料	同	同
	鍼術灸術免許試驗手數料	同	同
	同免許手數料	同	同
	同免許鑑札再渡手數料	同	同
	看護婦免許試驗手數料	同	同
	免許手數料	同	同
	同免許鑑札再渡手數料	同	同
	產婆試驗手數料	同	同
	同名簿謄本手數料	同	同
	同按摩術免許試驗手數料	同	同
雜收入（款）			
過年度府稅（項）			

〔大阪士〕

〔大阪士〕

科目	摘要	金額
地租附加稅（目）	昭和何年度分	何圓
	同	同
	同	同
	同	同
營業收益稅附加稅（目）	昭和何年度	何圓
	同	同
	同	同
	同	同
	同	同
所得稅附加稅（目）	昭和何年度	何圓
	同	同
	同	同
	同	同
	同	同
何々（目）	昭和何年度	何圓
	同	同
	同	同
	同	同
	同	同
何々（目）	昭和何年度	何圓
	同	同
	同	同
	同	同
	同	同
雜入（項）		

雜入(目)	
過年度戾入	何圓
過年度收入	何圓
教育費	何圓
土木費	同
警察費	同
衛生費	同
貸座敷賦金	同
娼妓賦金	同
使用料	同
經常部計	
臨時部	
(經常部ニ同シ)	
臨時部計	
總計	

右昭和何年度歳入決算相違無之候也

年月日

官職氏名㊞

知事宛

備考 一 各廳ハ豫算額、繼續費繰越財源豫定額、豫算現額、豫算現額ニ比シ收入濟額ノ差欄ヲ省ク但シ市區以外ノ各廳ニ在リテハ調定濟額欄ノ次ニ滯納報告額ノ欄ヲ設クベシ

二 附記欄ニハ收入濟額ニ付目ノ內譯節ヲ記載スルコト

三 備考欄ニハ收入濟額ノ積算ノ基礎其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記載スルコト

四 決算書ハ一般會計、特別會計各別ニ調製スヘシ

〔大阪土〕

第十七號樣式ノ二 會計規則第八十五條第一項決算書

昭和何年度歳出決算書

科目	豫算額 當初豫算額	豫算額 追加更正豫算額	豫算額 計	豫算決定後增加額 前年度繼續費繰越額	豫算決定後增加額 豫備費支出額	流用增減額 △印減	豫算現額	支出濟額	翌年度繰越額 繼續費遞次繰越額	翌年度繰越額 翌年度追加豫算額	不用額	附記	備考
經常部													
警察費(款)	三、〇五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	三、五五〇、〇〇〇				三、五五〇、〇〇〇	三、四四五、〇〇〇			一〇五、〇〇〇		
俸給及諸給(項)	三、〇五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	三、五五〇、〇〇〇				三、五五〇、〇〇〇	三、四四五、〇〇〇			一〇五、〇〇〇		

	警部補及巡査月給（目）	宿料（目）	何々（款）	何々（項）	何々（目）
	三、五五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	四五〇、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	三、〇〇〇、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	△一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇			
	三、九〇〇、〇〇〇	六五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	三、八〇〇、〇〇〇	六四五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
	一〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	〇	〇	〇
警部補月給	何圓何錢	警部宿料	何圓	何々	何々
巡査部長月給	同同	警部補宿料	同同	何圓何錢	同同
巡査月給	同同	巡査部長及巡査宿料	同	同	同
加俸給	同同				
特別手當	同同				
	宿料へ金壹百圓流用		警部補及巡査月給ヨリ金壹百圓流用		

〔大阪土〕

右昭和何年度歲出決算相違無之候也

年　月　日

知事　宛

官職氏名㊞

	經常部計	臨時部	（經常部ニ同シ）	臨時部計	總計
	三、二〇〇、〇〇〇			一、〇〇〇、〇〇〇	四、二〇〇、〇〇〇
	五〇〇、〇〇〇				五〇〇、〇〇〇
	三、七〇〇、〇〇〇			一、〇〇〇、〇〇〇	四、七〇〇、〇〇〇
	三、七〇〇、〇〇〇			一、〇〇〇、〇〇〇	四、七〇〇、〇〇〇
	三、五九五、〇〇〇			一、〇〇〇、〇〇〇	四、五九五、〇〇〇
	一〇五、〇〇〇			〇	一〇五、〇〇〇

備考　一　科目ハ豫算說明ト同一ノ區分ニ依ルコト

二　各欄ハ豫算額欄ニハ令達額ヲ記入シ豫算決定後增加額、翌年度繰越額欄ヲ省ク

三　附記欄ニハ支出濟ニ付目ノ內譯節ヲ記載スルコト

四　流用ニ付テハ增減共當該科目ノ目ノ備考欄ニ流用シタル科目及其ノ金額ヲ記載スルコト

五　決算書ハ一般會計、特別會計各別ニ調製スヘシ

〔大阪土〕

第十八號樣式　會計規則第八十五條第二項現金出納計算書

昭和何年度

現金出納計算書

名廳

摘要	本年度受高	本年度拂高	殘高	備考
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
歲入經常部				
何々（款）				
何々（項）				
何々（目）				
何々保證金				
何々				
計				
合計				

〔大阪土〕

書面之通候也

年　月　日

何廳府出納吏印

知事宛

第十九號樣式　會計規則第八十五條第二項有價證券出納計算書

昭和何年度

有價證券出納計算書

名廳

摘要	前年度高越	本年度受高	本年度拂高	殘高	備考
	枚數 面額	枚數 面額	枚數 面額	枚數 面額	
	圓	圓	圓	圓	
何々基本財産					
內					
何々公債證書					
何々					
何々					
內					
何々					
何々					
計					
何々保證金					
內					
何々公債證書					
何々					
何々					
內					
何々					
何々					
計					
合計					

〔大阪土〕

書面之通候也

年　月　日

何廳府出納吏印

知事宛

第二十號樣式　會計規則第八十五條第三項備品動物移動報告書

備考
一、特別會計所屬ハ特別會計毎ニ各別紙ニ調製スヘシ
二、一品參百圓以上ノ物品ハ其ノ品名ヲ列擧スヘシ
三、前年七月一日ヨリ六月三十日迄ノ異動ヲ掲記スヘシ
四、各種基金ノ現金有價證券ハ七月一日現在ニ限リ掲記スヘシ

動產異動報告書

昭和何年何月何日

知事宛

〔大阪土〕

種別	增加		減少		所屬費目
	數量	金額	數量	金額	
工業用器具機械					
測量用同					
氣象觀測用同					
治療用同					
醫療用同					
消防用同					

會計課長又ハ各廨長印

〔大阪土〕

種別	增加		減少		所屬費目
	數量	金額	數量	金額	
教授用同					
運動用同					
體格檢查及衞生用同					
獸醫用同					
園藝用同					
蠶業用同					
農業用同					
寫眞用同					
警備用同					
船舶及附屬品					
椅子テーブル書類箱					
圖書					
被服及附屬品					
文具類					
標本類					

隊具	炊事用具	獸類	鳥類	タイプライター	顯微鏡	雜品	檢查用器具機械

〔大阪土〕

〔大阪土〕

歲入金月計對照表

昭和何年度

昭和何年何月分

（甲）　第　號

摘要	本月收入高	前月迄累計	合計
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
	1.200000	5.000000	
歲出戻入ヲ歲入ニ振替	1.000000		
「歲入拂戻」　〃	「50000」		
歲入拂戻ヲ歲出ニ振替	50000		7.200000
計	2.200000	5.000000	

證明者

書面之通相違無之候也

年　月　日

金庫

何　金　庫御中

官職　氏　名宛

歲入金月計對照表

昭和何年度

分月何年何月分

（乙）

第　　號

摘　要	本月收入高	前月迄累計	合　計
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
	1.200000	5.000000	
歲出戻入ヲ歲入ニ振替	1.000000		
「歲入拂戻」　〃	「50000」		
歲入拂戻ヲ歲出ニ振替	50000		7.200000
計	2.200000	5.000000	

ノ印

書面之通相違無之候ニ付證明有之度候也

年　月　日

何　金　庫印

官職　氏　名宛

割印

書面之通相違無之ニ付證明候也

年　月　日

官職　氏　名印

備考

一、「」內ノ文字ハ朱書スルモノトス

二、府吏員納金ノ組替ニ係ル分ハ摘要ニ其ノ旨記入シ一般歲入金ト區別シテ掲記スヘシ

〔大阪土〕

歲出金月計對照表

（甲）　昭和何年度

分月何年何月分

證明者

第　　號

證明外付記事項

摘　要	仕拂命令受領高 本月分	仕拂命令受領高 前月迄累計	現金交付高 本月分	現金交付高 前月迄累計	殘　高
	1.000000	850000	800000	700000	350000
「歲出戻入」	「500000」		「500000」		
歲出戻入ヲ歲入ニ振替	1.000000		1.000000		
計	1.500000	850000	1.300000	700000	

書面之通相違無之候也

年　月　日

何　金　庫印

官職　氏　名宛

金庫

〔大阪土〕

歲入歲出外現金月計對照表

（甲）　昭和何年度

昭和何年何月分

第　號

摘要	受入高 本月分	受入高 前月迄累計	仕拂 本月分	仕拂 前月迄累計	殘高
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
	1.000000	500000	800000	600000	100000
計	1.000000	500000	800000	600000	

證明者

書面之通相違無之候也

年　月　日

金庫

府　金　庫㊞

府出納吏　氏　名宛

〔大阪土〕

第二十三號樣式　會計規則第八十七條歲入歲出外現金月計對照表

歲出金月計對照表

（乙）　昭和何年度

昭和何年何月分

ノ印

第　號

證明外付記事項

摘要	仕拂命令受領高 本月分	仕拂命令受領高 前月迄累計	現金交付高 本月分	現金交付高 前月迄累計	殘高
	1.000000	850000	800000	700000	350000
「歲出戻入」	「500000」		「500000」		
歲出戻入ヲ歲入ニ振替	1.000000		1.000000		
計	1.500000	850000	1.300000	70000	

〔大阪土〕

書面之通相違無之候也

年　月　日

何　金　庫㊞

官職　氏　名宛

書面之通相違無之候也

年　月　日

官職　氏　名㊞

割印

備考

一、「　」ノ文字ハ朱書スルモノトス

二、現金交付高ハ現金仕拂濟ノ仕拂命令及通知書ニシテ領收證書到達ノモノヲ揭記スヘキモノトス